

Title	村上春樹翻訳調査プロジェクト報告書(1)
Author(s)	金水, 敏; コンスタンティノーフスカヤ, ナタリア; 中屋, テレザ 他
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/68235
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

村上春樹翻訳調査プロジェクト 報告書(1)



2018年3月

研究代表者 金水 敏

『村上春樹翻訳調査プロジェクト 報告書(1)』の発刊にあたって

金水 敏 (大阪大学)

金水は平成 2000 年ごろより「役割語」の研究を始め(金水 2000; 2003 等)、次第に国内外でも広く知られるようになった。また 2015 年ごろから、役割語の定義を見直して、個別のフィクション作品における登場人物の発話を細やかに分析できる「キャラクター言語」という概念も提案している(Kinsui & Yamakido 2015; 金水 2016)。

今日では海外から日本語の役割語について研究したいとする大学院生も各国より大阪大学に訪れるようになった。このような環境を利用し、役割語と翻訳の関係について、役割語やキャラクター言語の観点から考えるために 2016 年 10 月に立ち上げたのが「村上春樹翻訳調査プロジェクト」である。これは、村上春樹の小説作品の原著と各国語による翻訳書との対照を通じ、キャラクターを言語によっていかに翻訳するかという問題を考えていくための基礎研究と位置づけられる。なぜ村上春樹かというと、彼の小説作品は非常に多くの国・地域で翻訳され、世界中に読者を持っている上に、キャラクターの書き分けが多彩で、役割語・キャラクター言語の観点からとてもおもしろい題材を提供してくれるからである。

2016年には、『海辺のカフカ』を主たる対象とし、翻訳書の書誌調査と、キャラクターの言語調査の一部に取りかかり始めた。院生のみならず、国内外の村上春樹作品の翻訳に興味を持つ研究者の協力も得て、現在までの成果をまとめたのが本報告書である。

なお、本プロジェクトで得られた成果は国際シンポジウムや学会でも公開されている。 台湾・淡江大学の村上春樹研究センターが主催する「第 6 回村上春樹国際シンポジウム」 でのポスター発表である文(2017)、劉(2017)、および社会言語科学会第 40 回研究大会ワークショップでの発表である金水他(2017)がそれである(ワークショップの報告書は『社会言語科学』第 20 巻第 2 号(2013)に掲載予定)。

今後とも役割語・キャラクター言語、および村上春樹作品の翻訳等に興味を持たれる方 のご参加を広く求めたい。

参考文献

金水 敏 (2000) 「役割語探求の提案」佐藤喜代治(編)『国語史の新視点』国語論究, 第 8 集, pp. 311-351, 明治書院.

- 金水 敏(2003) 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店.
- 金水 敏 (2016) 「役割語とキャラクター言語」金水敏 (編) 『役割語・キャラクター言語 研究国際ワークショップ 2015 報告論集, pp. 5-13, 私家版.
- Kinsui, Satoshi & Hiroko Yamakido (2015) "Role Language and Character Language," *Acta Linguistica Asiatica*, 5-2, pp. 29-41, Ljubljana: Ljubljana University Press, Faculty of Arts, Online ISSN: 2232-3317.
- 金水 敏・文雪・劉翔・チュティパック,チャイウィロート・リントソコグ,セバスティアン・ヴォイチェホヴィッチ,トマシュ・依田恵美(2017)「役割語・キャラクター言語から見た翻訳研究―村上春樹作品を中心に―」言語社会科学会,第40回研究大会ワークショップ,於関西大学.
- 文 雪(2017)「村上春樹の小説にみる<女ことば>、<男ことば>の中国語訳について―『海辺のカフカ』を分析対象に―」2017年第6回村上春樹国際シンポジウム,於同志社大学今出川キャンパス.
- 劉 翔(2017)「『海辺のカフカ』におけるキャラクターの言語表現及び翻訳の分析―日中 対照研究を通して―」2017 年第 6 回村上春樹国際シンポジウム,於同志社大学今出川 キャンパス.
- ※本プロジェクトの活動は、随時下記ブログで公表されるので参照されたい。

「SK の役割語研究室」: http://skinsui.cocolog-nifty.com/sklab/

目 次

巻頭言
目次
翻訳書一覧1
1 【抜粋】キャラクターとフィクション ―宮崎駿監督のアニメ作品、村上春樹の小説を ケーススタディとして― 金水 敏(大阪大学)3
2 小説『海辺のカフカ』におけるキャラクターの言語表現及び翻訳の分析―中国語版の訳本との対照を通して― 劉 翔 (大阪大学) 10
3 『海辺のカフカ』にみる〈女ことば〉、〈男ことば〉の中国語訳について―林少華訳と頼明珠訳を比較して― 文 雪 (大阪大学) 21
4 韓国語版『海辺のカフカ』に現れる言語的特徴 金 昴京(福岡大学)・平塚雄亮(志學館大学)40
5 小説『海辺のカフカ』のタイ語訳 CHAIWIROJ CHUTIPUK (大阪大学) 46
6 『海辺のカフカ』の原書とポーランド語翻訳書との比較・対照
Tomasz WOJCIECHOWICZ(大阪大学)54
7 『海辺のカフカ』のキャラクターのスウェーデン語への翻訳の仕方についてセバスティアン・リンドソコグ (大阪大学) 88
8 村上春樹『海辺のカフカ』のロシア語版―ロシア語版におけるナカタのイメージ―
9 『海辺のカフカ』の登場人物ナカタさんの役割語とチェコ語版への反映 中屋テレザ(パラツキー大学)105
著者情報 (2018 年 4 月現在)

『海辺のカフカ』翻訳書一覧

本報告書で取り上げた各国語による『海辺のカフカ』の翻訳書の書誌情報は下記の表の通りである。

なお、「独立訳・重訳」とある項目で、「独立」とは日本語の原作から直接当該言語へと翻訳されていることを表す。「重訳(英)」とは、英語版から当該言語へと翻訳されたことを表す。英訳版は本報告書では直接取り上げてはいないが、タイ語版との関係で表に掲げておく。

言語	英語	国・地域		独立訳・重訳	独立	書名	Kafka on the Shore
翻訳者	J. Philip Gabriel	出版年	2005	出版社	Harvill Press (英) Knopf(米)		
言語	中国語	国・地域	(大陸)	独立訳・重訳	独立	書名	海边的卡夫卡
翻訳者	林少華	出版年	2007	出版社	上海訳文出版社		
言語	中国語	国・地域	(台湾)	独立訳・重訳	独立	書名	海邊的卡夫卡
翻訳者	頼明珠	出版年	2003	出版社	時報文化		
言語	韓国語	国・地域		独立訳・重訳	独立	書名	해변의 카프카
翻訳者	金春美	出版年	2003	出版社	文学思想社		
言語	タイ語	国・地域		独立訳・重訳	重訳 (英)	書名	คาฟกา วิฬาร์ นาคาตะ
翻訳者	Wechsawat Noppadon	出版年	2006	出版社	Gamme Magie		
言語	ロシア語	国・地域		独立訳・重訳	独立	書名	Кафка на пляже
翻訳者	ИванЛогачев, СергейЛогачев	出版年	2004	出版社	Eksmo		
言語	ポーランド語	国・地域		独立訳・重訳	独立	書名	Kafka nad morzem
翻訳者	Anna Zielińska-Elliott	出版年	2011	出版社	Warszawskie Wydawnictwo Literackie MUZA SA		
言語	チェコ語	国・地域		独立訳・重訳	独立	書名	Kafka na pobřeží
翻訳者	Tomáš Jurkovič	出版年	2006	出版社	Euromedia Group k.s. – Odeon		
言語	スウェーデン語	国・地域		独立訳・重訳	独立	書名	Kafka på stranden
翻訳者	Eiko Duke & Yukiko Duke	出版年	2006	出版社	Norstedts förlag		

【抜粋】キャラクターとフィクション

一宮崎駿監督のアニメ作品、村上春樹の小説をケーススタディとして―

金水 敏 (大阪大学)

※本稿は、定延利之(編)『「キャラ」概念の広がりと深まりに向けて』(仮題)(三省堂、 印刷中)に掲載予定の論文から第6章以降を抜粋したものである。「海辺のカフカ」とそこ に登場するキャラクターについてのイントロダクションとしてご利用いただけるように、 編者の定延利之氏と三省堂の許可を得てここに掲載するものである。

6 「海辺のカフカ」について

次に、文芸作品をケーススタディとして取り上げたい。世界的に人気を得て、翻訳作品 としても広く流通している村上春樹作品から、「海辺のカフカ」を選んだ。

「海辺のカフカ」は村上春樹の 10 作目の長編小説である。2002 年に新潮社より上下巻が刊行された。2005 年には新潮文庫より文庫版が同じく上下巻で刊行されている。また 2012 年と 2014~2015 年には舞台化されており、村上春樹作品としてはまれな例となっている。小説の構成としては、東京都中野区の 15 歳の少年「田村カフカ」の冒険を描く奇数章と、同じく中野区の奇妙な老人ナカタさんの冒険を描く偶数章とが、二重らせんのように進行していく形をとっている。典型的な旅物語で、成長物語でもあり、「ヒーローの旅」モデルにも乗りやすく、他の村上春樹のファンタジー系小説と同様、キャラクターの描き分けがはっきりしていて、役割語・キャラクター言語分析に適している。

ストーリー展開と登場人物は以下の通り。奇数章と偶数章に分けて見ていく。

奇数章は田村浩一という高名な彫刻家を父に持つ自称「田村カフカ」という少年が 15 歳になった朝に家出をし、高松市にたどり着いてさまざまな経験を重ね、やがて東京に戻る決心をするという物語である。主な登場人物は、田村カフカの他、高速バスの中で出会った若い女性のさくらさん、高松市郊外の甲村図書館の司書である大島さん、館長の佐伯さんなど。また、田村カフカの分身でありカフカにしかその存在が見えない「カラスと呼ばれる少年」もたびたび登場する。警察の捜査を逃れて、大島さんの兄が所有する高知県の山奥の小屋にいたとき、森の奥で佐伯さんの分身である少女や、昔森で行方不明になった二人の日本兵と出会う。

偶数章のうち、第2章、第4章、第8章、第12章には、ナカタさんの少年時代に起こっ

た「お椀山事件」をめぐる調査記録や小学校の先生の手紙が置かれる。現在のナカタさんは東京都中野区で行方不明の猫探しを仕事としていたが、猫を捕まえては頭部を切り取り心臓を食べるという行為を繰り返すジョニー・ウォーカーという人物を殺してしまい、何ものかに導かれるように東京を離れ、西へと向かう。猫のカワムラさん、ミミ、トロ、トラック運転手の星野くん、高松市で売春の客引きをしているカーネル・サンダーズ、哲学を勉強中で星野くんの相手をする娼婦等が主な登場人物。奇数章と偶数章の物語は基本的に独立に進んでいくが、第 40 章、第 42 章でナカタさんは甲村図書館にたどり着き、大島さん、佐伯さんと出会う。

7 「海辺のカフカ」のキャラクターと言語

7.1 男女別キャラクターの分析

男性キャラクター

田村カフカ,ジョニー・ウォーカー,大島さん,大島さんの兄,2人の日本兵らはすべて 男ことばの範疇に入るが,第一人称の選択について「僕」(カフカ,大島さん),「私」(ジョニー・ウォーカー,大島さん),「俺」(大島さんの兄,日本兵)の違いがある。星野くんはかなり品位の低いヤンキーことばに類する話し方をする(俺っち,~ちまう等)。一人称は「俺」である。またカーネル・サンダーズの話し方は老人語の一種と見てよいだろう(わし,~ておる,~ん,等。ただし,「じゃ」ではなく「だ」を用いる)。

さて、男性キャラクターの中で異彩を放っているのが、ナカタさんの話し方である。こ の点については、彼の物語における機能の分析も含めて、後に節を改めて論じることとす る。

女性キャラクター

佐伯さんは、他の村上春樹作品におけるメインの女性キャラクター同様、かなり古風な女ことばを話す(~だわ、~かしら等)。これに対し、さくらは「~だよ」「~だね」「(動詞+)よ」等、男性的な表現を多く用いる点で佐伯さんと対照をなす。この違いによって、二人の女性の年齢や境遇(職業・学歴等)の違いをそれらしく表現していると見ることができる。このような女ことばの使い分けは、「1Q84」その他の村上作品でもしばしば見られるところである。カーネル・サンダーズの世話で現れた娼婦は、やはり男ことばの要素がまじるカジュアルな女ことばを用いるが、しばしば哲学書の引用が混じることで、ギャップの面白さを演出している。高知の森の中でカフカと出会う少女(少女時代の佐伯さんを暗示させる)の話し方は、女ことばの範疇であるが、文末表現が単調で舌足らずな子供っぽさを表している。甲村図書館に調査に訪れるジェンダー問題関連の調査員は、文章語的な話し方に終始することで、高圧的で教条主義的な態度を表している。

方言キャラクター

物語の多くの部分が高松市で展開されるにも関わらず、本作品には現地の方言は一切で てこない。作品を通して方言的な表現が現れるのは、第 5 章で登場する、大阪から来た甲 村図書館の見学者の夫婦である。かつて甲村図書館を訪れた山頭火が残していった作品が すべて廃棄されていることを聞き、次のような反応を示す。

(2) 「<u>そら、もったいないことしましたな</u>」と大阪から来た奥さんが本当に惜しそうに言った。「山頭火、今やったらもうえらいお値打ちですのにねえ」

「おっしゃるとおりですね。でも当時の山頭火はまったく無名の存在でしたから、やむを得ないことかもしれません。あとになってみないとわからないこともたくさんあります」と佐伯さんはにこやかに言った。

「ほんまに、ほんまに」と夫は相づちを打った。

(文庫版・上・84頁。下線は引用者による)

これは、典型的な大阪弁キャラクターの発話内容であり、この部分に限って大阪弁を使わせたのは、大阪人ステレオタイプの露骨な利用であり、典型的な役割語であると言える。

7.2 ナカタさんのキャラクターと言語

「海辺のカフカ」の登場人物の中でも、ナカタさんの話し方は、とびきり異彩を放っている。またその話し方と、ナカタさんの小説における機能、そして小説が描こうとしている世界観とは、不可分の関係にあることを金水(2018a/印刷中)でも述べた。

ナカタさんは、聡明な少年であったが、1944年に山梨県に疎開中に起きた「お椀山事件」で意識を失い、目覚めたときには読み書き能力など重要な知的能力を失っていた(引率教師の告白により、事件そのものはその教師が少年時代のナカタさんを激しく叩いたことによる集団ヒステリーであったことが分かる)。成人してからは家具工場で木工職人の技術を身につけるが、やがて工場の閉鎖とともに職を失い、都から助成をもらって中野区で細々と生活している。彼はなぜか猫と話をすることができ、その特技を生かして猫探しのアルバイトをしていた。そんなある日に、猫殺しのジョニー・ウォーカーと出会い、目の前で猫を殺されることに堪えきれず、ジョニー・ウォーカーの挑発に乗って彼を刺し殺してしまう。その後、何ものかに導かれるように東京を離れ、不思議な現象を引き起こしながら、西へ西へと移動していく。その道中で星野青年と出会い、でこぼこコンビのような奇妙な冒険の旅が繰り広げられる。

ナカタさんのキャラクターは、次のようなものである。

1. 影が普通の人の半分の濃さしかない。

- 2. 人にあるべき、さまざまな欲望がない。
- 3. 猫と話すことができる(途中でこの能力は失われる)。
- 4. 魚を降らせたり、ヒルを降らせたりすることができる(ただし本人の意思ではないし、 なぜそれが出来るのかも理解していない)。

特に、言語的な特徴として、以下の点が上げられる。

- 5. 「私」「ぼく」などの人称代名詞を用いず、自分のことを「ナカタ」と呼ぶ。
- 6. 誰とでもきわめて丁寧なスタイルで話す。
- 7. 読み書きが出来ない。難しい単語はよく理解できない(漢語がしばしば片仮名で書かれることで、単に音をなぞっているだけであることを示している)。

以下に,発話の例を示す。

(3) 「しかし、あんたは人間にしても、いささか変わったしゃべり方をするね」とオオツカさんは言った。

「はい,みなさんにそう言われます。しかしナカタにはこういうしゃべり方しかできないのです。普通にしゃべりますと,こうなります。頭が悪いからです。昔から頭が悪かったわけではないのですが,小さいころに事故にあいまして,それから頭が悪くなったのです。字だってかけません。本も新聞も読めません」

(文庫版・上・96 頁)

この物語において、ナカタさんとは何ものであったか。それは、次のような独白でかなりはっきりするように思われる。

(4) 「ナカタは頭が悪いばかりではありません。ナカタは空っぽなのです。それが今の今よくわかりました。ナカタは本が一冊もない図書館のようなものです。昔はそうではありませんでした。ナカタの中にも本がありました。ずっと思い出せずにいたのですが、今思い出しました。はい。ナカタはかつてはみんなと同じ普通の人間だったのです。しかしあるとき何かが起こって、その結果ナカタは空っぽの入れ物みたいになってしまったのです」(文庫版・下・168頁)

空っぽであるということと、影が薄いということ、欲望を持たないことは、同じことを表している。空っぽの人間は、自分自身の意思を持たない、自動人形のようなものであると言える。ナカタさんが相手によって言葉づかいを変えることをしないのは、相手に自動的に反応しているだけで、社会的関係性によって反応の仕方を変えるという普通の人間の

コミュニケーションの取り方をしないからである。そもそも、ナカタさんは普通の人間同士が取り結ぶ社会的関係の外にある。猫と話ができるというのは、おそらくそのようなナカタさんの立ち位置を端的に表現しているのだろう。

空っぽの人間とはまた、容器のようなものであり、容易に他者の侵入を許す存在でもある。霊媒、依り代、巫女さんのような機能を果たす存在と言ってもよい。「海辺のカフカ」においては、ジョニー・ウォーカーに象徴される憎悪、破壊を司る意思に侵入されようとする一方で、カーネル・サンダーズによって具現化される、世界の歪みを正してバランスを取ろうとする超越的な力の通り道ともなる訳である。ナカタさんが、旅路のあちこちで奇跡を起こしながらそれが何を意味するかを知らず、また迷走を続けるかのように見えて目的地を過たず、正しく入り口の石までたどり着けるのは、操り人形のように超越的な他者によってその行動が制御されていたからに他ならない。一方でナカタさんの死後、口からジョニー・ウォーカーの舌とおぼしき異物が這いずりだして来たのは、その身にすでにジョニー・ウォーカーが侵入していたことの証拠であろう。

さて、偶数章の最初の方で長々と「お椀山事件」の顛末を報告書や手紙を使って述べていたのは、空っぽの人間であるナカタさんがどのようにして出来たかということを説明するためであった。このような、霊媒、依り代、巫女のような登場人物としてすぐ思い浮かぶのは「1Q84」の「ふかえり」ではないか。ふかえりの奇妙なしゃべり方の例を引用しておく。

(5) 「あってもらいたいひとがいる」とふかえりは言った。

「僕がその人に会う」と天吾は言った。

ふかえりは肯いた。

「どんな人?」と天吾は質問した。

質問は無視された。「そのひととはなしをする」と少女は言った。

「もしそうすることが必要なら、会うのはかまわない」と天吾は言った。

「ニチョウのあさはあいている」と疑問符のない質問を彼女はした。

『1Q84』では、リトル・ピープルの作り出す「空気さなぎ」によって少女の心の影を実体化した「ドウタ」が現出する(もとの少女はマザと呼ばれる)。ドウタは「パシヴァ」としてリトル・ピープルの意思を感じ取り、「レシヴァ」となる人間(深田保)がパシヴァと交わることによってその意思を理解し、具現化していく。ふかえりは、ドウタ(=パシヴ

ア)の現出に関わりを持ってしまったが、反リトル・ピープルの意思を感じ取って教団から脱出する。しかし、自分がマザなのかドウタなのか、彼女の中では判然としないとも書かれている。

このような小説の結構から、ふかえりが超自然的な意思(リトル・ピープルと反リトル・ピープル)の通り道であり、いわば「巫女」的な役目を果たしていることは明らかであろう。その際取られているのは、マザからドウタを「コピーする」という操作である。このような、霊媒、依り代、巫女のような登場人物として『1973年のピンボール』の双子の女の子(208 と 209)を思い浮かべることもできる(「完璧なコピーだ」文庫版, p. 31)。二人は「僕」の部屋に突然現れ、風のように去って行くのだが、見たはずもない「配電盤」の場所を言い当て、配電盤のお葬式を指示するなど、超自然的な振る舞いを見せる。

村上春樹を離れて、コピーという言葉で連想されるのは、アニメ『新世紀エヴァンゲリオン』(庵野秀明監督、1995~1996 放送) に登場する「綾波レイ」という 14 歳の少女である。彼女は実在の少女から作られたコピーであり、何体ものバックアップがある。抑揚のない話し方は、ふかえりに通じるものがある。ここで述べた一連の考え方から、綾波レイの機能について新たな分析を与える余地はあるかもしれない(ふかえりと綾波レイの類似については、西田隆政氏のご教示による)。

7.3 「海辺のカフカ」のキャラクター分類

以上の分析に基づき、「海辺のカフカ」のキャラクターを、アーキタイプと言語の面から 分析・分類したのが表 3 である。

表 3

『海辺のカフカ』登場人物のアーキタイプと言語						
分類	細分	名前	アーキタイプ	自称詞	言語	
クラス1		田村カフカ	主人公	僕	〈男ことば〉 寡黙	
	クラス1に近い	ナカタさん	トリックスター+メンター	ナカタ	超丁寧語	
		星野青年	同調者	俺	〈ヤンキー語〉	
クラス2		ジョニー・ウォーカー	影	私	〈男ことば〉 ※断定的・挑発的	
	}	カーネル・サンダーズ	メンター+トリックスター	わし	〈マイルド老人語〉	
	1	大島さん	同調者	僕∙私	〈男ことば〉 慇懃・くどい	
	Ì	佐伯さん	変貌者	私	〈女ことば〉 年配	
	Ì	さくら	変貌者	私	〈女ことば〉 若い	
		カラスと呼ばれる少年	メンター	僕	〈男ことば〉 断定的	
	クラス3に近い					
クラス3		調査員		私たち	丁寧語	
	1	少女		私	〈女ことば〉「~の」	
		森の兵隊		俺	〈男ことば〉	
	Ì	大阪から来た夫婦			〈大阪弁〉	
	Ì	高松の娼婦		私	弱い〈女ことば〉哲学書の引用	
	ļ	サダ(大島さんの兄)		俺	〈男ことば〉 寡黙	

ここで、田村カフカ少年が、少年であるにも関わらず子供っぽい言葉づかいをしないのは、むろんこの小説における彼の個性ではあるが、特徴のない話し方であることが、主人公クラスの視点人物として相応しい特徴であることも改めて確認できる。

際だった個性を持つナカタさんは、クラス 2 に相応しいキャラクターではあるが、読者の共感を誘うクラス 1 に近い面も持っていることは金水 (2018a/印刷中) で指摘した。

8 最後に

本稿では、役割語およびキャラクター言語の理論と、物語の構造論と、キャラクターの 三分類の理論をもとに、フィクションをキャラクターの観点から読み解く方法について試 論を提示した。

参考文献

- ヴォグラー, C. (著), 岡田 勲・講元 美香(翻訳) (2002) 『夢を語る技術〈5〉神話の法則 ーライターズ・ジャーニー』ストーリーアーツ&サイエンス研究所 (原書: Christopher Vogler. *The Writer's Journey*, Michael Wiese Productions, Studiocity, 1998.).
- キャンベル, J. (著), 倉田真木・斎藤静代・関根光宏 (訳) (2015) 『千の顔を持つ英雄 上・下』[新訳版] ハヤカワ・ノンフィクション文庫, 2015 年 (原書: Campbell, Joseph. *The Hero with a Thousand Faces*, New York: Pantheon Books, 1949.).
- 金水 敏(2003) 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店.
- 金水 敏(編) (2014) 『〈役割語〉小辞典』研究社.
- 金水 敏 (2016) 「役割語とキャラクター言語」金水敏 (編) 『役割語・キャラクター言語 研究国際ワークショップ 2015 報告論集』, pp. 5-13, 私家版.
- 金水 敏 (2017) 「言語―日本語から見たマンガ・アニメ」山田奨治 (編著) 『マンガ・アニ メで論文・レポートを書く―好きを学問にする方法―』pp. 239-262, ミネルヴァ書房.
- 金水 敏(2018a/印刷中)「魅惑するナカタさんワールド」曾秋桂(編)『村上春樹における魅惑』淡江大学出版中心.
- 金水 敏 (2018/印刷中)「第6章 アニメキャラクターの言葉」『現代の語彙—男女平等の 時代—』シリーズ 日本語の語彙,第7巻,朝倉書店.
- 定延利之(2011) 『日本社会のぞきキャラくり―顔つき・カラダつき・ことばつき―』三省 堂.
- Kinsui, Satoshi and Hiroko Yamakido (2015) "Role Language and Character Language," Acta Linguistica Asiatica 5-2: 29-41, Ljubljana: Ljubljana University Press, Faculty of Arts, Online ISSN: 2232-3317.

小説『海辺のカフカ』におけるキャラクターの

言語表現及び翻訳の分析

―中国語版の訳本との対照を通して―

劉翔

(大阪大学大学院文学研究科)

1. はじめに

『海辺のカフカ』は 2002 年に日本で刊行された、村上春樹 10 作目の長編小説である。作品内容は神秘的・魅力的で、登場人物はそれぞれ豊かな性格や個性を持っているため、数多くの読者の熱狂的な歓迎を受け、これまで多くの言語に翻訳され、出版されてきた。フィクション作品が翻訳される際、各言語それぞれの言語構造・言語特徴などに違いがあるため、翻訳の仕方によって、訳本の言葉遣いから受けるイメージが原作と異なる場合もある。例えば、本作の主人公のナカタさんは、自分自身のことを常に「ナカタ」と称し、誰に対しても「~であります」のような丁寧なスタイルで話す。一方、中国語に翻訳される時、"我说,在这里稍坐一会儿可以么?中田我多少有点儿走累了。" のように、原作における自称の「ナカタ」が「中田我」と翻訳されている。更に、猫に対しては"是的,小姓中田。猫君,您呢?"のように、相手を尊敬する、あるいは相手に対して遠慮を示す時に用いられる、二人称代名詞「您」を使用している。このように、キャラクターの特徴ある話し方が中国語に翻訳される時に、原作とどのように相違するのかは非常に興味深い点である。

そこで、本稿は、上記のナカタさん及び猫のオオツカさん、ケンタッキーフライドチキンの創業者の 扮装をした謎の人物であるカーネル・サンダーズという三つの代表的なキャラクターを調査対象とし、 キャラクターの特徴的な話し方を役割語・キャラクター言語の側面から分析したうえで、中国語におけ る翻訳方法を考察し、原作のイメージとの共通性、相違点を検証していく。

2. 先行研究

金水(2003)は、「役割語」という概念を提示し、アニメ・マンガに出てくる「博士」「お嬢様」「異人」などの言語的特徴がなぜその役割と結び付られて認識されるのかについて述べている。金水(2003)の「役割語」の定義は以下の通りである。

ある特定の言葉遣い(語彙・語法・言い回し・イントネーション等)を聞くと特定の人物像(年齢、性別、職業、階層、時代、容姿・風貌、性格等)を思い浮かべることができるとき、あるいはある特定の人物像を提示されると、その人物がいかにも使用しそうな言葉遣いを思い浮かべることができるとき、その言葉遣いを「役割語」と呼ぶ。

(金水 2003:205)

定義から分かるように、話し方と人物像とが結びついている時、且つ社会的にその知識が共有されて いる時の、その話し方を役割語というわけである。また、金水(2016)は、「フィクションの中でキャ ラクターに割り当てられた特有の話し方を「キャラクター言語」と呼ぶ」ことが提案された。そして、「社 会的・文化的グループに基づく「役割語」は、キャラクター言語の部分集合と考えることができる。役割 語はステレオタイプであるので、言語共同体の成員にその知識が広く共有されており、パターンもある 程度限られているが、役割語ではないキャラクター言語は多様なパターンがあり得て、閉じたグループ をなすとは言えない」と、役割語とキャラクター言語の関係を指摘している。本作品に登場するナカタ さんの場合は、常に奇妙な話し方をし、ストーリーの展開にとって非常に重要であるが、ステレオタイ プの適用にならないので役割語と言えず、キャラクター言語に属すると言えよう。金水(2003)は「役 割語は、つねにわかりやすい。使い手の人物像を瞬間的に、受け手に伝えてしまう。(中略)フィクシ ョンのなかで、作り手が登場人物の属性を効率よく受け手に知らせるための手段の一つ」と役割語の機 能・重要性を示している。このように、役割語はフィクションにおけるキャラクターの人物像を効率よ く表現できるため、文学作品で頻繁に使用されている。また、キャラクターの個性を際立たせるため、 キャラクター言語を使用することもしばしば見られる。一方、日本語の場合はバリエーションが豊富で あり、また日本語と中国語と言語構造の違いによって、訳せない語も存在する。原文に見る役割語・キ ャラクター言語はどのように他言語に訳すかは大きな課題になると考えている。次の節では、小説の中 にあるキャラクター言語は実際にどのように中国語へ訳されているのか、翻訳者はどのような翻訳手段 を使って翻訳しているのか、また訳文におけるキャラクターのイメージは原作と一致するかどうかなど、 その実態について調査を行う。

3. 考察方法及び対照分析

3.1 考察方法:

小説 (原作)の中から役割語・キャラクター言語的な特徴がみられる会話文を抽出し、それに対応する中国語の表現を対照しながら分析を行う。考察する際、主に「人称代名詞」「文末表現」に注目する」。そして、中国語の分析にあたっては、林少華の翻訳(中国大陸版・上海訳文出版社)を使用することにする。村上春樹の作品の翻訳と言えば、中国語圏では林少華(大陸)と頼明珠(台湾)を代表的な翻訳者として挙げることができる。林少華はこれまで多くの村上の作品を翻訳し、出版されてきたが、この『海辺のカフカ』は林氏の21本目²の村上翻訳作品である。次に、対訳作品『海辺のカフカ』における登場人物の会話文の内容を考察していく。

3.2 発話特徴の分析:

¹ 日本語の役割語にとって重要な指標は、人称代名詞またはそれに代わる表現、及び文末表現である とされている(金水 2003)。

² 中国語版『海辺のカフカ』の「訳者の話」による。(『海边的卡夫卡』林少华(译)上海译文出版 社)

1) ナカタさん

主人公のナカタさんは、東京都中野区野方に住む風変わりな老人で、小さい頃に「お椀山事件」で記憶を失い、以来知的障害者として生活している。事件に遭う前にはとても成績の良い秀才であった。素直、真面目で礼儀正しい。読み書きができないが、猫と話せるという特技を持っている。「猫探しの名人」として評判が高い。影が薄く普通の人の半分しかない。常に奇妙な喋り方をし、一人称は「ナカタ」、二人称は「あなた」、そして猫、犬のような動物に対して「猫さん」「犬さん」と呼ぶ。更に、猫を含め誰に対しても文末に「~であります」のような丁寧体で話す。

①人称代名詞/呼称

ア) 一人称

- (1) a. 「あの、ここにちょっと腰をおろしてかまいませんか?<u>ナカタ</u>はいささか歩き疲れましたので」 (K1-93-8)
 - b. 我说,在这里稍坐一会可以么?中田我多少有点儿走累了。
- (2) a. 「そのうちにまたこのへんに立ち寄ることもあると思いますので、もしそれまでにゴマの姿を 見かけたら、<u>ナカタ</u>にぜひ教えてください。失礼かもしれませんが、できる限りのお礼はいた します」(K1-102-7)
 - b. 过几天还可能来这里转转,届时如您发现胡麻,务请告知<u>中田我</u>一声。那么说也许失礼——一 定最大限度地答谢。

例は a が原作で、b が訳本となっている(以下同様)。下線の部分に注目すると、日本語原作では、ナカタさんは一人称を「ナカタ」と称する。このような用法は、女性や子供がしばしば一人称(三人称と同じ)で自称することに見られるため、ナカタさんの子供らしさ、未熟さが伝わってくる。一方、中国語の訳本では、「中田我」と訳している。つまり、指示呼称語(中田)と人称代名詞(我)との組み合わせになる。もし主語を原文のまま「中田」と訳せば、単なる指示呼称語となり、発話の内容が自分のことを指すのではなく、他人のことになってしまう。また、単純に中国語の一人称代名詞「我」と訳さなかったのは、訳者の林少華がなるべく原文に忠実に、「ナカタさん」というキャラクターの独特な奇妙さを表現したかったからだと考えられる。この「中田我」という訳し方は、巧妙に中田さんの性格を表現している。訳者の原作のイメージを表現しようとする意図が見て取れると言える。

呂叔湘主編 ・菱沼透 [ほか] 訳 (2003) は、「中国語の人称代名詞「我」と他の名前、身分呼称との組み合わせを総括的に扱って、こうした組み合わせは「感情的色あいが含まれる」」と指摘している。 具体的には、以下のようである。

我【代詞】、自分のことを指して言う。

- a. 所有関係を表すときは"我"の後ろに"的"を付ける。例: ~的钥匙(私の鍵)
- b. 自分の名前や身分を表す名詞に直接結びつけて用いる。 "我" は名詞の前か後ろに置く。 **感情的色あ**

また、続(1989)は、人称代名詞と指示呼称語との組み合わせを、二つのタイプ(I. 人称代名詞+指示呼称語 II. 指示呼称語+人称代名詞)に分け、敬語体系の面から分析し検討を行った。そして、この二つのタイプは、「ともに、同じ人物のことを、二度重ねて出している。根底に話し手の強調の気持ちが入っている。そしてまた、誤解されることなく、はっきり示しておこうという話し手の念を押す気持ちも入っている」としている。続氏は、タイプ I. 特に「一人称+指示呼称語」を「オモイアガリ・自己主張型」 3 と呼んでいる。それに対して、人称代名詞と指示呼称語の位置が I. タイプと完全に逆のタイプ、つまり、指示呼称語が先に出され、その後に人称代名詞が来るタイプ II. 「指示呼称語+人称代名詞」の中、取り分け、「指示呼称語+一人称」のことを、「ヘリクダリ・ツツシミ型」 4 と呼んでいる。このタイプは、話し手の低い姿勢、謙虚かつ慎重な態度・気持ちを表している。更に、敬語体系の側面から、「このタイプは明らかにプラス的な敬語である」と指摘している。「中田我」という訳し方は、正にこのタイプ II. の「指示呼称語+人称代名詞」に属する。

以上から分かるように、中国語訳本では、「中田我」のようなへりくだった表現を使用することで穏 やかで謙虚、正直で温厚であるナカタさんの人物像が読み取れる。

イ) 二人称&呼称

- (3) a. 「そうです。ナカタと申します。猫さん、<u>あなた</u>は?」(K1-94-1) b. 是的,小姓中田。猫君,您呢?
- (4) a. 「それでは<u>猫さん</u>のことを、オオツカさんと呼んでよろしいでしょうか?」(K1-94-9) b. 那么,把您<u>猫君</u>称为大冢君好么?
- (5) a. 「といいますと、<u>猫さん</u>はどこかのお宅で飼われているんじゃないんですね」(K1-94-5) b. "听您这么说,您猫君不是被哪户人家饲养的?"

_

³ 「一人称「我」をまっさきにさらけ出すということは、その「我」を強く訴える意味にほかならない。 続いて指示呼称語を出すのは「我」という人物にふさわしい人柄や社会的地位などを示して、補足を行 うためである。(中略)「おれという人物はこういう人物だぞ」という意味あいになる。一人称「我」の イメージを強く聞き手につきつけることになる」とし、更に、敬語使用の規則から、「このタイプが表 される文法的な意味は、マイナス的敬語の類に入る」と指摘している。(続 1989:71)。

⁴ 指示呼称語によって、まず、「我」の名前や、身分などが示されるのだが、話し手としての「我」は、その指示呼称語によって示される名前や、身分などに照らし合わせて、その名前や身分に自分の行いが ふさわしいかどうかを確認するというような形で、後に示される。自分を表す「我」と、自分の名前や 身分などとのあいだに力関係のバランスをもつために、つまり、その名前や身分で示される社会的な人間としての名誉を守るためには、話し手は、つつしみ深く行動しなければならないだろう。 万が一、あ やまりを犯せば、その責任を取らなければならない。 こういう意味で、このタイプを「ヘリクダリ・ツッシミ型」と呼ぶことができるだろう。 (続 1989:74)

用例(3)について、原作では二人称の「あなた」を使用しているが、これに対して、中国語の訳文では、敬称を表す代名詞、相手を尊敬し、遠慮を示すときに用いられる「您」を使用している。陳(2009)は、「「您」は清の時代までは尊敬の意味合いが含まれず、普通の二人称として使われたが、その以降、用法が大きく変化し、相手への敬意を表すほか、話し手自身の文化教養及び文明程度も示している」と指摘している。

更に、例(4)(5)のように、原作ではナカタさんは猫に対して「猫さん」と呼んでいる。訳文では、「猫君」と訳している。『クラウン中日辞典』では中国語の「~君」の使用法について、「人に対する尊称である」と記述している。つまり、訳文では、ナカタさんは猫に対して尊敬的な表現を使用していることがわかる。

以上から、中国語訳本では、尊敬語の「您」「~君」を使用することで、ナカタさんという上品で礼 儀正しい人物像が読み取れる。

②文末表現

- (6)a. 「なかなか良いお天気<u>でありますね</u>」(K1-92-4) b. 天气好得很嘛!
- (7)a. 「それはいつごろのことでありましょうか?」(K1-106-6)b. 那是什么时候的事情呢?
- (8)a. 「はい。必要のないものはすぐ忘れるもの<u>であります</u>。それはナカタも同じ<u>であります</u>」と男は 頭をかきながら言った。(K1-94-4)
 - b. "那是。用不上的东西很快就会忘掉,这点中田我也不例外。"男子搔着头说。
- (9)a. 「それで、このナカタが、あなたのことを、カワムラさんと呼んでも、よろしいの<u>であります</u> \underline{a} ?」(K1-155-1)
 - b. 那么,中田我称您为川村君也未尝不可的喽?
- (10)a. 「そのとおり<u>であります</u>」(K1-97-6) b. 正是正是

例(6a.)~(10a.)から分かるように、ナカタさんは常に、丁寧体の「~であります」を用いる。 一方、中国語の訳文に注目すると、原文の「~であります」を無視して訳さない場合(例 8、10)もあれば、「嘛」「呢」「喽」のような語気助詞を当てている場合(例 6、7、9)もある。しかし、このような語気助詞を仔細に見れば、大体原文の「でありますね」「でありましょうか」の「ね」・「か」と対応していることが分かる。このように、中国語の訳文を見るだけでは、極端な丁寧体を使うナカタさんの奇妙で変わった喋り方をする風変わりな老人というイメージを読者に伝えることは難しい。そして、文末 の語気助詞の多用はごく普通の人、しかも女性であるというイメージを思い浮かべやすくなる⁵と思われる。よって、原作で与えられたイメージには相応しくない人物像を思い浮かべさせる表現となっていると考える。

③その他一片仮名表記

(11)a. 「<u>ホジョ</u>がでます」(K1-97-16)b. 有补贴

(12)a. ミミ:「なにしろあの子は語彙が少ないものですから――」

ナカタ:「ゴイ?」 (K1-166-7)

b. 咪咪: 那孩子毕竟语汇少嘛

中田: 语汇?

原作では、ナカタさんが難しい言葉・表現を使用する際、上記例 11、12 のように、しばしばカタカナで表記する (「ホジョ」「ゴイ」)。これは、作者が日本語の表記方法を利用し、ナカタさんのキャラ作り (つまり、頭が悪い、知的障害者) のためのではないかと考えられる。一方、中国語では、漢字表記しかないため、発話者が知的障害者であることが全く読み取れない。

④中国語の訳文側から――四字成語・熟語の多用

ここまでは、日本語側から登場人物の「人称代名詞」及び「文末表現」に注目し、日中対照しながら 発話特徴の分析を行ったが、次は、中国語訳本に焦点を当てて考察を行おうと思う。

- (13)a.「いつでも、どのような猫さんとでもしゃべれるというのではありませんが、いろんなことが<u>う</u> まくいけば、なんとかこのようにお話をすることができます」(K1-93-4)
 - b. 也不是任何时候同任何猫君都能讲。不过如果事事一帆风顺,总可以这么讲上几句。
- (14)a. 「そのとおりであります。覚えなくてはならないことが多いというのは、まったく不便なものであります。」(K1-95-9)
 - b. 诚哉斯言。必须记的事那么多,的确不便之至。
- (15)a. 「しかし人間の世界では字がかけませんと、それは頭が悪いのです。本や新聞が読めませんと、 それは頭が悪いのです。そう決まっております。」(K1-96-12)
 - b. 可是在人类社会,若不会写字,那就是脑袋不好使;若不会读书看报,那就是脑袋不好使。此乃

^{™ (2013)} は、中国語の「女性的表現」の特徴を以下のようにまとめられている。

上昇調の多用、伸ばされる単語、語気助詞(哟、呀、哪、呢)の多用、言い回し表現、特定の語彙 (讨厌、无聊)、程度副詞の多用(最、特別、太、极)等。

金科玉律。

- (16) a. 「ミミさんのご意見も、もちろんありがたくいただきます」(K1-161-9) b. 您咪咪君的意见当然也<u>难能可贵</u>。
- (17)a. 「はい。先ほどはそうおっしゃっておられました。ただ、そのあとのことが、いったい何をおっしゃっておられるのか、このナカタの頭ではどうにも理解できなくて、いささか困っておりました」(K1-162-1)

b. 是的。一开始那么说来着。但后来到底说的什么,凭中田我这颗脑袋实在<u>百思莫解</u>,不知如何是好。

(18)a. 「はい。もしそうしていただけたなら、ほんとうにナカタは助かります」(K1-162-9) b. 好好, 承蒙如此关照,中田我如释重负。

用例(13b)~(18b)の下線部に注目すると、中国語版のナカタさんの発話は「一帆风顺」(順調、 順風満帆)、「诚哉斯言」(その通り)、「不便之至」(とても不便)、「金科玉律」(金科玉条)、 「难能可贵」(なかなかできないことができた)、「百思莫解」(いくら考えても理解できない)、 「如释重负」(肩から重荷を下したかのよう、責任を果たしたり心配事がなくなったりしてほっとする 形容)などのような簡潔でしかも古文調の四字成語・熟語が頻繁に使用されていることが分かる。河崎 (2013) は「中国語の言語社会においては、発話に成語を多用し、または古典や詩を引用するキャラク ターは「知識人」として認識されている。」と指摘している。つまり、訳本で、このような四字成語・ 熟語を多用することは、読者に秀才・知識人、文化教養がある人という印象を残すだろうと考えられる。 以上の考察によって分かるように、原作からは頭がよくないが、真面目で礼儀正しい、誰に対しても 丁寧な話し方をする奇妙な老人というナカタさんのイメージが伝わってくる。一方、中国語の訳本では、 「中田我」のような謙譲表現、「猫君」「您」のような尊敬語から、謙虚、温厚、穏やかで礼儀正しい人 物像が読み取れる。つまり、全体から見れば、原作と同じイメージが伝わってくるが、ただ、部分的な セリフ(四字成語の多用)だけを見れば、ナカタさんは原作より知能が高い人に見られるため、原作の イメージと一致しない所もあると思われる。訳者の林少華自身が深い中国古典文化の知識を持っている。 優雅、簡潔、洗練の言葉を使用することは林氏の翻訳スタイルであり、格調である。特に、四字成語・ 熟語の使用は林氏の翻訳作品に共通する特徴であることは既にいくつかの先行研究で指摘されている。 林氏は翻訳する際に、キャラクターのセリフによってキャラクターを示すより、文章の簡潔さや優雅さ を重視していると考えられる。

2) 猫のオオツカさん—〈男ことば〉

(19)a. 「えーと、それで、<u>あんた</u>は……ナカタさんっていうん<u>だ</u>ね」(K1-93-16) b. 哦--, 那么, 你……是姓中田喽?

- (20) a. 「なん<u>だい</u>、それは? どうして<u>オレ</u>が。……オオツカなん<u>だい</u>?」(K1-94-11)b. 什么呀, 那是? 我何苦……叫哪家子大冢?
- (21) a. 「しかし、<u>あんた</u>は人間にしても、いささか変わったしゃべり方をするね」とオオツカさんは 言った。(K1-96-3) b. 不过, 你作为人, 讲话方式多少与众不同。
- (22) a. 「でも<u>あんた</u>はこうして猫と話ができるじゃないか」(K1-97-3)b. 可你不是能这样跟猫讲话吗?
- (23) a. 「そんなに悪くない生活みたいに……<u>オレ</u>には思えるけどね」(K1-98-4) b. 生活好像不那么坏的……我觉得。
- (24) a. 「それで、<u>あんた</u>、ずいぶん長くこの猫を探しているの<u>かい</u>?」(K1-100-6) b. 那么说, 你是找这猫找很久了?
- (25) a. 「<u>オレ</u>の見る限りでは、<u>あんた</u>は頭は悪くないみたいだけどね」(K1-104-15) b. 依<u>我</u>之见, <u>你</u>脑袋好像并不差。
- (26) a. 「<u>オレ</u>が言いたいのはね、<u>あんた</u>の問題点は、頭の悪いことにあるんじゃないってことなんだよ」とオオツカさんはまじめな顔で言った。(K1-105-10)
 - b. "我的意思是:你的问题点并不在于你脑袋的不好使。"大冢神情肃然地说。

オオツカさんは、年老いた大きな黒い雄猫である。本作品では、擬人化して、男ことばで喋っている。一人称は「オレ」、二人称「あんた」、文末に「だ」、「~だい」、「~かい」を使用する。金水編(2014) 『〈役割語〉小辞典』では、「「おれ」、一人称代名詞。今日では一般に〈男ことば〉として認識されている。(中略)明治になって知識人層の男性を中心に「ぼく」が広まると、「おれ」は非知的、土着的な印象を与える男性専用の代名詞となった(〈男ことば〉)」としている。そして、「あんた」について、「「あんた」、二人称代名詞「あなた」の変化した形。(中略)他の敬称と同じく、「あんた」も使われていくうちに敬意が次第に低くなり、同等もしくはそれ以下の人物に対しての使用が主となる。」と述べている。このように、原作では、男性専用の人称代名詞をもって雄猫(男)という人物像を表現している。これに対して、中国語の訳本では、一般用語の「我」と「你」に翻訳され、男性に特徴的な人称代名詞及び文末表現は見当たらないため、読者には雄猫(男性キャラ)を想起するのは難しい。

- 3) カーネル・サンダーズ〈老人語〉
- (27) a. 「そっくりではない。<u>わし</u>がカーネル・サンダーズだ」(K2-67-7) b. 不是一模一样,<u>我</u>就是卡内尔・山德士。
- (28) a. 「よろしい。ついてき<u>たまえ</u>」(K2-71-16)b. 那好, <u>跟我来</u>!
- (29) a. 「まったく情けない<u>やつ</u>だ。それでも男か。」(K2-92-4) b. 好个不争气的家伙! 那也算男人?
- (30) a. 「ああ、<u>わし</u>だ」、相手が出るとカーネル・サンダーズは言った。「いつものところだ。神社だ。 隣にホシノちゃんという男がいる。そう……。そうだ。いつものとおりだ。わかっ<u>ておる</u>。い いからすぐに来なさい」(K2-93-2)
 - b. "啊,是<u>我</u>。"听到有人接起,卡内尔·山德士说道,"老地方,神社。旁边有个叫星野的小子。 是的···对对。老营生。知道了。好了,快些过来。"
- (31) a. 「困ら<u>ん</u>。もともと名前もないし、かたちもない」(K2-119-1) b. 不麻烦。本来就没名字,也没形体。
- (32) a. 「ほんとは違う。とりあえずカーネル・サンダーズのかっこうをしておるだけだ」(K2-118-12) b. 其实不是。姑且装扮成卡内尔・山德士罢了。
- (33) a. 「<u>お前</u>、学校に行かなかったのか?」(K2-121-1) b. <u>你小子</u>, 没上过学?
- (34) a. 「わからん<u>やつ</u>だな、<u>お前</u>も。さっきも言ったはずだが、<u>私</u>には実体というものがないんだ。 私は抽象概念に過ぎない。」(K2-123-8)
 - b. 真个不懂事, 你小子! 刚才应该说过了的, 我是没有实体的。我不过是抽象概念。

カーネル・サンダーズは、ケンタッキーフライドチキンの創業者の扮装をし、真っ白なスーツをきた 小柄な老人、客引きのおじさんである。謎めいていて、本当は人間ではない。作品の第 26, 28, 30 章 に登場する。金水氏が提出した「物語の登場人物の三分類」のClass2⁶に属するキャラクターと言える。

⁶金水(2017)により、「クラス 2:メンター、同調者、敵対者、トリックスター、変貌者、影といった アーキタイプに属する重要なキャラクターがここに位置する。個性的であるが、内面描写はクラス 1 の

カーネル・サンダーズの話し方は老人語の一種と見てもよいだろう。一人称は「わし」(後半から時に「私」と自称する)、文末に「~ておる」、「ん」などを使用している。だだし、助動詞「じゃ」ではなく「だ」を用いる。

例 (27) (30) (32) 原文の下線部「わし」「おる」は、〈老人語〉の語彙項目に属する。金水編 (2014) 『〈役割語〉小辞典』では、「わし」と「おる」について、次のように記述している。

「わし」、一人称の代名詞。主に<男ことば>として用いられる。近世期から用いられていたが、当時は主に女性が、親しい相手に対して使用していた。その後、武士の間に広まり、さらにそれが権威のある物言いとして、年配者の話にも用いられるようになり、次第に「わしが知っとる」のように「わし」という一人称は、老人、博士などのキャラクターの特徴となる(<老人語><博士語>)。

(『〈役割語〉小辞典』P202)

「おる」居る(動詞)、「いる(居る)」と同義。共通語では、「おり」(連用中止法)、「おります」「おられる」の三つの形以外ではほとんど用いられない。(中略)「じゃ」「~ん」(打ち消し)とともに、役割語の〈老人語〉(または〈博士語〉)の一部としてよく用いられる。

(『〈役割語〉小辞典』P63)

このように、原作では、老人という設定を裏付ける役割語的要素が明確に見られることがわかる。一方、中国語の訳文では、「おる」を訳さず、「わし」を誰にでも使える一人称「我」を当てているため、老人の言葉づかいといったイメージはまったく伝わってこない。但し、他の所から、例えば「やつ」「お前」のような荒っぽい話し方、そして〈書生語・上司語〉の「~たまえ」は、中国語の「家伙」「(軽蔑や冗談の意味を含む)、「你小子」®(ぞんざいな言い方。乱暴、礼儀になっていない人が使う。場合によって、非常に親しい人の間に冗談っぽく使用することもある)、「跟我来!」(ついて来い!命令、しかも感嘆符が付くことでより強烈な感情を表している)のようなやや強い語気を表す特別な表現に訳されているため、発話者が尊大で威厳のあるキャラクターであることが推測できる。

以上から分かるように、中国語版の訳本においては、全体的に言えば、原作に現れたキャラクターの 人物像と一致するが、一致しないところも見られる。その原因は、次の2点と考えられる。

- ①翻訳者が自身の翻訳スタイルに拘り、原作における役割語の重要さに気付いていない。
- ②中国語の言語特徴、使用可能な言語資源が日本語と異なり、限界がある。(Eg:中国語の一人称・二人

人物よりも少なく、「他者」として立ち現れる人物たちであると言える。言葉の面では、典型的な役割 語 (標準語を含む) が用いられる場合が多いが、一方で、通常の役割語からずらしたり、重ねたり、あるいはまったくそれまでに例のないユニークな話し方をさせる場合もある。」としている。

7【家伙】:人、やつ。軽んじたり、からかう意味を含む。例:那个~是谁?/やつは何者だ?(『超級クラウン中日辞典』三省堂), P 518.

8【小子】: (多く男性を軽べつして、時には親しみをこめて言う場合の)やつ、野郎。例:小子,你过来!=おい、こちらへ来い!(『白水社中国語辞典』白水社), P 1603.

称代名詞は語彙的に限られている。また中国語の文末表現も日本語ほどは発達していない)

4. 終わりに

今回、『海辺のカフカ』における三つのキャラクター、ナカタさん、猫のオオツカさん、謎の老人カーネル・サンダーズのそれぞれの特徴ある話し方が中国語においてどのように翻訳されているか、そして、原作のイメージとの共通性・相違点を考察し、検証を行った。今後、他のキャラクターの言語表現の翻訳を考察し、最終的にはもっとキャラクターを強調した翻訳方法を提案したい。

調查資料

村上春樹 (2005) 『海辺のカフカ (上・下)』 新潮文庫

村上春樹(著)林少華(訳)(2007)『海边的卡夫卡』上海译文出版社

参考文献

ア) 日本語文献

金水敏 (2003) 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店

金水敏(編)(2014)『〈役割語〉小辞典』研究社

金水敏 (2016)「役割語とキャラクター言語」『役割語・キャラクター言語研究国際ワークショップ報告論集』私家版 pp. 5-13

金水敏(2017)「言語―日本語から見たマンガ・アニメ」山田奨治(編)『「マンガ・アニメ」で論文・レポートを書く―「好き」を学問にする方法―』ミネルヴァ書房

続三義(1989)「中国語の人称代名詞と指示呼称語との組み合わせについて」『中国語学』236 号 pp. 70-78

陳一吟 (2013) 『日本語におけるジェンダー表現: 大学生の使用実態および意識を中心に』 花書院 呂叔湘主編、菱沼透 [ほか] 訳 (2003) 『中国語文法用例辞典』 東方書店

イ) 中国語文献

陈翠珠(2009)《汉语人称代词考论》 华中师范大学博士論文 河崎深雪(2013)《汉语"角色语言"研究》華中科技大学

『海辺のカフカ』にみる〈女ことば〉、〈男ことば〉の 中国語訳について

―林少華訳と頼明珠訳を比較して―

文 雪

(大阪大学大学院文学研究科)

1 はじめに

特定の言葉づかいと特定の人物像を結びつく「役割語」(金水 2003:205)はポピュラーカルチャー作品に多く活用されるが文学作品にもしばしば見られる。また、役割語の表現手段は言語ごとに異なるので、文学翻訳において、原文に見る役割語は訳文にどう反映されるのかという課題は興味深く感じる。本研究は村上春樹の小説『海辺のカフカ』(以下『カフカ』と略する)の中国語訳を調査対象として、原文に見る〈女ことば〉、〈男ことば〉の訳し方に焦点を当てる。また、村上春樹の中国語訳は中国大陸版と台湾版の二つのヴァージョンがあり、従来の翻訳研究においても、二つの訳を対照的に取り上げるものが多いので、今回も両訳を比較しながら考察していきたい。大陸版は林少華訳を用い、台湾版は頼明珠訳を用いる。

2 先行研究

文学翻訳において、日本語の中国語訳をめぐる研究は多々あるが、直接役割語の視点から考察するものはほぼないと言える。例えば日本語にみる〈女ことば〉は中国語においてどう翻訳されているのか、こういう視点からの考察は管見の限りまだ行われていない。そのため、役割語の視点と間接的に関わりのある先行研究を概観したい。日本語の役割語にとって重要な指標は、人称代名詞またはそれに代わる表現、及び文末表現であるので、日本語を中国語に翻訳する際の人称代名詞及び文末表現の扱い方に関する先行研究をあげておく。

2.1 一人称の翻訳について

一人称を含め、人称代名詞の翻訳について一番多く指摘されるのは訳文と原文に見る使用頻度の差である。文化上及び言語構造上の違いにより、日本文学作品の中国語訳に見る人称代名詞の使用数は原文より多いことは多くの先行研究が指摘している。使用頻度の他に、唐(2014)はスコポス理論の観点から一人称の翻訳を論じている。スコポス理論とは、翻訳を何らかの目的を達成するための行為とみなし、翻訳行為の目的が翻訳のプロセスに

決定的な影響を与えるという翻訳論である。その目的の中に、特に「訳者の目的」に着目 し、「訳者の目的」を「言語効果」、「時代目的」、「文化目的」、「政治目的」の四つに分けて 分析している。

「言語効果」については、村上春樹の小説『ノルウェイの森』の中国語訳から次の例を 引いている。

1)

原文:「<u>私</u>と一緒にウルグァイに行っちゃえば良いのよ」と緑はカウンターに片肘をついたまま言った。

訳文:"同人家一起去乌拉圭算了啦。"绿子依然一只胳膊拄着台面说

中国語の"人家"という一人称を用いて自称する場合、話し手と聞き手の関係が親しく、その上、自称する人は非常に活発な性格であり、可愛いイメージを持っていることが推測できる。一般的女性が男性に甘える時によく使われる。原文の発話者である「緑」は明るく、活発な性格を持つ女性であり、この発話場面は聞き手の男性に対し愛情を抱き、甘えているシーンである。"人家"という一人称で発話者の性格をはっきり再現できたと思われる。

「時代目的」について、芥川龍之介の小説『地獄変』の中国語訳から次の例を引いている。

2)

原文: ……「<u>己</u>は少し午睡をしようと思う。が、どうもこの頃は夢見が悪い。」とこう申すのでございます。

訳文: ……"吾欲午休片刻。然近日噩梦连连。"

原文は小説の主人公「良秀」の発話であり、小説の時代設定は日本の平安時代である。 訳文に見る一人称「吾」は古代の中国語の一人称であり、謙って礼儀正しくふるまう人物 像をイメージさせる。訳者は作品の時代感を再現するためにこの訳語を選んだと考えられ る。

「文化目的」については、夏目漱石の小説『吾輩は猫である』の中国語訳をあげている。

3)

原文: 吾輩は猫である。名前はまだない。

訳文:咱家是猫。名字嘛……还没有。

小説の主人公「吾輩」は主人に対し不満を持ちながらも主人の家から出ていく勇気を持っていない。こういう矛盾に満ちた「吾輩」の性格には、封建的意識が衰え、自由と平等の意識が芽生えた明治時代の文化状況が反映されるとしている。一方、「咱家」は中国古代の宦官が使う一人称である。宦官は目上に対しではへりくだって自分自身のことを「奴婢」と称する一方、目下の人に対しては「咱家」と自称し威張るという封建制度に根ざした二面性を持ち合わせる。訳文は作品の文化面での特徴を重視していると述べている。

「政治目的」については、階級闘争を描く小説『蟹工船』の訳文をあげている。

4)

原文:俺(おい)らもう一文も無え。――くそ。こら

訳文 $a: \underline{\mathcal{X}}$ 可是镚子儿没有了,妈的。瞧这儿! 訳文 b: 咱身上连个子儿也没有了。妈的,你瞧。

訳文 a は発話者の無産階級の身分を尊重し、俗っぽい言葉使いを美化するために、「我」に訳したと思われる。訳文 b は無産階級の正義感を描こうとする意図から「咱」という訳語を選んだとする。「咱」という一人称は親切感があり、聞き手を話し手側のグループに含めようとするニュアンスを帯びている。

以上に挙げたように、唐(2014)は人称代名詞の訳語は「訳者の目的」によって決められると述べている。しかし、こういった「目的」(キャラクターの性格、時代性、文化性、政治性等)のどれをとっても、役割語の概念を借りて見れば、「特定の人物像(年齢、性別、職業、階層、時代、容姿・風貌、性格等)」に含まれていると言えよう。

2.2 文末表現の翻訳について

文末表現の翻訳は主に終助詞に着目する研究があげられる。潘・盛(2016) は村上春樹の小説『海辺のカフカ』の二つの中国語訳を比べた。大陸版の林少華の訳文は大抵原文に見る終助詞の翻訳を省略している。一方台湾版の頼明珠の訳文は終助詞を逐一訳す傾向がある。また、劉(2014)は、マンガ『名探偵コナン』の中国語訳では、女ことばに属する終助詞(「わ」など)は男ことばに属する終助詞(「ぜ」「ぞ」など)より多く翻訳されていると指摘している。

2.3 まとめ

唐(2014)は一人称の訳語は訳者の目的によって選択されるとするが、それらの目的は役割語の定義に統一されるのではないかと考えられる。要するに人物像との結び付きである。

終助詞の翻訳についても、男性性や女性性など人物像との結び付きは意識されている。これらの研究は直接ではないが、役割語の要素を部分的に取り入れるように捉えられる。

もっとも、文学作品における人物像の繰り出しは会話文のみで成り立つわけではない。 また、文学作品の翻訳の評価基準は多元的であり、役割語に対する分析のみでは不十分 であることは言うまでもない。本研究は、言葉づかいと人物像の結び付きという限定さ れる範囲での考察を通じて、役割語の視点から、文学翻訳のアプローチへの新たな可能 性を提示したい。

3 考察と分析

3.1 役割語とキャラクターの登場頻度の関係

金水(2017)では、フィクション作品に登場するキャラクターの重要度と役割語の使用状況について次の3つのクラスに分類している。

5)

クラス 1: 主人公および準主人公。[…]言葉づかいは標準語を基調とする、役割語度の 低い話し方となることが多い

クラス 2: 重要なキャラクターである。[…]言葉の面では、典型的な役割語(標準語を含む)が用いられる場合が多いが、一方で、通常の役割語からずらしたり、重ねたり、あるいはまったくそれまでに例のないユニークな話し方をさせる場合もある。

クラス 3: ほぼ 1 回登場したらそれっきりの人物であり、従って名前が現れることもまれである。[…]言葉の面では、役柄に応じた一番無難な(典型的な)役割語(標準語)を使用することが基本である。

本研究では、「典型的な役割語」の翻訳を研究対象にする。従って、分析対象となるフィクション作品の登場人物は金水(2017)で挙げたクラス 2 に属し、かつ典型的な役割語を使用するキャラクターに選定する。クラス 3 のキャラクターも典型的な役割語を使用するが、登場回数の制限により分析材料となる発話の量が少なすぎる可能性が大きい。

今回は『カフカ』に登場し、クラス 2 に属するキャラクター「ミミ」と「トロ」のセリフ及びその訳文を考察の対象にする。ミミは、全 49 章のうち第 10 章、第 16 章、第 18 章に登場し、セリフは計 114 例ある。トロは第 46 章と第 48 章に登場し、セリフは計 121 例ある。詳細は添付資料を参照されたい。

3.2 考察

考察の方法は、まず原文に見る役割語要素を人物像とどう結付くのかを全体的に「分析」する。次に、訳文における言葉づかいについて考察する。用例を引用する際に、「巻番号-頁番号-行番号」という形式で日本語テキストの引用箇所を示し、その後ろに【】で添付資料の通し番号を示す。

3.2.1 ミミのセリフに見る役割語要素とミミの人物像

ミミについて原文に次のような描写がある。「ずいぶん要領のよさそうなシャム猫だった。 教養もある。これまでいろんな猫に会って話をしたけれど、車の種類を知っていたり、オペラを聴いたりする猫なんて初めてだ」。ミミは裕福な家に飼われている雌猫であり、金水(2014)で分類される〈お嬢様ことば〉及び〈女ことば〉を使用する。ミミのセリフに見る役割語要素を表1にまとめた。数字は対応する役割語要素を用いる例文の数を示す。

セリフ総数	くお嬢様こ	〈女ことば〉	「おばあ	女性の
114 例	とば〉		さん」語	傾向的表現
人称代名詞	わたくし	-	_	_
	14 例			
文末表現	かしら	文末に用いる助詞「の」(「の	お+動詞	_
	1例	よ」、「のね」を含め)	連用形	
		8 例	2 例	
		終助詞「わ(ね)」		
		4 例		
その他	-	_	_	敬語表現
				104 例

表1 ミミのセリフに見る役割語要素

ミミは主に〈お嬢様ことば〉及び〈女ことば〉を使用するので、その人物像は「お嬢様」であると言えるが、具体的に「お嬢様」のどういう性格を強調するのかは役割語要素への分析を通じてまとめてみた。

まず使用数が一番多い女性の傾向的表現から考察する。益岡・田窪(1992)では敬語表現を多く用いると女性的な表現に捉えられると述べている。『カフカ』においては、主人公の一人であるナカタさんは男性であるが、ほぼ全セリフを丁寧体でしゃべり、その他の敬語表現も多く使っている。ナカタさんの性格からは非常に礼儀正しい印象が与えられる。そ

のために、少なくとも本作品においては、敬語の多用は女性性よりも、「礼儀正しさ」という特徴を強調する手段であると考えられる。

次に一人称詞「わたくし」と助詞「かしら」については、〈お嬢様ことば〉に属するとはいえ、フィクションにおいては男性キャラクターの使用も一部見られる。この 2 語は女性キャラクターが使用する場合は、女性性よりも、キャラクターの社会的階層を強調している。また、〈女ことば〉に属する助詞「の」と終助詞「わ」は主に断定の度合いを弱くし、自己主張を避けるという女性の柔らかさを表す。

最後に「お+動詞連用形」の使用が2例見られる。現代では、「お+動詞連用形」は「おばあさん」を想起させる(三好2011)。発話者に高圧的なイメージを与える。

以上の各役割語要素の出現頻度を合わせてみると、ミミの「お嬢様」像は次のように捉えられる。全体的には一定の社会的身分を持ち、教養があり、礼儀正しく振る舞うというイメージが主に強調される。女性の柔らかい印象も幾分入っているが、特定の話し相手に対し高圧的な発言をする。

3.2.2 トロのセリフに見る役割語要素とトロの人物像

トロについて、原文では「太った黒猫」とあり、種類は不明である。自分のことを「普通の市井の猫」と称し、「近所の鮨屋で飼われて」いるとセリフを通じて説明している。トロは〈老人語〉及び〈男ことば〉を使用する。セリフに見る役割語要素を表2にまとめた。

セリフ総数	〈老人語〉	〈男ことば〉	「年配の男	男性の傾向的表
121 例			性」のことば	現
			づかい	
人称代名詞	わし	きみ	_	_
	8 例	例 13		
文末表現	動詞	断定の助動詞「だ」	終助詞「かね」	終助詞「な」
	「おる」	32 例	2 例	5 例
	5 例			
	打ち消し	動詞の命令形 2例		
	の助動詞	終助詞「ぞ」 3例		
	「ん」	終助詞「ぜ」 2例		
	9 例	終助詞「い」 2例		

表2 トロのセリフに見る役割語要素

トロは主に〈老人語〉と〈男ことば〉を用いる。助動詞「だ」が多く使用されることから、

トロの発言に断定の意味合いが濃く読み取れる。また、二人称詞「きみ」は地位や権力を持った男性像と結び付き、終助詞の「ぞ」は発話者に威厳や強い指揮権を印象付けるので、〈老人語〉との併用により、主に「威厳のある年配の男性」というイメージを与えられる。さらに、複合終助詞「~かね」も2例見られる。「~かね」は年配の男性が目下の人間に対し、ある程度丁寧に言うというような文体的意味が与えられる(橋本1993)。男性の傾向的表現に分類する終助詞「な」は、対話の場面で用いられると、男性性と結び付けられて「尊大」のニュアンスを生み出す(加藤2010)。

以上の各役割語要素の出現頻度を合わせてみると、トロの人物像は次のように捉えられる。「普通の市井の猫」と自称しながらも、内面は年配の男性像であり、特に威厳のある側面が強調される。

3.2.3 訳文に見る役割語要素

役割語の表現手段は言語ごとに異なっており、中国語の役割語には、日本語の役割語のような明確な指標(人称代名詞及び文末表現)及び体系(〈女ことば〉、〈男ことば〉、〈老人語〉等の分類)は提示されていない。日本語からの翻訳を考察するものなので、訳文における人称代名詞、語気詞(日本語の終助詞に相当する)に注目してみる。また、「四字格」という中国語に見る独特の役割語的要素にも触れておきたい。用例の引用時には、林少華訳を林訳と、頼明珠訳を頼訳と略する。

3.2.3.1 人称代名詞

原文では、ミミは一人称として「わたくし」を使用し、トロは「わし」を使用する。いずれも役割語であるが、訳文では、林訳と頼訳ともに、一人称は基本的に「我」と訳している。

6) 「ねえナカタさん」とミミは言った。「<u>わたくし</u>は、独立独歩と申しますか、かなり個人的な性格の猫ですので、あまりむやみに余計な口出しはしたくありません。

K1-160-13 【 ₹ ₹ 15】

林訳:"跟你说中田君,"咪咪道,"<u>我</u>么,可是一只相当富有个人色彩的猫-或许可以说是特立独行吧-不愿意多嘴多舌瞎管闲事。

賴訳:「嘿,中田先生,」咪咪說。「<u>我</u>是特立獨行的,個性相當獨特的貓,所以我也不想 多說廢話。

7) わしはわし、ほかの誰でもない。

K2-482-3 【トロ 12】

林訳:<u>我</u>就是<u>我</u>,不是别的什么人。

頼訳:我是我,不是其他任何人。

中国語の一人称「我」は特定の人物像と結び付かない自称詞である。この点に関しては、 林訳も頼訳も同じ訳し方を用いた。但し、林訳において、一箇所のみに「在下」という一 人称を用いた。

8) わたくしこそ、ナカタさん

K1-160-6【 ₹ ₹ 11】

林訳: <u>在下</u>才是,中田君 **頼訳**: <u>我</u>也是,中田先生。

「在下」は謙遜的表現として用いられる一人称であり、明と清の時代に盛んに使われていた。謙遜語とは言え、話者に自信に満ち、果敢なイメージを与える(陳 2009)。現代ではフィクションにしか見られなくなるが、時代劇に登場する武士らしき人物を思い浮かばせる。相手に対しへりくだった印象は与えるが、フィクションに登場する「お嬢様」が用いるような一人称には思えない。

また、トロの2人称代名詞「きみ」は全て「你」と訳されている。中国語の2人称詞「你」 は特定の人物像と結び付かない。

9) きみはたぶん困っているんだろう。

K2-483-14【トロ 30】

林訳:你怕够为难的吧?

頼訳:我想你大概正在煩惱吧。

3.2.3.2 語気詞

中国語は日本語のように文末で動詞や助動詞を活用させることはないため、文末表現といえば、日本語の終助詞に相当する「語気詞」があげられるくらいである。

ミミのセリフに終助詞が使用される例文は24例があるが、林訳では語気詞が使用されるのは8例であり、頼訳では22例に語気詞が用いられる。

10) ええと、猫を探しておられるんですわね

K1-161-11【ミミ 21】

林訳:对了,您是找猫<u>吧</u> **賴訳**:嗯,你在找貓對嗎?

11) 悪い習慣と同じですわね

K1-164-12 【 ₹ ₹ 42】

林訳: 和坏习惯一个样。 (林訳では語気詞は使用していない)

頼訳:就像壞習慣一樣噢。

トロのセリフには終助詞が使用されるのは 33 例であり、林訳では 14 例に語気詞が用いられ、頼訳では 29 例に語気詞が用いられる。

12) そうだね、ホシノちゃん

K2-445-6 【トロ 1】

林訳:是<u>啊</u>,星野小子。 賴訳:是啊,星野老弟。

13) それだけのことだよ

K2-481-9 【トロ7】

林訳:事情简单得很。 (林訳では語気詞は使用していない)

賴訳:這樣而已呀。

林訳では、ミミもトロも語気詞の使用は原文より控えられている。一方で頼訳ではミミとトロも原文に近い頻度で語気詞を使用している。これは、林少華と頼明珠の翻訳スタイルによる違いと考えられる(2.2 節参照)。中国語では、ジェンダーと直接結びつくほど語気詞を使い分けていないが、全体的に語気詞の多用は女性の傾向的表現であると指摘されている(河崎 2011)。この点から見れば、林訳の内部において、発話キャラクターによって異なる対応をとる傾向が見られない。頼訳に関しても同じことが言えるのではないかと考える。

3.2.3.3 四字格

「四字格」とは漢字四文字からなる形式のことであり、「四字詞」「四字語」「四字句」「四字組合」などとも言われている。中国語の中で、次の三つの条件を満すものは「四字格」と認定できる。①四つの音節で構成する単語または連語②概念上、音節上ともに独立性を持つ③句の一成分としても機能するが、単独で句を成すことも可能(柯 2014)。ミミのセリフに関しては、林訳は計 31 例に四字格の使用が見られ、頼訳は計 10 例に四字格の使用が見られた。

14) それでそこに草が<u>ぼうぼう茂りまして</u>、普段は人も入ってきませんし、このへんの野良猫たちのかっこうの活動場所になっています。 K1-164-8【ミミ 39】

林訳:这么着,草在那里长得<u>遮天盖地</u>,加之平时人又不去,就成了这一带野猫们的活动 场所。

賴訳: 所以那裡就雜草叢生, 草長得好高, 平常人都進不去, 變成這一帶野貓最好的活

動場所。

15) さっきからあちらで拝見しておりまして、ちょっと見かねたものですから、<u>差し</u> 出がましいとは思いつつ、ついつい口を出してしまったような次第ですのよ

K1-161-3 【 ₹ ₹ 20】

林訳:我在那边一直看着,有点儿看不下去了,所以<u>情不自禁</u>地插上一嘴,尽管自知<u>不</u> 守本分。

賴訳:從剛才開始我就在那裡看著你們,因為實在有一點看不過去了,所以雖然覺得自己太<u>多管閒事</u>,還是終於忍不住要開口。

(林訳は四字格を二個使っているが、頼訳は一個しか使っていない)

16)これがまあ大変な話なんですが、
この話を始めるとずいぶん長くなりますのでやめましょうね。K1-168-5【ミミ 78】

林訳: 那东西可不是开玩笑, 不过说起来要说很久, 就免了吧。

(林訳では四字格は使用していない)

頼訳: 這件事情非常嚴重, 不過這說來話長, 就不提了。

トロのセリフに関しては、林訳は計 22 例に四字格の使用が見られ、頼訳は計 6 例に四字格の使用が見られた。

17) わかりきったことだよ K2-485-11 【トロ 55】

林訳:说得一清二楚。

頼訳:明明白白的事情噢。

18) 猫はなんでも知っている K2-482-16【トロ 20】

林訳:猫无所不知

19) 居眠りして見逃すとたいへんだからな K2-489-5 【トロ 121】

林訳: 晚上打盹让它跑掉就麻烦了。 (林訳では四字格は使用していない)

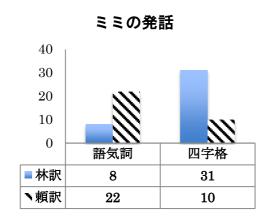
頼訳:要是打瞌睡讓牠逃掉了可就大事不妙啊。

中国語の言語社会においては、発話に成語を多用し、または古典や詩を引用するキャラ

クターは「知識人」キャラとして認識されている(河崎 2013)。成語には四字格の形式をとるものが多いので、四字格の使用はキャラクターに教養があるというイメージを与える。 林訳と頼訳には四字格の使用がともに見られるが、林訳の方が多く使用している。

3.2.4 林訳と頼訳の特徴

以上は3つの面から林訳と頼訳を対比してみた。人称代名詞の面では、両訳にはあまり 差が見られない。語気詞と四字格の面では、両訳の使用数には差が見られる。訳文の用例 数を図1に示してみた。



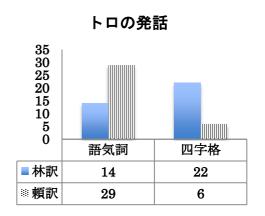


図1 林訳と頼訳の特徴

林訳と頼訳の特徴によって表されるミミとトロの人物像は次のようにまとめられる。

ミミは、林訳においては、四字格の多用により、教養のある知識人のイメージを与える。 語気詞の使用が比較的控えられるため、女性らしさはあまり伝わらない。頼訳においては、 語気詞の多用により、女性らしさが強調されるように感じる。一方で、四字格の使用が控 えられるので、礼儀正しさや教養があるといった側面が読み取れない。

トロは、林訳においては、語気詞の使用が控えられるため、男性的に捉えられる。また、四字格の使用は知識人のイメージを与える。頼訳においては、語気詞の多用なため、男性性に欠けるように思われる。四字格の使用は控えられるので、教養のあるイメージは強調されていない。

原文にあるミミの人物像は3.2.1で次のようにまとめている。「全体的には一定の社会的身分を持ち、教養があり、礼儀正しく振る舞うというイメージが主に強調される。女性の柔らかい印象も幾分入っているが、特定の話し相手に対し高圧的な発言をする」。そのため、林訳におけるミミのイメージは全体的に頼訳より原文に近いように読み取るのではないかと考える。

原文にあるトロの人物像は3.2.2で次のようにまとめている。「「普通の市井の猫」と自称しながらも、内面は年配の男性像であり、特に威厳のある側面が強調される」。そのため、林訳に見るトロは知識人のイメージを持つため、「市井の猫」という設定から離れている。頼訳に見るトロのイメージは語気詞の多用により、威厳のあるという男性性が伝わらないと考える。

4 まとめ

本研究は村上春樹の小説『海辺のカフカ』にみる〈女ことば〉、〈男ことば〉の訳し方について考察した。大陸版と台湾版の二つの訳文の比較を通じて、異なる訳し方によって人物像の再現に異なる効果がもたらされることを明らかにした。訳文に呈した役割語的要素は訳者ごと異なる傾向が見られるが、キャラクターごとに異なる傾向がさほど顕著ではない。もっとも、こういう傾向性には訳者の意志が入っているのかは別途調査する必要がある。

結果的にどの訳がより原文の人物像に近いと読み取っても、訳者が役割語を意識して訳出したという結論には至らない。たまたま訳者の翻訳スタイルと人物像のある側面と一致している可能性が高いと考えられる。たとえば、四字格及び畳語の多用が林少華の翻訳スタイルとして認められており、林少華の翻訳作品に共通する特徴であることは先行研究で明らかにされている。今回の調査においても、ミミもトロも林訳においては一律に四字格を多用している。これは訳者がキャラクターの人物像と言葉づかいとの結び付きに気づいていないことをある程度証明するのではないかと考える。

今後はさらに調査範囲を広げ、村上作品に見る役割語の翻訳にどういう特徴があるのか 明らかにしたい。

【引用資料】

村上春樹(2005)『海辺のカフカ(上)』新潮社

村上春樹(2005)『海辺のカフカ(下)』新潮社

村上春樹(著) 林少華(訳)(2007)『海边的卡夫卡』译文出版社

村上春樹著 頼明珠譯 (2003) 『海邊的卡夫卡(上)』 時報出版

村上春樹著 頼明珠譯 (2003)『海邊的卡夫卡(下)』時報出版

【日本語参考文献】

加藤 淳 (2010)「「です・ます」+終助詞「よ/ね/な/か」の機能-場面条件と言語形式にお ける「聞き手の存在」-」『名古屋大学国語国文学』103:178-194

- 河崎みゆき (2011) 「中国の若い女性のことばを探る-中国男女口癖調査を中心に」『日本語とジェンダー』11:53-57
- 金水 敏 (2003) 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店
- 金水 敏(編)(2014)『〈役割語〉小辞典』 研究社
- 金水 敏(2017)「言語--日本語から見たマンガ・アニメ」山田奨治(編)『『マンガ・アニ メで論文・レポートを書く--「好き」を学問にする方法--』ミネルヴァ書房
- 益岡隆志・田窪行則(1992)『基礎日本語文法-改訂版-』くろしお出版
- 三好敏子 (2011)「「おばあさん」の役割語」『役割語研究の展開』257-258 くろしお出版
- 橋本 修 (1993)「疑問形+終助詞「ね」のあらわす意味の類型」『小松英雄博士退官記念 日本語学論集』700-712 三省堂
- 劉 世彤 (2014)「日本漫画の役割語の中国語訳をめぐって-『名探偵コナン』を例として-」 『梅花日文論叢』22:51-69

【中国語参考文献】

- 陳 翠珠(2009)博士論文「汉语人称代词考论」 華中師範大学へ提出
- 河崎深雪(2013)博士論文「汉语"角色语言"研究」 華中科技大学へ提出
- 唐 星莹 (2014) 修士論文「日本語第一人称の中国語訳について一訳者の目的の視点から」 湘潭大学へ提出
- 潘 闻·盛 文渊(2016) 「林少华与赖明珠的翻译风格-以《海边的卡夫卡》为例」 『文学语言学研究』2016 年第 28 期 pp14-15
- 柯 子刊 (2014) 博士論文「中国传统翻译理论观照下的林少华文学翻译研究」華東師範大 学へ提出

トロのセリフの抜粋①

		1 44/15 / 27	文末表		+L ,l, ±±≥n	人称	32 b 33	m 4+4+	427 ⊓□ 74- ≃⊓	人称	またい	m.+·
	原文	人称代名詞	動詞と助動 詞の活用	終助詞	林少華訳	代名詞	語気詞	四字格	賴明珠訳	代名詞	语气词	四字村
1	「そうだね、ホシノちゃん」		だ(ね)		"是啊,星野小子。" p471		呼可		「是啊,星野老弟。」		啊	
2	「参ることはないだろう、ホシノちゃん」				"没什么可乱套的嘛,星野君。"		哪能		「有什麼好傷腦筋的,星野老弟。」			
3	「だって一人で退屈していたんじゃないのか?				"你一个人挺无聊的吧?	你	吧		「你不是一個人正無聊嗎?	你	吗	
4	石と一日話をしているくらいだもの」				一整天和石头说话。"				居然跟石頭講了一整天話。			
5	「人間の言葉なんてしゃべっておらんぜ」		おる、ん	ぜ	"我可没讲什么人话!"	我			「我可沒有說人話噢。」	我	噢	
6	「わしらは世界の境めに立って共通の言葉をしゃべっておる。	わし (ら)	おる		"我们是站在世界的分界线上讲共通的语言,	我(们)			「我們是站在世界的邊境講著共通的語言。	我(們)		
7	それだけのことだよ」		だ(よ)		事情简单得很。"				這樣而已呀。		呀	
8	「わからんならわからんでいいよ。		ん		"要糊涂你就糊涂着吧,		吧		「不懂就不懂沒關係。			
9	説明すると話が長くなる」				解释起来话长。"				要說明的話說來話長。」			說來記
10	「カーネル・サンダーズ?」				"卡内尔·山德士?"				「桑德斯上校?」			
1	「そんな奴は知らんぜ。		ん	ぜ	"那家伙谁晓得!				「這傢伙我不認識。	我		
12	わしはわし、ほかの誰でもない。	わし			我就是我,不是别的什么人。	我			我是我,不是其他任何人。	我		
3	普通の市井の猫だよ」		だ(よ)		普通的市井猫。"				只是普通的市井之貓。」			
14	「名前くらいある」				"名字总是有的。"				「名字當然有。」			
15	[}□]				"土罗。"				「Toro。」			
16	「そうだ」		だ		"正是。"				「是啊。」		啊	
.7	「実を言うと、近所の鮨屋で飼われているんだ。		だ		"说实话,是附近一家寿司店饲养的。				「老實說,我是附近壽司店飼養的。	我		
8	犬も飼っていて、そっちの名前はテッカっていう」				也养狗,狗名叫铁火②。"(脚注②一种用生金枪鱼做的菜肴。)				也有養狗,名字叫做Tekka。」(譯注:Tekka,鐵火, 指鐵火捲,鮪魚肉的壽司。)			
9	「きみはなかなか有名なんだよ。ホシノちゃん」	きみ			"你大名鼎鼎,星夜君嘛!"	你	嘛	大名鼎鼎	「你相當有名啊。星野老弟。」	你	啊	
0	「猫はなんでも知っている。				"猫无所不知,			无所不知	「貓什麼都知道。			
21	ナカタさんが昨日のうちに死んじまったことも、そこに大事な 石があることも。				中田君昨天死掉也好,那里有块不寻常的石头也好。				中田先生昨天死掉的事,那邊有重要石頭的事,都知道。			
2	「このへんで起こったことで、わしの知らないことはない。	わし			大凡这一带发生的事,没有我不知道的,	我			「這一帶所發生的事情,沒有我不知道的。	我		
3	「けっこう長く生きているから」				毕竟活得年头多。"				「因為活了相當久了。」			
4	いや、わしはここでいい。	わし			"不了,我在这里挺好,	我			「不,我在這裡就好。	我		
	中に入ると落ちつかないっていうか、天気もいいし、ここで話 をしようじゃないか」				进去反倒心神不定。天气又好,在这里说话蛮不错的 嘛。"		n/inc		到裡面去反而不自在,天氣又好,就在這裡談好了。」			
26	「はばかりながら食い物み不自由はしてないっていうか、むし ろ減量に苦労しているくらいだ。		だ		"不是我夸口,食物我应有尽有,莫如说在为如何减量而苦恼。	我		应有尽有	「不是我說大話,吃的東西我倒不缺,反而要為減肥傷 腦筋呢。	我	呢	
27	なにしろ鮨屋に飼われているから、コレステロールとかがたまるんだ。		だ		毕竟被养在寿司店,身上胆固醇越积越多。				畢竟是壽司店養的,所以膽固醇還太高呢。		呢	
8	太ると、高いところの上り下りがつらくなる」				胖了,就很难在高处上蹿下跳。"			上窜下跳	過胖的話,高的地方要爬上爬下也不輕便。」			
9	「ああ」				"啊,"				「噢。」			
30	「きみはたぶん困っているんだろう。	きみ			"你怕够为难的吧?	你	吧		「我想你大概正在煩惱吧。	我、你	吧	
1	一人であとに残されて、そんなややこしい石まで抱え込んで」				一个人剩下来,又要面对那么一块麻烦的石头。"				一個人被留下來,還抱著一個那麼麻煩的石頭。」.			
32	「で、困ってるなら少し助けてやろうかなとか思ってさ」				"若是为难,我可以助一臂之力。"	我		一臂之力	「那麼, 我想如果你正在煩惱的話, 我可以幫你一點 忙。」	我、你		
33	「問題は石だ」		だ		"问题在于石头。"				「問題在石頭。」			
34	「石をもとに戻せば、きみの役目は終わる。	きみ			"只要归还石头,你的任务就算完成,	你			「如果能把石頭復原的話,你的任務就完成了。	你		
5	どこでも好きなところに帰ることができる。				想回哪里都可以。				你可以愛去哪裡就回哪裡去。	你		
6	そういうことじゃないかい」			カルト	不是这样么?"		么		是不是這樣啊?」		邛可	
37	 「だからどうすればいいか、わしが教えてやろうじゃないか」	わし			"所以我来告诉你如何处理。"	我			「所以要怎麼做才好,我來教你怎麼樣?」	我、你		+
38	「もちろん知っておるよ」		おる		"当然知道。"				「當然知道。」	1		+
39	「さっきも言ったじゃないか、猫はなんでも知っているんだ。		だ		"刚才我不是说了么,猫无所不知,	我		无所不知	「我剛才不是說過嗎?貓什麼都知道。	我		+
40	大とは違うよ」		-		和狗不同。"			1	跟狗不一樣噢。」		噢	+
41	「あいつを殺すんだよ」		だ(よ)		"把那家伙除掉!"				「把那傢伙殺掉。」		^	+
42	「そう。		, , , , ,		"是的,				對。			+

トロのセリフの抜粋②

トロのセ	リフの抜粋②											
43	ホシノちゃんが、あいつを殺すんだ」		だ		由你星野君把那家伙杀死。"	你			星野老弟,你要把那傢伙殺掉。」	你		
44	「実際に見ればわかる。				"亲眼一看便知,				「實際看到就知道了。			
45	これがあいつだって」				知道这就是那家伙。"				原來這就是所謂的那傢伙。」			
46	「しかし実際に見なければなんもわからない。				"但不亲眼看就莫名其妙。			莫名其妙	「可是不實際看到的話什麼都不知道。			
47	もともとしっかりとしたかたちのないものだからね。				原本就不是实实在在有形体的东西,			实实在在	因為本來就是沒有確實形狀的東西。			
48	そのときによって違うんだ」		だ		一个时候一个样。"				因為不同的時候會不一樣。」			
49	「人じゃない。				"不是人。				「不是人。			
50	それだけはたしかだ」		だ		只有这点可以保证。"				只有這點是確定的。」			
51	「そんなことわしは知らん」	わし	h		"那个我不晓得。"	我			「這個我不知道。」	我		
52	「さっきも言ったじゃないか。				"刚才不是说了么,		么		「剛才不是說過了嗎?		吗	
53	一目見ればわかる。				亲眼一看便知,				看一眼就知道。			
54	見なきゃわからん。		h		不看不知道--				沒看到就不知道。			
55	わかりきったことだよ」		だ(よ)		说得一清二楚。"			一清二楚	明明白白的事情噢。」		噢	明明白白
56	「きみはそんなことを知らなくていいんだ」	きみ	だ		"那个你不知道也不碍事。	你			「你不必知道這個。」	你		
57	「説明するのはとてもむずかしいし、というかむしろ、きみは 知らない方がよろしい。	きみ			_				「這非常難說明,或者說,你不知道比較好。	你		
58	とにかくそいつは今はじっとしている。				反正那家伙现在老老实实的,			老老实实	總之那傢伙現在正靜靜的不動。	+	+	+
	暗いところで息をひそめてあたりの様子をうかがっている。				正在黑暗处大气也不敢出地窥视着四周的动静。				在黑暗的地方正屏著氣息觀察周圍的情況。	+	+	
60	でもいつまでもじっとしていられない。				但不可能永远老实待着,				不過不會一直不動。	+	+	+
61	早晩出てくる。				迟早要出动。				遲早要出來。	+	+	
62	たぶん今日あたりってとこじゃないかな。				估计今天就差不多了。				可能大約就在今天吧。	+	吧	
	そしてそいつは必ずきみの前をとおりかかる。	きみ			那家伙肯定从你面前通过。	你			而且那像伙一定會經過你面前。	你	+	
64	千載一遇の好機だ」		だ		千载一遇的良机!"	114.			這是千載難逢的好機會。」		+	千載難逢
65	「千年に一度しかないチャンスってことだよ」		だ(よ)		"一千年才有一次的机会。"			1 4%	「一千年才只有一次的好機會呀。」	+	呀	T TAXILLE
66	「きみはじっと待っていて、そいつを殺せばいいんだ。	きみ	だ		"你在这里以逸待劳,等着除掉那家伙即可。	你		以逸待劳	「你就靜靜等著,把那傢伙殺掉就行了。	你	+	
	そうすれば話は終わる。				容易得很。	14.		3.2133	這樣事情就結束了。		+	
68	そのあとできみはどこでも好きなところに行ける」	きみ			之后随便你去哪里。"	你			然後你就可以到任何你喜歡的地方去了。」	你	+	
69	「法律のことはよく知らん」		h		"法律我不懂。"	我			「法律的事情我不知道。」	我	+	
70	「なにしろわしは猫だからな。	わし		な	"我终究是猫。	我			「因為我是貓啊。	我	阿可	
71	でもそいつは人間じゃないんだから、法律にはおそらく関係ないんじゃないのかね。			かね	不过那家伙不是人,跟法律应该没有关系。				不過那傢伙不是人,所以我想跟法律應該沒有關係吧。	我	吧	
72	何はともあれ、そいつを殺すことが必要なんだ。		だ		说千道万,总之要干掉那家伙。			说千道万	不管怎麼樣,有必要殺掉那傢伙。			
73	それくらいのことは市井の猫にだってわかる」				这点市井猫都明白。"				這種事情連市井的貓都知道。」			
74	「なんだってかまわん。		h		"怎么干都行。				「怎麼做都沒關係。			
75	金槌でたたいてもいい。				那锤子打、				用鐵鎚打也好。			
76	包丁で刺してもいい。				用菜刀捅、				用菜刀切也好。			
77	首を絞めてもいい。				勒脖子、				用勒死也好。			
78	火で焼いてもいい。				用火烧、				用火燒也好。			
79	かみ殺してもいい。				张嘴咬——				用咬死也好。			
80	きみの好きな方法をつかってかまわん。	きみ	h		只管用你中意的办法,	你			你可以用你喜歡的方法沒關係。	你		
81	とにかく息の根を止めろ。		止めろ		总之弄到断气就是。				總之要讓那個斷氣。			
82	圧倒的な偏見をもって強固に抹殺するんだ。		だ		以横扫一切的偏见斩草除根。			横扫一切, 斩草除根	以壓倒性的偏見堅決地加以抹殺。			
83	だいたいきみは自衛隊に入っていたんだろう。	きみ			你不是参加过自卫队么?	你	么		對了,你不是進過自衛隊嗎?	你	吗	
84	国民の税金をつかって鉄砲の撃ち方も教わっただろう。				不是拿国民的纳税钱学过开枪么?		么		用國民的稅金學過開槍吧?		吧	
85	銃剣の研ぎ方だって教わっただろう。				刺刀的磨法不也学了么?		么		也學過刺刀的磨法吧?		吧	
86	兵隊さんじゃないか。				你不是士兵么?	你	么		你等於是阿兵哥啊。	你	邛町	
87	殺し方くらい自分の頭で考えろ」		考えろ		如何干掉自己动脑筋好了!"				殺法不會用自己的腦袋想啊。」		邛町	
88	「そいつは〈入り口〉から中に入りこもうとするはずだ」		だ		"那家伙想从'入口'进到里面去。"				「那傢伙應該會想從『入口』進到裡面去。」			
		-										

トロのセリフの抜粋③

89	「しかし中に入れちゃいけないぞ。			ぞ	"但是不能进入里面,				「可是你不能讓那個進去裡面。			
90	何があっても絶対に入れちゃだめだ。		だ		无论如何绝对不能放入。				無論如何絕對不可以放牠進去。			
91	そいつが〈入り口〉の中に入る前に確実にしとめるんだ。		だ		要在那家伙进入'入口'前把它干掉,				那傢伙要進入『入口』之前,你就要確實把牠幹掉。 你			
92	それが何よりも大事なことなんだ。		だ		这比什么都要紧。				這是比什麼都重要的大事。			
93	わかったかね?			かね	明白?				知道了嗎?	Д	马	
94	今を逃すとあとがない」				错过这次就没有下次了。"				現在放牠逃走的話以後就沒有機會了。」			
95	「そのとおり」				"正确。"				「沒錯。」			
96	「千年に一度ってのはもちろん、言葉のあやみたいなもんだけ			な	"当然千年一次这说法在措辞上"			千年一次	「當然所謂千年一度,只是類似語言的修辭而已。」			千年一度
97	「移動しているあいだはたぶんそんなに危険じゃないはずだ」		だ		"移动时间里估计没有多大危险。"				「正在移動中大概沒有那麼危險吧。」	П	吧	
98	「移動を終えたときにそいつははじめて危険になる。				"移动终止时才有危险,				「移動完畢時那傢伙才開始變危險。			
99	すごく危険になる。				危险得不得了。				會變得非常危險。			
100	だから移動しているときを逃しちゃいけない。				所以要趁它移动时干掉,				所以牠在移動的時候不可以讓牠逃掉。			
101	そのときにとどめをさすんだ」		だ		给它致命一击。"			致命一击	那時候就要給牠致命的一擊。」			
102	「じゃあまたな、ホシノちゃん。			な	"那么再见,星野君。				「那麼再見囉,星野老弟。	Д	喽	
103	そいつを間違いなく殺すんだぞ。			ぞ	一定要稳准狠地把它干掉,				你要確實把那傢伙殺掉噢。	ti	噢	
104	そうしないと、ナカタさんは死んでも死に切れないだからな。			な	否则中田君死不瞑目。			死不瞑目	要不然,中田先生死都不會瞑目的。			
105	きみはナカタさんのことが好きだったんだろう?」	きみ			你喜欢中田君,是吧?"	你	吧		你不是很喜歡中田先生嗎?」 你	Д	玛	
106	「だったらそいつを殺すんだ。		だ		"所以要干掉那家伙,				「那你就要殺掉那傢伙。 你			
107	圧倒的な偏見をもって断固抹殺するんだ。		だ		以横扫一切的偏见斩草除根。			横扫一切、 斩草除根	以壓倒性的偏見堅決地加以抹殺。			
108	それがナカタさんの求めていたことだった。				那是中田君所希望的。				這是中田先生所希望的事情。			
109	ナカタさんのために、きみはそれをやるんだ。	きみ	だ		而你是能为中田君做到的。	你			為了中田先生,你要做這件事。			
110	資格をひきつぐんだ。		だ		你继承了资格。	你			你已經承接資格了。			
111	きみはこれまでずっと人生の責任を回避していい加減に生きて きた。	きみ			这以前你一直在回避人生责任,活得稀里糊涂。	你		稀里糊涂	你過去一直迴避人生的責任馬馬虎虎隨隨便便地活到現 在。			馬馬虎虎, 隨隨便便
112	今がその借りを返すときだ。		だ		现在正是还账的时机。				現在是你還債的時候了。			
113	どじるんじゃないぞ。			ぞ	不要畏畏缩缩。			畏畏缩缩	別搞砸了噢。	h	噢	
114	わしもかげながら応援しておるからね」	わし	おる		我也在后面声援你!"	我			我也會暗中幫你加油的。」 我	你		
115	「なんだい」			だい	"什么?"				「什麼事?」			
116	「あるいはそうかもしれんね」		<i>k</i>		"有那个可能。"				「也許是。」			
117	「おっと、ホシノちゃん、ひとつ言い忘れておった。		おる		"对了,星野君,有一点忘说了——				「噢,星野老弟,我忘了說一件事。 我			
118	そいつは夜にしか動かない。				那家伙只在夜间行动,				那傢伙只有夜間才會動。			
119	おそらくは夜の深い時刻に行動を起こす。				大概夜深时分。			夜深时分	大概是夜深的時刻才開始行動。			
120	だから昼間のうちによく眠っておくんだね。		だ(ね)		所以你要白天把觉睡足,	你			所以趁著白天你就先好好的睡飽起來。 你			
121	居眠りして見逃すとたいへんだからな」			な	晚上打盹让它跑掉就麻烦了。"				要是打瞌睡讓牠逃掉了可就大事不妙啊。」	П	啊	大事不妙
		わし(ら) 8	おる 5	ぜ 2		我(们) 13	語気詞 1	4 22 4 22	我 18		语气词 29	四字格
		_	ん 9	ぞ 3	3	你 17			-	28		
			命令形 2		_							
	合計121文		断定の 「だ」 25 だ(ね) 2 だ(よ) 5	かい だい 5 かね 2	2							
				な 5								

	原文	人称代名詞	文末表現	敬語表現 (φのついてな い例は全て当 てはまる)		人称 代名詞	语气词	敬語表現	四字格 類明5	朱訳	人称代名词语	气词 敬语表现	型 四字格
1	「失礼ですが、ナカタさんとおっしゃいましたかしら」		かしら		"恕我冒昧,您可是中田君?"	我		您	「對不起,你是中田先生嗎?	J	Į.	馬	
2	「こんにちは」			Φ	"您好!"			您	「你好。」				
3	「降らないとよろしいんですがね」				"但愿不下。"				「下不來最好了。」				
4	「私のことはミミと呼んでください。	私			"请叫我咪咪好了,	我		请	「你可以叫我咪咪。		我		
5	『ラ・ボエーム』のミミです。				《艺术家的生涯》里的咪咪。				《波希米亞人》 的咪咪。				
6	歌にも歌われています。				歌中也唱:				歌裡面也有唱				
7	〈我が名はミミ〉です」				'我的名字叫咪咪'。"				〈我的名字叫咪咪〉。」				
8	「そういうプッチーニのオペラがあるんです。				"有这么一部普契尼的歌剧,				這是普契尼的歌劇呀。		ī	牙	
9	なにしろ飼い主がオペラ好きなものですから」				因为养主喜欢歌剧。"				因為我們家主人喜歡歌劇嘛。		ij	床	
10	「歌って差し上げられるといいんですが、あいにく不調法なもので」				"若能唱给您听听就好了,不巧嗓子不行。"			您	「但願能為你唱一曲,可惜我	试唱得不好。 」	我		
11	「わたくしこそ、ナカタさん」	わたくし		Φ	"在下才是,中田君。"	在下			「我也是,中田先生。」		我		
12	「ええ、あそこに見える二階建てのおうちに飼われております。				"嗯,就被养在那里能看见的二层楼。				「是的,那邊看得見的兩層相	樓房家裡養的。			
13	タナベといううちです。								那家姓田邊,				
14	ほら、門の中にクリーム色のBMW530が停まっているでしょう」				喏,大门里挺着一辆奶油色宝马530吧?"		吧		你看門裡面不是停有奶油色B	MW530嗎? 」	-	馬	
15	「ねえナカタさん」とミミは言った。「わたくしは、独立独歩と申しますか、 かなり個人的な性格の猫ですので、あまりむやみに余計な口出しはしたくあり ません。	わたくし			"跟你说中田君,"咪咪道,"我么,可是一只相当富有个 人色彩的猫—或许可以说是特立独行吧—不愿意多嘴多舌瞎 管闲事。	我			特立独行, 多嘴多舌 「嘿,中田先生,」咪咪說。 相當獨特的貓,所以我也不起		我*2		特立獨
16	しかしこの子―あの、カワムラさんて呼んでおられましたっけーーは、実を申しまして、もともと頭があまりよくないんです。				可是这孩子一您称之为川村君来着? 一恕我直言,脑袋本来 就不大好使。	我		您	可是這孩子一嗯,你叫他川木 就不太好。	 對吧-老實說,腦袋本來	1	E.	
17	かわいそうに、まだ小さい頃に近所の子どもの乗った自転車にぶつけられましてね、はねとばされてコンクリートの角で思い切り頭を打ったんです。				说来怪可怜的,还小的时候给这附近小孩儿骑的自行车冲了 一下,跳开来给混凝土墙角撞了脑袋,				真可憐,小時候被附近的小孩 頭撞到水泥的角角。撞得很嚴				
18	それ以来筋道立てて口をきくことができません。				那以来说话就语无伦次了。				语无伦次 從此以後講話就沒辦法順暢了	•			
19	ですからそのように辛抱強くお話しになっても、あまりナカタさんのお役に立つとは思えませんの。		Ø		所以,就算您说得再耐心我想也无济于事。	我		您	无济于事 所以我想你那樣有耐心地跟他		我		
20	さっきからあちらで拝見しておりまして、ちょっと見かねたものですから、差し出がましいとは思いつつ、ついつい口を出してしまったような次第ですのよ」		のよ		我在那边一直看着,有点儿看不下去了,所以情不自禁地插上一嘴,尽管自知不守本分。"	我			情不自禁, 不守本分 (作要開口。」		我		多管
21	「ええと、猫を探しておられるんですわね」		わね		"对了,您是找猫吧,"		吧	您	「嗯,你在找貓對嗎?」		Į.	馬	
22	「立ち聞きをしていたんじゃなくて、ここで先ほどからうとうととお昼寝をしておりましたら、たまたま耳にそちらのお話が入ってしまっただけなんですが、確かゴマちゃんっておっしゃいましたっけね」				"倒不是我站着偷听,刚才我在这儿迷迷糊糊睡午觉,偶尔 有说话声从那边传来,大概是叫胡麻君吧?"		吧		「不是我偷聽,我在這裡從阿 午覺,碰巧你們的談話傳到到 像是叫做胡麻,對嗎?」		我*2	王 _呵	音音
23	「それで、このカワムラさんが、そのゴマを見かけたということなのね?」		のね	Φ	"那么说,这川村君是看见胡麻的啰?"		啰		「那麼這位川村先生說看過过	這位胡麻,是嗎?」	Į.	馬	
24	「いかがでしょう、ナカタさん、もしよろしければ、わたくしがあいだに立ってこの子と話してみましょうか?	わたくし			"这样如何,中田君,如果可以的话,我居中和那孩子试着 谈几句可好?	我			怎麼樣啊,中田先生,如果方 間跟這孩子說看看?	万便的話,要不要我站在中	我『	ij	
25	やはり猫同士の方が、話は通じやすいと思いますし、この子のへんてこな話し 方にはわたくしはいささか馴れております。	わたくし			毕竟都是猫,我想还是容易沟通的。再说对这孩子颠三倒四的话语我多少也习惯了。	我			颠三倒四 同樣是貓,我想應該比較容易 話方式我也多少聽慣了。	說得通,這孩子奇怪的說	我		
26	ですから、わたくしが話を聞きだして、それをかいつまんでナカタさんにお話して差し上げるということでいかかでしょう?」	わたくし			所以,由我把话问出来,再简明扼要地讲给您中田君听一意 下如何?"	我		您	简明扼要 所以我來聽聽,大概整理一了 好嗎?	再告訴你,中田先生這樣	我	馬	
27	「ちゃんとおとなしく話をお聞き。		お聴き	Φ	"规规矩矩给我听着,	我			规规矩矩 「你要好好聽話。				
28	アホたれ。			Φ	傻家伙,				傻瓜。				
29	この腐れキンタマ」			Φ	小心打烂你那鸟玩意儿!"				你這個色鬼。」				
30	「この子はね、最初にばしっとどやしつけておかないとだめなんですのよ」		のよ		"这孩子嘛,不一开始就狠狠收拾一顿就不能老实。"				「這孩子,剛開始不好好教誌	他不行。			
31	「そうしないと、緊張がなくなって、ますます変な話し方をするようになって しまうんです。				"若不然他就死皮赖脸,说话更牛头不对马嘴。				死皮赖脸 「不這樣的話,他就不緊張,	說話會變得更奇怪。			
32	こんな風になってしまったのも、この子自身のせいじゃありませんし、かわい		わね		其实落到这步田地也不是这孩子本身的责任。我也觉得不	我			會變成這個樣子,也不是這孩	该子自己的錯,雖然覺得可			
33	そうだと思うんですけど、まあ仕方ありませんわね」 ミミはだいたいの話を聞き出してしまうと、〈もういいから、あっちにお行き〉		お行き	Φ	忍,但没有别的办法。" 咪咪大致问完话,像是说"可以了,那边去吧",把川村赶		吧		憐,可是也沒辦法。」 咪咪問出大概的情形之後, 寫				
34	という感じで、カワムラさんを追い払った。 「おおよそのところはわかりましたよ」		40.11 €	Ψ	去一边。 "情况大体清楚了。"		""		了」的樣子,把川村先生趕到 「大概的情形我知道了。」	Eo	我		
	「あの子はカワムラさんは、三毛のゴマちゃんをこの少し先にあります草				"那孩子川村君说在前面不远的草丛里看见过几次小三				「那個孩子川村先生說,	他看過幾次三色毛的小胡	1人		
35	むらでなんどか見かけたそうです。				毛猫胡麻。				麻在這前面的草叢裡。				
36	建築予定地になっている空き地なんです。				那是一块准备建楼的空地。				就是那塊變成建築預定地的名				
37	不動産会社が、ある自動車会社のもっていた部品倉庫を買収しまして、そこに 高級高層マンションを建てることを計画して更地にしたのですが、住民の反対 運動が強くて、ややこしい訴訟なんぞもあり、なかなか工事着工ができないま まになっています。				房地产公司收购了一家汽车厂的零配件仓库,平了地,计划 在那里建高级高层公寓,但居民们强烈反对,还有啰啰嗦嗦 的起诉什么的,以致迟迟开不了工。				建設公司收買了某家汽車公司 之後計畫在那裡興建高層住宅 對運動激烈,還有麻煩的官司 進行就擱在那裡。	E大廈, 但是因為居民的反			
38	昨今よくある話ですわね。		わね		如今常有的事。				最近常有這樣的事情對吧。		1	E	
39	それでそこに草がぼうぼう茂りまして、普段は人も入ってきませんし、このへんの野良猫たちのかっこうの活動場所になっています。				这么着,草在那里长得遮天盖地,加之平时人又不去,就成了这一带野猫们的活动场所。				遮天盖地 所以那裡就雜草叢生,草長得 變成這一帶野貓最好的活動場				雑草蕭
40	わたくしは交際が広い方ではありませんし、ノミのようなものがうつるのも心 配ですし、あまりそっちの方には参りませんが。	わたくし			我交际范围不算广,又怕惹着跳蚤什么的,很少往那边去。	我			我不是交際廣的人,而且也排 染,不太到那邊去。	音心會被跳蚤之類的東西傳	我		
41	おわかりのようにノミというのはやっかいなもので、一度うつるとなかなかとれません。				您也知道的, 跳蚤那东西可不是好惹的, 一旦上身就很难抖 落掉,			您	你也知道跳蚤這東西是很麻烦除。	頁的,一旦染上就很難去			

42	悪い習慣と同じですわね」		わね	和坏习惯一个样。"				就像壞習慣一樣噢。」		噢	
43	「そのお持ちの写真のとおりの、ノミとりの首輪をつけたまだ若いきれいな三 毛猫で、ずいぶんおどおどしていたそうです。			"还说相片上那个戴着除蚤项圈的还年轻漂亮的三毛猫惶性 不可终日,	Ē			就像你那張照片一樣,帶有防蚤項圈、還很年輕漂亮的 三毛貓,聽說相當膽怯的樣子。			
44	口もうまくきけなかったそうです。			口都差不多开不成了。				一七湖, 彩成作自 届 IG IS I I I I I I I I I I I I I I I I I			
45	帰り道のわからなくなったどこかの世間知らずの飼い猫であることは、誰の目			谁都能一彦看出是只不谙世故找不到回家路的家猫。"			不谙世事	迷了路不知道怎麽走回家、涉世不深不懂事的家貓,誰			涉世不
40	にも明らかでした」						小宿巴争	都可以一眼看出來。」		нш	
46	「最後に見かけたのが三日か四日くらい前みたいです。			"最后一次见到好像是三四天前。				「最後一次看到好像是三天或四天前吧」		吧	
47	なにしろ頭が悪いので、正確な日にちまではなかなかわかりません。			毕竟脑袋差劲儿,准确日期怎么也说不来。				因為他頭腦不好,所以正確日期也不太清楚。			
48	でも雨が降った明くる日って言っていましたから、たぶん月曜日のことだと思いますよ。			不过,既然说是下雨的第二天,那么我看应该是星期一。	我			不過他說是下過雨的第二天,我想大概是星期一吧。	我	吧	
49	たしか日曜日にけっこうな雨が降ったとわたくしは記憶しているのですが」	わたくし		记得星期日下了一场蛮大的雨"				我記得星期天確實下過很大的雨。」	我		
50	「それが最後だったということです。			"说是最后一次。				「他說那是最後一次。			
51	まわりの猫もそれ以来、その三毛猫を見かけていないそうです。			周围的猫自那以来也没见到三毛猫。				其他的貓也說,後來就沒有看到那隻三毛貓了。			
52	ろくでもない頓珍漢な猫ですが、かなりきつく確かめてみましたので、大筋に 間違いはないと思います」			作为猫倒是不三不四呆头呆脑的,但我追问得相当严厉,力 致不会有错,我想。"	我			別看他是一隻糊裡糊塗的貓,不過因為我問得很嚴厲, 所以我想大概情形應該不會錯。」	我*2		糊裡糊
53	「いいえ。			Φ "哪里,				「哪裡,			
54	お安いご用ですのよ。		のよ	一点儿小事。				這太容易了。			
55	わたくしも普段、近所のできそこないの猫ばかりと話していますと、話題がか みあわなくていらいらしてきますの。	わたくし	0	我平时也总是跟附近非傻即呆的猫们说话,说不到一块儿去,弄得心焦意躁。	我			我平常也常跟附近的笨蛋貓談話,話題往往對不攏我就 會焦慮起來。	我*2		
56	ですからたまにこうして道理のわかる人間の方とゆっくりお話しすることがで			所以偶尔若能跟通情达理的人慢慢聊上一会儿,深感茅塞顿	Į.		通情达理,	所以偶爾能跟通情達理的人慢慢聊聊,也可以增廣我的	我		通情達理
57	きると、世界が広まります 「なにしろあの子は語彙が少ないものですから――」			开。" "那孩子毕竟语汇少嘛。"		啡	茅塞顿开	見識。」 「因為那孩子語彙很少嘛--」		収減	
						7974				29/75	
58	「あの子は言葉を多く知らないものですから」			"那孩子不知道多少词儿。"				「那孩子知道的用語不多。」			
59	「おいしい食べ物は何でもかんでも鯖になってしまうんです。			"凡是好吃的东西,不管什么都成了青花,				「好吃的東西不管是什麼都當成鯖魚。			
60	あの子は世の中で鯖がいちばん上等な食べ物だと思っているんですのよ。		のよ	以为青花鱼是世上最高档的食品。				那孩子以為鯖魚是全世界最高級的食物。			
61	鯛とかヒラメとかハマチとか、そんなものがあること自体知らないのです」			鲷鱼啦比目鱼啦幼鰤啦,连存在这些东西本身都不知道。"		啦		他連有鯛魚啦比目魚、小鰤魚之類的事情都不知道。」		啦	
62	「わたくしもウナギは好物です。	わたくし		"鳗鱼我也中意。	我			「我也喜歡鰻魚。	我		
63	いつもいつも食べられるというものではありませんけれど」			倒不是每天每日都能吃到。"			毎天毎日	雖然不是經常都可以吃到的東西。」			
	「それで、あの子が言いたかったのは」とミミはふと思いなおしたように話を			"这样,那孩子想说的是,"咪咪陡然想起似的继续下文,			47(4)	「那麼,那孩子想說的是,」咪咪好像忽然又想起來似			
64	続けた。「その空き地に近所の猫が集まるようになってしばらくしてから、猫をつかまえる悪い人間がそこに出没するようになったということでした。			"附近的貓来那块空地集中之后不久,有个抓猫的坏人开始 在那里出没。	İ			地繼續說,「據說那塊空地成為附近的貓聚會的地方後 不久,就開始有捕捉貓的壞人在那裡出沒了。			
65	そいつがゴマちゃんを連れていったんじゃないかと、ほかの猫たちは推測して いるようです。			其他猫们猜测是那家伙把小胡麻领走了。				據說可能是那個人把胡麻抓走了,其他的貓好像這樣推 測的樣子。			
66	その男はおいしいものを餌にして猫をつかまえ、大きな袋に入れてしまうそうです			那个人以好吃的东西为诱饵来逮猫,塞到一条大口袋里。				據說那個男人以好吃的東西當誘餌來抓貓,然後裝進很 大的袋子裡去。			
67	その捕まえ方はとても巧妙なので、おなかを減らした世間知らずの猫は、簡単			逮法非常巧妙,肚子饿瘪涉世未深的猫很容易上他的圈套。			洗丗未深	那抓法非常技巧,所以肚子餓又涉世不深的貓,很容易			涉世不活
68	に罠にかかってしまいます。 警戒心の強いこのあたりの野良猫でさえ、これまでに何匹かその男に持って行かれたそうです。			就连警惕性高的这一带的野猫迄今也有几只给那人逮了去。				就會落入他的陷阱。 聽說連警戒心強的這一帶的野貓,到目前為止也已經有 幾隻被那個男人帶走了。			
69	むごいことです。			惨无人道。			惨无人道	好殘忍噢。		噢	
70	猫にとって袋に入れられるくらいつらいことはありません」			对猫来说,再没有比装到袋子里更难受的了。"				對貓來說,沒有比被裝進袋子裡更難過的事。」			
		わたくし			117				我		
71	「それはわたくしにもわかりません。 昔は猫をつかまえて三味線にしたそうですが、今では三味線自体そんなにポ	わたくし		"那我也不知道。	我			「這個我也不知道。 聽說從前有人抓貓去做三味線,現在三味線本身已經不	- 我	-	
72	ピュラーな楽器ではありませんし、最近では主にプラスチックを使っているそうです。			过去有逮猫做三弦的。如今三弦本身已不是什么流行乐器, 何况近来听说用的是塑料。				是那麼受歡迎的樂器了,而且聽說最近主要是用塑膠 的.			
73	それから、世界の一部ではまだ猫を食べる人がいるそうですが、ありがたいことに日本では、猫を食用にする習慣はありません。			另外,据说世界上一部分地方有人吃猫,所幸日本没有食猪	ti d			其次,聽說世界上有一部分地方還有吃貓肉的人,幸虧			
74	ですからそのふたつの可能性は除外してもいいと思います。			习惯。 因此这两种可能性我想可以排除。	我			在日本,沒有吃貓的習慣。 所以我想那兩個可能性可以除掉。	我		
	あと考えられるのは、そうですねえ、科学の実験用にたくさんの猫を使う人々				14			其他可以想得到的,嗯,也有一些人在科學實驗上用很	14	-	
75	もいます。			往下所能设想的,对了,也有人用很多猫来做科学实验。				多的貓。			
76	世の中には猫をつかったいろんな科学実験があるんです。			世上存在各种各样用猫做的科学实验。			各种各样	世間有很多是用貓來作的科學實驗。			
77	私のお友だちにも東京大学で心理学の実験に使われたことのある猫がいます。	私		我的朋友之中也有曾在东京大学被用于心理学实验的。	我			我的朋友中就有在東京大學被用在心理學實驗的貓。	我		
78	これがまあ大変な話なんですが、この話を始めるとずいぶん長くなりますので やめましょうね。			那东西可不是开玩笑,不过说起来要说很久,就免了吧。				這件事情非常嚴重,不過這說來話長,就不提了。			說來話長
79	それから、それほどたくさんではありませんが、ただただ猫をいじめたいというヘンタイ的な人もいます。			还有,也有变态之人一数量固然不很多一存心虐待猫,				其次,雖然不是很多,不過也有單純只是想虐待貓的變 態的人。			
80	猫をつかまえて、たとえばはさみで尻尾を切ったりするんです」			比如逮住猫用剪刀把尾巴剪掉。"				抓到貓,比方說就用剪刀把尾巴剪斷。」			
01	加を うかまん (、たとんははさか (加尾を切ったりするか (*)] 「どうもしやしません。			"怎么样也不怎么样,				「沒做什麼啊。		DST	
81										HP*I	
82	ただ猫を痛めつけて、いじめたいんです。			只是想折腾猫欺负猫罢了,				只是想把貓弄疼,想虐待貓。			
83	そうすることで、楽しい気持ちになれるんです。			这样可以使心情陶陶然欣欣然。				這樣做,他就高興。			
84	そういう心のねじまがった人々がこの世界にはちゃんといるのです」			这种心态扭曲之人世界上居然真有。"			心态扭曲	有的人心這樣扭曲,世界上就有這種人。」			
85	「ええ。			Φ "是的。				「嗯。			
86	そう考えたくはありませんし、そんなことを想像したくもありませんが、可能性がないとは言い切れません。			我是不想那么认为,也不愿那么想像,但不能保证可能性家 没有。	t 我			我不願意這樣認為,也不願意想像有這樣的事情,但也 不能說沒有這個可能性。	我		

ミミのセリフの抜粋③

ミミのセリブの抜粋(3)												
87 ナカタさん、わたくしもたいして長く生きているわけではありませんが、想像 を超えたむごい光景を何度となく目にしてまいりました。	わたくし		中田君,我诚然活的年头不算很多,可还是不止一次目睹了 超乎想像的凄惨场景。	我				中田先生,我雖然不是活了多久,不過卻親眼看過幾次超過想像之外的殘酷光景。	我			
多くのみなさんは猫というのは1日ひなたでごろごろして、ろくに仕事もしないで、まったく気楽なもんだというふうに考えておられますが、猫の人生はそれほど牧歌的なものではありません。			人们大多以为猫这东西只是在朝阳地方躺躺歪歪,也不正经 劳作,光知道优哉游哉。其实猫的一生并不那么充满田园牧 歌情调。				躺躺歪歪, 悠哉悠哉	很多人以為貓這種東西只會一整天躺在那裡曬太陽,也 不做什麼工作,真是輕鬆,可是貓的人生並不是那麼牧 歌式的。				
89 猫は無力で傷つきやすいささやかな生き物です。			猫是身心俱弱易受伤害不足为道的动物,				身心俱弱, 不足为道	貓是無力而容易受傷的弱小生物。				
90 亀のような甲羅もありませんし、鳥のような翼もありません。			没有龟那样的硬壳,没有鸟那样的翅膀,					並不像烏龜那樣有龜殼, 也不像鳥那樣有翅膀,				
91 もぐらのように土の中にももぐれませんし、カメレオンのように色を変えられるわけでもありません。			不能像鼹鼠那样钻入土中,不能像变色蜥蜴那样改变颜色。					不像鼴鼠那樣可以鑽到土裡去,不像變色龍那樣可以改 變顏色。				
92 どれほど多くの猫が日々痛めつけられて、むなしくこの世を去っていくか、世間のみなさんはご存じないんです。			不知有多少猫每日受尽摧残白白丢掉性命。这点人世诸位并 不晓得。					有多少貓每天忍受疼痛,空虛地離開這個世間而去,世上的各位都不知道。				
わたくしはたまたまタナベさんという温かい家庭に入れていただきまして、お子たちにかわいがられて、おかげさまでこれという不足もなく日々を過ごしておりますが、ええ、それでもいささかの苦労はございます。	わたくし		我算碰巧被收养在一户姓田边的善良友好人家,在孩子们的呵护之下过的太太平平无忧无虑。尽管如此,一点点辛劳也还是免不了的。	我			太太平平,	我碰巧住在田邊太太這溫暖的家庭裡,受到孩子們的寵愛,託他們的福而能夠過著沒有不滿的日子,嗯,雖然如此還是有一些辛苦的事。	我			
94 ですから野良のみなさんともなれば、生きていくための労苦はもう大変なものだと思いますよ」			因此我想,荒郊野外那些同类为了求生不知吃了多少苦 头。"	我			荒郊野外	所以成為野貓的話,我相信要活下去是非常辛苦的。」				
95 「いえいえ」とミミは目を細め恥ずかしそうに言った。「うちでごろごろ寝ころんでテレビばかり見ておりますうちに、こうなってしまったんですのよ。		のよ	"哪里哪里。"咪咪眯细眼睛面带羞涩地说,"在家里边东 躺西歪一个劲儿看电视的时间里,就成了这个样子。				东躺西歪	「哪裡哪裡。」咪咪瞇細眼睛害羞似地說。「我常常在 家裡躺著看電視之間,就變成這樣了啊。	我	咽		
96 つまらない知識ばかり増えてしまって困ります。			增加的全是垃圾知识,百无一用。				百无一用	只有增加無聊的知識,真傷腦筋。				
97 ナカタさんはテレビはごらんになりますか?」			中田君看电视吗?"		吗			中田先生也看電視嗎?		嗎		
98 「それはそれは」			Φ "谢谢谢!"					「真的啊。」		11/61		
99 「ゴマちゃんが無事だとよろしいんですけどね」			"但愿小胡麻平安无事。"				平安无事	「小胡麻要是能夠平安無事的話就好了。」				平安無事
100 「あの子の話によれば、その男は背が高く、奇妙な縦長の帽子をかぶって、革 の長靴をはいているそうです。			"据那孩子说,那男的是高个子,戴一顶不伦不类的高筒帽,脚登长筒皮靴,				不伦不类	根據那孩子說的,那個男人個子高高的,戴著一頂奇怪 的高帽子,穿著皮長靴。				
101 そして早足で歩きます。			步伐很快。					而且走路很快。				
102 すごく変なかっこうだから、見ればすぐにわかるということでした。			总之形象十分古怪,一看便知。					因為樣子非常奇怪,所以一看馬上就會知道。				
103 そこの空き地に集まる猫たちはその男の姿を見かけると、まるで蜘蛛の子を散らすように逃げます。			空地里三五成群的猫们一瞧见他来,马上一溜烟跑没影了。				三五成群	聚集在那邊空地上的貓只要一看到那個男人的身影,馬 上就會像小蜘蛛一樣四散逃走。				
104 しかし事情を知らない新参の猫は」			可是,新来的猫不知内情"				不知内情	可是不知道事情嚴重的新來的貓卻」				
105 「お役に立てればよろしいんですけどね」			"但愿对你有用。"					「希望對你有幫助。」				
106 「わたくしは思うんですが」とミミはナカタさんの顔を見上げ、少し眉をくもらせて言った。「その男は危険です。	わたくし		"我是这么想的,"咪咪仰脸望着中田,略略蹙起眉毛说道,"那个男的危险,	我				「我這樣想,」咪咪抬頭看中田的臉,有些愁眉苦臉的 說,「那個男人很危險。	我			
107 とても危険です。			极其危险。					非常危險。				
108 おそらくはナカタさんの想像を超えて危険な人物です。			恐怕是超出悠想像的危险人物。			您		恐怕是超越中田先生想像之外的危險人物。				
109 わたくしならその空き地には決して近づきません。	わたくし		若是我,绝不靠近那块空地。	我				要是我的話就絕對不接近那塊空地。	我			
110 まあナカタさんは人間ですし、お仕事なんでしょうから仕方ありませんが、 じゅうじゅう気をつけてくださいね」			不过您是人类,又是工作,自是没有办法。那也要多加小心 才好。"			您		不過中田先生是人,而且這是你的工作,所以沒辦法, 請你一定要多加小心噢。		噢		
111 「ナカタさん、ここはとても暴力的な世界です。			"中田君,这里是暴力世界,非常残暴的暴力。					「中田先生,這裡是非常非常暴力的世界。				
112 誰も暴力から逃れることはできません。			任何人都无可回避。				无可回避	誰都無法逃出暴力。				
113 そのことはどうかお忘れにならないでください。			这点您千万别忘记。			您		這件事情請你不要忘記,			請	
114 どんなに気をつけても気をつけすぎるということはありません。猫にとっても 人間にとっても」			再加小心也不至于小心过分,无论对猫还是对人。"					不管多麼小心都不會太過分。不管對貓或對人都一 樣。」			_	
	わたくし 14	助詞「の」 2 「のよ」 5	敬語不使用 (Φ) 10	在下 1	語気詞 8	您 11	四字格 31		我 31	语气词 22	请 1	四字格 10
	私 2	「のね」 1	敬語表現 104	我 25		请 1						
合計114文		かしら 1										
		わね 4										
		お+動詞連用形 2										

韓国語版『海辺のカフカ』に現れる言語的特徴

金 昴京 (福岡大学) 平塚 雄亮 (志學館大学)

1 はじめに

本稿では、村上春樹著『海辺のカフカ』の韓国語版"<mark>해변의 카프카</mark> (haypyenui khaphukha)"に現れる言語的特徴について報告する。韓国語版の翻訳者は<mark>김춘미 (Kim Choonmi) で、2003年7月に上・下巻ともに初版が是**학사상** (mwunhaksasang/文学思想)より発行されている。2008年5月に上・下巻ともに第2版が出されているが、改訂点は不明。日本語版からの独立訳であり、重訳ではない。以下、2節で韓国語の役割語に関する先行研究をまとめ、3節で話し方の特徴的な登場人物「ナカタさん」について述べる。4節はその他の登場人物の特徴的なことばづかいについて触れる。5節は本稿のまとめである。</mark>

2 韓国語の役割語的特徴

韓国語の役割語に関する代表的な研究として、定延(2007)や鄭(2007)などがある。これらの研究も指摘するように、韓国語では日本語ほどバリエーションが豊富ではないものの、文末にキャラ語尾や方言的特徴を用いることで、特定のキャラクターを演じさせることができる。また、一人称代名詞や二人称代名詞のバリエーションを用いるという点も日本語と共通している。本稿では『海辺のカフカ』の登場人物のうち、話し方の特徴的なナカタさんのことばづかいを中心に、その他の登場人物の用いる言語的特徴についても報告する。

3 「ナカタさん」の話し方の特徴

ここでは、『海辺のカフカ』の登場人物のうち、特に特徴的なことばづかいをしている「ナカタさん」の用いる形式と、その印象などについて述べる。自ら「頭が悪い」と言うナカタさんの日本語版の話し方の特徴は、おおよそ次の2点にまとめられる。

- (1) 一人称に「ナカタ」を用いる。
- (2) 聞き手が人であれ猫であれ、常に丁寧体で話す。適宜尊敬語および謙譲語も使用

する。丁寧体には「~であります」を多用する(前接要素は名詞または準体助詞 ノ)。

この 2 点と比較させながらみてみると、韓国語版では(1) および(2) の特徴はみられると言える。しかしながら、(2) のうち「~であります」が与えるような非常に丁寧かつ「特異である」という印象を持つような形式は使用されていないようである。以下、それぞれについて分けて用例をみていき、最後にナカタさんの用いる敬称の特徴について指摘する。

3.1 一人称

日本語版同様,ナカタさんは自らの名字である nakhatha (**나카F**) を一人称として用いる。以下,用例を提示する際は,上からハングルを用いた韓国語版原文,Yale 式とよばれる韓国語のアルファベット表記,日本語版原文を示す。

(3) "네, 모두들 그렇게 말씀하십니다. 그러나 나카타는 이런 말투로 밖에 말하지 못합니다."

ney, motwutul kulehkey malssumhasipnita. kulena nakhathanun ilen malthwulo pakkey malhaci moshapnita.

「はい, みなさんにそう言われます。しかしナカタにはこういうしゃべり方しかできないのです」(K1-96-5)

一人称として自らの名字を使用することは韓国語でもふつうありえないことであり、韓国 語版でもナカタさんが特異な人であるという印象を与えている。

3.2 丁寧体および尊敬語・謙譲語

ナカタさんは誰に対してでも常に丁寧体を使用し、非常に丁寧な人物であるという印象を与える。また、相手が(ふつう目上であるとは考えない)猫であっても尊敬語および謙譲語を用いることがある。これは韓国語版でも同様で、たとえば(4)のようである(この例は聞き手は人「ホシノさん」)。

(4) "아프셨습니까?"

aphu<u>syesssupnikka</u>?

「痛かったでしょうか」(K2-18-16)

韓国語では一般に用いられる丁寧体に 2 種類がある。1 つは-(su)pnita (- 合니다/-ㅂ니다) という接辞を用いる方法,もう 1 つは=yo $(=\Omega)$ という接語を用いる方法である。ただし前者は平叙文専用の形式であり,疑問文では (4) のように-(su)pnikka (- 合니까/-ㅂ니까) という形式を用いる。=yo よりも,-(su)pnita および-(su)pnikka を用いる方法がより丁寧であり,ナカタさんはこちらを多用している。これは特にフォーマルなスピーチスタイル

であり、一般的にはたとえばニュースキャスターであったり、ある程度聞き手が年上・目上で心的距離がある場合などに用いられる限定的な丁寧体である。また、(4)では-si(-人)という尊敬接辞も使用していることから、日本語版同様尊敬語の使用も認められる。さらに以下の(5)は、tuli-(드리-)という謙譲語動詞を使用した例であり、やはり日本語版同様謙譲語も使用していることがわかる。

(5) "네. 실로 호시노 군 말씀이 맞습니다만 솔직하게 <u>말씀드리면</u>, 나카타도 그 돌을 어떻게 해야 좋을지 아직 잘 모릅니다."

ney. sillo hosino kwun malssumi macsupnitaman solcikhakey <u>malssumtulimyen</u>, nakhathato ku tolul ettehkey hayya cohulci acik cal molupnita.

「はい。じつにホシノさんのおっしゃるとおりなのですが,正直に<u>申し上げまし</u>て,ナカタにもどうしていいものかまだよくわからんのです」(**K2-162-1**)

上記のように基本的には-(su)pnita および-(su)pnikka を用いた丁寧体を使用しているものの, (6) のように少し丁寧度の下がる=yo を用いたスタイルで話すこともまれにある。

(6) "나카타는 상당히 오랫동안 잠을 잘 겁니다만, 신경 쓰지 마십시오. 그냥 <u>잘</u>뿐이니까요."

nakhathanun sangtanghi olaystongan camul cal kepnitaman, sinkyeng ssuci masipsio. kunyang cal ppwuninikkayo.

「ナカタはたぶん長く眠ると思いますが、気になさらないでください。ただ眠っておるだけですので」(K2-6-16)

このように常に丁寧体、特に-(su)pnita/-(su)pnikka を用いることで非常に丁寧な印象を与えているが、日本語版の「~であります」が持つ「特異な」印象を持つような形式は特に使用されていないようである。

3.3 敬称

最後にナカタさんの用いる敬称について指摘しておく。ナカタさんはやはり相手が人であれ猫であれ、日本語版の「~さん」にあたる-ssi(-M)という敬称を用いて待遇している。-ssi は「~さん」のように一般的に使用される敬称であるが、韓国語ではたとえ-ssi を用いたとしても、そもそも目上の人の氏名を口にすることは社会的なマナーに反することになる。特に呼びかけの際に氏名を用いることはまずないが、韓国語版の『海辺のカフカ』ではそういったことがよくある。これはおそらく、この小説が日本語の小説であり、日本語のルールのなかで呼びかけを行っているという共通理解があるため許容されているものと思われる。これはナカタさんに限られず、主人公の「田村カフカ」などの発話などにも

みられる。

さて、上記のようにナカタさんはほとんどの相手に-ssi を用いるものの、本編に登場する 雌猫の「ゴマちゃん」に話しかけたり、この猫について言及する際には、日常的にはほぼ 用いられることのない-yang (-・・学/-嬢) という敬称を使用している。

(7) "고마 양" 하고 나카타 씨가 말했다.

koma yang hako nakhatha ssika malhayssta.

「<u>ゴマちゃん</u>」とナカタさんは言った。(K1-316-15)

(8) "고마 양은 여기에는 없는 것 같습니다"

koma yangun yekieynun epsnun kes kathsupnita

「ゴマちゃんはここにはいないようであります」(K1-294-3)

また、本編の中盤から終盤にかけての重要な登場人物である若い男性の「ホシノさん」に話しかけるときに、韓国語では日常的にはまず用いられない-kwun(-元/-君)を使用する。

(9) "네, 호시노 군."

ney, hosino kwun.

「はい, ホシノさん」(K2-162-10)

-yangや-kwunは役割語として小説などで用いられることがある。ふつう高齢の男性の使用者を想起させ、-yangは未成年の女性に、-kwunは未成年の男性に対する場合に用いられる。現実ではたとえばニュース番組で匿名の女子学生や男子学生が出てきた際に、"○○ ��"や"○○ 卍"のように使用されることはあるものの、これらは韓国語の役割語的特徴の一つであると言える。日本語の「~ちゃん」や「~君」のように、現実的に使用される敬称ではない。ここでゴマちゃんやホシノさんに対して-ssiを用いていれば特筆すべきことはないのであるが、-yangや-kwunを用いることで日本語版とはやや違った印象を与えていると言える¹。

4 その他の登場人物の話し方の特徴

その他の登場人物のうち、特徴的な丁寧体の使用のみられる「ジョニー・ウォーカー」、「カーネル・サンダース」と猫の「オオツカさん」のことばづかいについてみておく。それぞれ、(10)、(11)、(12) のように年上の人物が年下の人物に対して用いる丁寧体を使用することがある。この丁寧体は、やはり文末表現から読み取れる。(10) は、ジョニー・ウォーカーの台詞である。

(10) "그래, 맞아. 내가 그 유명한 고양이 살해자인 조니 워커라네."

¹⁻kwun はナカタさんがホシノさんに対して使用するほか、カーネル・サンダースがホシノさんに対しても使用している。日本語版では「ホシノちゃん」と「~ちゃん」を使用している。

kulay, maca. nayka ku yumyenghan koyangi salhaycain coni wekhela<u>ney</u>. 「そう。そのとおり。私が有名な猫殺しのジョニー・ウォーカーだ」(K1-294-15) 同じ丁寧体を,カーネル・サンダースも使用している。

(11) "좋아, 나를 따라오게."

coha, nalul ttalaokey.

「よろしい。ついてきたまえ」(K2-71-16)

- (12) のオオツカさんの用例は、 -ney と-sey という 2 つの接辞から、やはり同様の丁寧体を使用していることがわかる。
 - (12) "옛날에는 분명히 나를 길러주던 주인도 있었<u>네</u>. 그러나 지금은 아닐<u>세</u>." yeysnaleynun pwunmyenghi nalul killecwuten cwuinto issess<u>ney</u>. kulena cikumun anilsey.

「昔はたしかに飼われていたこともあった。でも今は違う。」(K1-94-7) 以上の形式は同じスタイルに属し、-neyは平叙文専用、-keyは命令文または勧誘文、-sey は平叙文²または勧誘文に使用する³。これらの形式は日常的にはほぼ使用されることがない。役割語としての使用者は高齢男性をイメージさせ、丁寧体でありながら聞き手が目下であると判断している印象を与える。日本語版ではオオツカさんは特に高齢者であるという印象を与える話し方はしていないが、この点韓国語版ではそれを感じさせる話し方をしていることになる。

5 まとめ

以上本稿では、『海辺のカフカ』の登場人物であるナカタさんを中心に、韓国語版の言語 的特徴とその印象について述べてきた。本稿の内容は以下のようにまとめられる。

- (a) ナカタさんは日本語版と同様,一人称に自らの名字を使用する。韓国語でもこれ はふつうではなく,ナカタさんが変わった話し方をするという印象を強める。
- (b) ナカタさんは日本語版と同様、聞き手が誰であれ丁寧体で話し、尊敬語・謙譲語を多用する。ただし日本語版の「~であります」が持つような特異な印象は与えない。
- (c) ナカタさんは日本語版では基本的には「~さん」という敬称を用い、「ゴマちゃん」 という雌猫に対してのみ「~ちゃん」を使用している。一方韓国語版では、基本 的には「~さん」に相当するような-ssi を使用しているものの、雌猫の「ゴマち

² ただし平叙文で動詞が i- (이-/「だ」)と ani- (아니-/「違う」)のときのみ,0 のように必ず-sey の前に-1 (-2) が挿入され,ani-1-sey のようになる。

³ 疑問文では-na (-나) や-(nu)nka (-는가/-L가) という接辞を用いる。

- ゃん」に対しては-yang、年下の男性の「ホシノさん」に対しては-kwun を使っている。これらの敬称はふつう役割語としてでしか用いられない。
- (d) ナカタさん以外にも特徴的な話し方をする登場人物がおり、日常的な韓国語には 使用されない丁寧体を使用している。

参考文献

- 定延利之(2007)「キャラ助詞が現れる環境」金水敏(編)『役割語研究の地平』pp.27-48, くろしお出版.
- 鄭惠先 (2007)「日韓対照役割語研究―その可能性を探る―」金水敏 (編)『役割語研究の地平』 pp.71-93, くろしお出版.

小説『海辺のカフカ』のタイ語訳

CHAIWIROJ CHUTIPUK (大阪大学大学院文学研究科)

1. はじめに

村上春樹の作品は数年前から様々な言語に翻訳されてきて、タイ語もその中に含まれている。最初の頃、タイ語に翻訳された作品は英訳から重訳されたものだったが、最近原作から直接に翻訳されるようになった。小説『海辺のカフカ』も英訳から重訳されたものだが、本稿では『海辺のカフカ』のナカタ、カラスと呼ばれる少年、オオツカとミミという登場人物を分析対象として原作でのイメージとタイ語訳本でのイメージを比較していきたい。

2. キャラクター考察

本節では、各キャラクターの発話例を取り上げつつ、原作とタイ語訳本でのイメージを考察する。

2.1ナカタの発話分析

一人称: ผม (ph ŏ m) นาคาตะ (ナカタ)

二人称: คุณ (khun) 文末表現: ครับ (khráp)

最初に取り上げるキャラクターはナカタで、発話例は以下の通りである。下線部が一人称 代名詞、斜字体が二人称代名詞、太字が文末表現を示している。

A) 原文:「あの、ここにちょっと腰をおろしてかまいませんか? ナカタはいささか歩き疲れましたので」(K1-93-8)

訳文: "คุณจะรังเกียจไหมถ้า<u>ผม</u>จะนั่งลงชั่วครู่? <u>นาคาตะ</u>เหนื่อยนิดหน่อยจากการเดิน" (p57) khun cà rankìat máy thâa <u>ph ŏ m</u> cà nân lon chûa khrûu? <u>Nakata</u> nu ay nít này càak kaan dəən

B) 原文:「そうです。ナカタと申します。猫さん、あなたは?」(K1-94-1)

訳文 : "ถูกต้อง**ครับ <u>ผม</u>ชื่อนาคาตะ แล้ว***คุณ***ชื่ออะไร?"** (p58)

thùuk toʻn **khráp** phom chuʻu Nakata leʻew *khun* chuʻu aray

C) 原文: 「ナカタと申します。お邪魔いたします。あやしいものではありません」 (K1-261-14)

訳文 : "ต้องขออภัยที่มารบกวน <u>ผม</u>ชื่อนาคาตะ

แต่<u>ผม</u>ไม่ใช่ผู้บุกรุก" (p149)

tôn khoˇo aphay thîi maa róp kuan <u>phŏm</u> chûu Nakata tὲε <u>phŏm</u> mây chây phûu bùk rúk

D) 原文:「はい。とてもむずかしいです。切符が買えませんから」(K1-392-4)

訳文: "ยากจริงๆ **ครับ** ผมซื้อตั๋วรถไฟไม่ได้" (p220)

yâak cin cin khráp phòm su'u từa rót fay mây dâay

基本的にタイ語訳本のナカタは会話する際に原作と同じように自分のことを「ナカタ」と呼ぶ。しかし以上の例文 A-D からわかるように、原文で主語が省略される場合、ナカタは一人称代名詞" \mathbf{KJJ} ($\mathbf{ph} \circ \mathbf{m}$)"を使用する。

この点に関して、英語版とタイ語版を比較すると、ナカタの一人称代名詞の使い方がかなり似ている。例えば、例文Aの英語版は以下のようである。

"Do you mind if \underline{I} sit down here for a while? \underline{Nakata} 's a little tired from walking."

英語版において、ナカタは時々一人称 "I" を使用する。タイ語版では "I" が一人称 "NJ (phòm)"と訳される。タイ語版は英語版から重訳されたので、一人称の使い方が同じであることは当然だと考えられる。

ちなみに、"ฝม (phom)" は男性の丁寧な一人称で、一般的に使用されている。その上、二人称"คุณ (khun)" と文末表現"ครับ (khráp)" を使用するのも丁寧な感じを出す。二人称"คุณ (khun)" は日本語の二人称「あなた」と同じように、男女問わずに使用できる言葉だが、文末表現"ครับ (khráp)"は男性しか使用しない。この二人称"คุณ (khun)"と文末表現"ครับ (khráp)" は基本的に丁寧な場面で使用する。 つまりタイ語 訳本のナカタの言葉遣いは原作と同じように丁寧なイメージを与える。

また、自分の事を名前で呼ぶことに関して、現実の世界で自分のことを苗字や名前で呼ぶタイ人男性はほとんどいないので、タイ語の場合でも変わった印象を与える。フィクションの世界では稀に自分の事を名前で呼ぶキャラクターが見られるが、ナカタのような老人キャラクターが自分の事を苗字で呼ぶのはやはり珍しい。それに、老人キャラクターはよく自

分のことを「爺」「婆」と呼ぶ。"WV (ph ŏ m)" は年下の相手に対しても使用できるが、老人キャラクターが自分のことを"WV (ph ŏ m)"と呼ぶとかなり若い印象を与えると思われる。

2.2 カラスと呼ばれる少年の発話分析

一人称: ฉัน (ch ǎ n) 二人称: แก (kεε)

文末表現: つะ (wá) つき (wâ)

次に取り上げるキャラクターはカラスと呼ばれる少年である。カラスと呼ばれる少年の発 話例を以下に示す。

E) 原文:「この何年かで君はずいぶん強くなった。そのことを認めてないってわけじゃないんだよ」(K1-8-3)

訳文:"ช่วงหลายปีที่ผ่านมา *แก*เคี่ยวตัวเองให้แกร่งได้มากโข ต้องชม*แก*ร่ะ" (p9)

chûan lă ay pii thîi phàan maa $k\varepsilon\varepsilon$ khîaw tuaeen hây krɛ̀n dâay mâak khỏo tɔ̂n chom $k\varepsilon\varepsilon$ **wâ**

F) 原文: 「君はこれから世界でいちばんタフな 15 歳の少年にならなくちゃいけないんだ。なにがあろうとさ。そうする以外に君がこの世界を生きのびていく道はないんだからね。そしてそのためには、ほんとうにタフであるというのがどういうことなのか、君は自分で理解しなくちゃならない。わかった?」(K1-11-7)

訳文:"แต่นี้ต่อไป ไม่ว่าจะเกิดอะไรขึ้น *แก*จะเป็นเด็กอายุสิบห้าที่แกร่งที่สุดในโลก นั่นเป็นหนทางเดียวที่*แก*จะรอดชีวิตสืบต่อไปได้ หากต้องทำเช่นนั้น *แก*จะต้องหาวิธีเพิ่มความแกร่งให้ตัวเอง *แก*ตามฉันทันหรือเปล่า?" (p11)

tε ε níi tòo pay mây wâa cà kèət aray khu n kεε cà pen dèk aayú sìp hâa thîi kre n thîi sùt nay look nân pen hŏnthaan diaw thîi kεε cà ro ot chiiwít su up pay dâay hàak to n tham chên nán kεε cà to n hặa wíthii phə əm khwaam kre n hây uaeen kεε taam chặn than ru u plàaw

G) 原文:そう、君はひどく奇妙な場所に立たされている。(K2-30-4)

訳文:ช่าย *แก*หลุดเข้ามาในโลกเพี้ยนแล้ว**ว่ะ**(p284)

châay kee lùt khâw maa nay look phían le ew wâ

H) 原文:「でも自分がどこにも行けないことは、君にもよくわかっている」(K2-188-2)

訳文:"แต่ทว่า *แก*รู้ว่า *แก*ไปไหนไม่ได้ *แก*รู้แน่แก่ใจ" (p369)

te e tháwâa $k\varepsilon\varepsilon$ rúu wâa $k\varepsilon\varepsilon$ pay nặy dâay $k\varepsilon\varepsilon$ rúu ne e ke e cay

タイ語訳本でのカラスと呼ばれる少年は一人称 "ǎu (chǎn)"を使用する。タイの学士院版のタイ・タイ辞書は "ǎu (chǎn)" を以下の通り定義している。

ฉัน

- ส. คำใช้แทนตัวผู้พูด พูดกับผู้ที่เสมอกันหรือผู้ใหญ่พูดกับผู้น้อย, เป็นสรรพนามบุรุษที่ ๑
- 一人称代名詞。話し手を指す言葉。同輩の相手、あるいは目下の相手に対して使 う。(筆者訳)
- 一人称代名詞 "ฉัน (chǎn)" は一般的で男女とも使用する。ただし、普通は目上や年上の人に対して使用しない。 一方、二人称 "แก (kɛɛ)" は以下の通り定義されている。

แก

- ส. คำใช้แทนผู้ที่เราพูดด้วยซึ่งเป็นผู้ที่สนิทสนม หรือผู้น้อย, เป็นสรรพนามบุรุษที่ ๒
- 二人称代名詞。親しい相手、あるいは目下の相手に対して使う。(筆者訳)

カラスと呼ばれる少年は主人公・田村カフカに対して一人称 "ฉัน (chǎn)"と二人称 "แn (kɛɛ)" を使用することで、カラスと呼ばれる少年とカフカは親しい友人同士というイメージ を持つと考えられる。それに加えて、例文 E と G に見られるように、カラスと呼ばれる少年 は文末表現 "つ \mathbf{z} (wá) \mathbf{z} (wá)" を使用する。この文末表現もその親しさをより強調する。文末表現 " \mathbf{z} (wá)" は以下の通り定義されている。

າະ

つ. คำบอกเสียงต่อท้ายประโยคแสดงความคุ้นเคยเป็นกันเองหรือแสดงความไม่สุภาพ 文末に付き、親しみや荒々しさ、無作法を表す言葉。(筆者訳)

"つะ (wá)" と"つき (wâ)" は同じ意味を持つが、"つき (wá)" は疑問文の文末に、"つき (wâ)" は肯定文の文末に付ける言葉である。フィクションでは日本語の文末表現「ぜ」「ぞ」と同じように男性的な印象を与えるが、実際は男女ともこの言葉を使用する。 "つき (wá) とつき"(wâ) は乱暴な言葉だと考えられるため、親しい間では使用できるが、目上の人に対しては絶対使用できない。

このようにカラスと呼ばれる少年はカフカに対して親しみのこもった表現を使用することがわかる。だが文末表現 "つะ (wá)" "つะ (wá)" から見れば、タイ語訳本でのカラスと呼ばれる少年は原作より荒々しい印象を与える。ここでカラスと呼ばれる少年はカフカの内にある存在だと考えれば、カフカは自分に厳しい一面を持っているとも考えられるだろう。

2.3 オオツカの発話分析

一人称: ข้า (khâa)

二人称: **แก (**kee)

文末表現: つะ (wá) つ (wâ)

三番目のキャラクターは猫のオオツカで、発話例は以下の通りである。

I) 原文:「かまわないよ。というか、かまうもかまわないも、好きなところに好きなだけ座ればいい。それについちゃ誰も文句はいわないよ」(K1-93-10)

訳文:"ไม่รังเกียจ หรือจะพูดว่า<u>ข้า</u>เลือกไม่ได้จะตรงกว่า *แก*อยากนั่งที่ไหนก็ได้ ไม่มีใครไปกวน*แก*แน่" (p57)

mây ranklat ru u cả phûut wâa khâa lu ak mây dâay cả tron kwàa $k\varepsilon\varepsilon$ yàak nân thîi năy kɔ dâay mây mii khray pay kuan $k\varepsilon\varepsilon$ nɛ ε

J) 原文:「なんだい、それは? どうしてオレが。……オオツカなんだい?」(K1-94-11)

訳文:"พูดเรื่องอะไรกัน? ทำไม<u>ข้า</u>จะต้องเป็นโอซึกะด้วย?" (p58)

phûut ru^aŋ aray kan? thammay khâa cà to^ŋ pen Otsuka dûay?

K) 原文:「しかし、あんたは人間にしても、いささか変わったしゃべり方をするね」 (K1-96-3)

訳文:"สำหรับมนุษย์ *แก*พูดแปลกๆ **ว่ะ**"(p59)

sămràp manút $k\varepsilon\varepsilon$ phûut ple sk ple sk $\mathbf{w}\mathbf{\hat{a}}$

L) 原文:「オレだって自慢じゃないけど字なんてかけないね」(K1-96-9)

訳文:"ใช่ว่า<u>ข้า</u>ประสงค์จะคุยอวด <u>ข้า</u>ก็อ่านไม่ออกเขียนไม่ได้เหมือนกัน**ว่ะ**"(p59)

châywâa \underline{khaa} prasŏŋ cà khuy ùat \underline{khaa} kɔ̂ɔ àan mây ɔɔ̀k kh ĭ an mây dâay mʉʾan kan **wâ**

上記の例が示したように、タイ語訳本でのオオツカは一人称代名詞 "ข้า (khâa)" を使用する。

ข้า

ส. คำใช้แทนตัวผู้พูด พูดกับผู้ที่เสมอกันอย่างเป็นกันเองหรือผู้ใหญ่พูดกับผู้น้อย, เป็นสรรพนามบุรษที่ ๑ 一人称代名詞。同輩の相手に対して仲良く話すときに使用する。または目上が目下 に対して使用する。(筆者訳)

"nǐn (khâa)"という一人称は、男女とも使用できるが、日常生活で一般的に使用される言葉ではなく、時代劇やファンタジージャンルで使用されている。現代劇の場合であれば人間ではないキャラクターがよく使用する。例えば『夏目友人帳』という漫画作品に登場するニャンコ先生である。このニャンコ先生は話すことが出来る猫で、原作での一人称は「私」だが、タイ語訳本では一人称"nǐn (khâa)"を使用する。

さらに、二人称と文末表現に関しては、カラスと呼ばれる少年と同じように二人称 "un ($k\epsilon\epsilon$)"と文末表現 " 2ϵ ($w\acute{a}$)"を使用する。原作のオオツカは例文 I に見られる「ついちゃ」や例文 K に見られる二人称代名詞「あんた」など、ぞんざいな言葉を使用するので、このキャラクターの場合は原作とタイ語訳本でのイメージがかなり近いと思われる。

2.4 ミミの発話分析

一人称: ฉัน (ch ǎ n) 二人称: คุณ (khun) 文末表現: ค่า (khâa)

最後に取り上げるキャラクターはミミという猫である。以下にこのキャラクターの発話例 を示す。

M) 原文:「私のことはミミと呼んでください。『ラ・ボエーム』のミミです。歌にも歌われています。〈我が名はミミ〉です」(K1-159-15)

訳文:"ได้โปรดเรียก<u>ฉัน</u>ว่ามิมิ มิมิจาก ลา โบเฮม มีเพลงร้องขับขานด้วยนะ 'ซี มิ ชิอามาโน มิมิ' " (ɒ94)

dâaypròot rîak <u>chăn</u> wâa Mimi MiMi càak La Bohème mii phleen róon khàp khăan dûav ná 'Si mi chiamano Mimi'

N) 原文: 「ええ、あそこに見える二階建てのおうちに飼われております。タナベといううちです。ほら、門の中にクリーム色のBMW530 が停まっているでしょう」(K1-160-8)

訳文: "ใช่**ค่า** อยู่บ้านสองชั้น ทางโน้น บ้านของตระกูลทานาเบะ เห็นไหม? บ้านที่มีบีเอ็มดับเบิลยู 530 สีครีม จอดอยู่หน้าบ้าน?" (p95)

chây **khâa** yùu bâan so on chán thaan nóon bâan kho on trakuun Tanabe hĕn máy? bâan thîi mii BMW530 sǐikhriim còot yùu nâa bâan?

0) 原文:「ええと、猫を探しておられるんですわね」とミミは言った。「立ち聞きをしていたんじゃなくて、ここで先ほどからうとうととお昼寝をしておりましたら、たまたま耳にそちらのお話が入ってしまっただけなんですが、たしかゴマちゃんっておっしゃいましたっけね」(K1-161-11)

訳文:"<u>ฉัน</u>ได้ยินมาว่า *คุณ*ตามหาแมว" มิมิกล่าว "<u>ฉัน</u>ไม่ได้แอบฟังนะ อย่าได้เข้าใจเป็นอื่น <u>ฉัน</u>ได้ยินแว่วมาเข้าหูในตอนที่*คุณ*คุยกับไอ้เด็กปึกตัวนี้ โงมะ ชื่อของแมวตัวนั้นสินะ?" (p95)

"chăn dâyyin maa wâa *khun* taam hăa mɛɛw" Mimi klàaw "chăn mây dâay ὲερ faŋ náy yàa dâay khâwcay pen ùun chăn dâyyin wε̂εw maa khâw hǔu nay tɔɔn thîi *khun* khuy kàp âi dèk pùk tua níi Goma chûu khɔɔŋ mɛɛw tua nán sì ná"

ミミというキャラクターは原作で基本的に尊敬語、謙譲語を使用し、上品なイメージを与えるのに対して、タイ語訳本においてはそこまで上品なイメージを与えない。タイ語訳本のミミはカラスと呼ばれる少年と同じように一人称 "ฉัน (chǎn)" を使用する。前述したとおり、一人称 "ฉัน (chǎn)" は男女でも使用できる言葉なので、訳本のミミは特にお嬢様のイメージを持っていない。

二人称代名詞 "คุณ (khun)" を使用するところはナカタと同じで、丁寧な感じを出している。タイ語は日本語のように尊敬語・謙譲語の使い分けがなく、基本的に丁寧語しかないので、ナカタとミミの言葉遣いは同等の丁寧さを持っていると思われる。

また、タイ語訳本のミミは例文 N に丁寧さを表す文末表現"ค่า (khâa)"を使用する。タイ語では文末に"ค่ะ (khâ)"をつけると丁寧な言い方になり、"ค่า (khâa)"はその長音である。"ค่ะ (khâ)"と"ค่า (khâa)"は同じ用法を持つが、ミミが使用する"ค่า (khâa)"のほうが軽いおよび明るい感じを与える。だが、ミミの全部の台詞の中で "ค่า (khâa)"が4箇所しか現れない。文末表現の使用から考えると、やはり原作のミミのほうが上品なイメージが強い。もしミミが女性の丁寧な一人称 "ゐฉัน (dichǎn)"と女性専用文末表現"ค่ะ (khâ)"をもっと使用すれば、原作により近い上品なイメージを出すことができるではないだろうかと考える。

3. まとめ

本稿では、小説『海辺のカフカ』の四人の登場人物の発話を分析した。分析対象の登場 人物の言葉遣いを以下の表1にまとめた。

【表 1】

キャラクター	一人称	二人称	文末表現	訳本でのイメージ
ナカタ	ผม (ph ŏ m), ,	คุณ (khun)	ครับ (khráp)	丁寧
	นาคาตะ (ナカタ)			
カラスと呼ばれ	ฉัน (ch ă n)	แก (kɛɛ)	າະ (wá) າ່ະ (wâ)	少し荒っぽい

る少年				
オオツカ	ข้า (khâa)	แก (kɛɛ)	າະ (wá) າ່ະ (wâ)	かなり荒っぽい
33	ฉัน (ch ă n)	คุณ (khun)	ค่า (khâa)	上品ではない
				普通に丁寧

タイ語版は英語版から重訳されたため、翻訳者は恐らく自分で英語版からキャラクターを解釈してそれぞれのキャラクターの口調、丁寧さなどを決めただろう。その結果、タイ語訳本にはナカタやオオツカのように原作に近いイメージを与えるキャラクターもいれば、カラスと呼ばれる少年やミミのように原作のイメージと違うキャラクターもいる。

今後の課題として、英語訳本も含めて役割語について検討していきたい。

参考文献

金水敏(編)(2014)『〈役割語〉小事典』東京:研究社.

参考資料

村上春樹(2002)『海辺のカフカ(上)』東京:新潮社. 村上春樹(2002)『海辺のカフカ(下)』東京:新潮社.

Murakami Haruki (2005) *Kafka on the Shore.* Translated by Gabriel Philip. Vintage International.

Murakami Haruki (2013) *Kafka on the Shore: Kafka Wila Nakata.* Translated by Wechsawat Noppadon. Gamme Magie.

検索サイト

Office of the Royal Society (タイの学士院) のオンライン辞典 http://www.royin.go.th/dictionary/

『海辺のカフカ』の原書とポーランド語翻訳書との比較・対照

トマシュ ヴォイチェホヴィッチ Tomasz Wojciechowicz

(大阪大学大学院文学研究科)

1. 初めに

本稿は、金水敏氏が担当している「村上春樹翻訳調査プロジェクト」の報告書である。プロジェクトの目的は、村上春樹著『海辺のカフカ』を主たる対象とし、その原書と各国語による翻訳書との比較・対照を通じ、キャラクターの話し方が役割語・キャラクター言語研究の観点からいかに翻訳されているかを調査することにある。

役割語とい概念は金水(2003)によって初めて提唱されているものであり、その定義は以下の通りである。

ある特定の言葉遣い(語彙・語法・言い回し・イントネーション等)を聞くと特定の人物像(年齢、性別、職業、階層、時代、容姿・風貌、性格等)を思い浮かべることができるとき、あるいはある特定の人物像を提示されると、その人物がいかにも使用しそうな言葉遣いを思い浮かべることができるとき、その言葉遣いを「役割語」と呼ぶ。(金水 2003: 205)

すなわち、役割語はフィクションの中に登場する特定のキャラクターの属性・ステレオタイプを効果的に描写する為に使用される言語資源である。

キャラクター言語というものは役割語と類似した概念であるが、次のようなパターンで特徴付けられる。①未だ言語共同体の中で広く共有されていない話し方、②本来の社会的・文化的グループには属さないキャラクターに適用されている話し方、③キャラクターの個性を表現する話し方、④キャラクターの物語上の役割から割り当てられた話し方(金水 2015: 7-8)。

しかし、日本語に観察される役割語とキャラクター言語の表現手段は必ずしも他の言語と同じ訳ではない。人物像を構築する為に使用可能な言語資源はそれぞれの言語によって異なる。フィクションを翻訳する際、起点言語(原語)と目標言語(訳語)との間で体系的な差異がある故に、キャラクターの属性や個性を忠実に再現する為にどうすれば良いかという問題は必然的に生じてくる。

そこで本稿では『海辺のカフカ』のポーランド語翻訳書を中心にし、二人の登場人物——ナカタとミミ——による発話の翻訳の仕方を分析しようと思う。

2. 資料と方法

調査資料として以下のものを採用する。

● 原書…村上春樹著『海辺のカフカ』上巻・下巻(新潮文庫/2005 年刊)。

● ポーランド語翻訳書…Anna Zielińska-Elliott (アンナ・ジェリニスカ=エリオット) により日本語から直接翻訳された『Kafka nad morzem』(カフカ・ナド・モジェム) のペーパーバック版 (MUZA/2016 年刊) と電子書籍版 (MUZA/2011 年刊) を併用した¹。いずれの版でも、上下巻が一冊にまとめられている。

本調査では、原書と翻訳書に登場するナカタとミミによる台詞を全て収集し、その中から役割語的、キャラクター言語的な特徴付けを抽出し、原語(日本語)と訳語(ポーランド語)の対照分析を行う。

3. 用例の示し方

本稿で用例を示す際には下記の方針を立てた。先ず、原書の用例を挙げ、その下にそれに相当する翻訳書の用例を挙げる。また、隅付き括弧内(【】)に用例の場所を表示する。【出典略称 $_{
m iii}$ 一頁番号】という形式を用いる。「出典略称 $_{
m iii}$ 」というのは、原書『海辺のカフカ』上巻の場合には「 $K1_{
m JA}$ 」、原書『海辺のカフカ』下巻の場合には「 $K2_{
m JA}$ 」、ポーランド語翻訳書『Kafka nad morzem』の場合には「 $K_{
m PL}$ 」となる。翻訳書のペーパーバック版と電子書籍版の頁番号も両方示す。

なお、ポーランド語翻訳書の例文の下にはその単語毎に逐次訳(所謂グロス)も付す。文法 用語を略号で表示する。(略号は本稿の末にある凡例で説明されている。)分析的文法形式を亀 甲括弧([])に囲んで示し、その中に割り込むものから山括弧()()で区切る。

4. ナカタの発話特徴の分析と考察

ナカタという人物は小説に登場する主人公の一人であり、学生の頃事故に遭い、記憶や読み書きなどの知的能力と性欲を喪失し、永遠の幼児のまま老年期に入った。その代わりに、猫と話せる能力を獲得した。精神分析の観点から、ナカタが主人公たる田村カフカの無意識過程を表わしている存在である(酒井 2011: 135)とされている。

それ故に、ナカタの話し方は普通の人とかなり異なる。その特徴を「未熟性と無教育」及び「丁寧さ」の二つの観点から見ておこう。

4.1. 未熟性と無教育

4.1.1. 自称

4.1.1.1. 一般的な用い方

ナカタは一人称として代名詞ではなく自分の名字を使用しており、「ナカタは~であります」、「ナカタは~いたします」といった特徴的な話し方をしている。ポーランド語翻訳においても ナカタがするこの特徴的話し方が忠実に保たれている。例えば、

¹ それらの間に不一致が生ずる場合、ペーパーバック版を優先する。

(1) はい。 $\underline{t b g}$ もだいたいそのように考えております【 $K1_{JA}$ -100】 Tak, Nakata też tak myśl \underline{i} . 【 K_{PL} -69/36】 「 k_{PL} -69/36】 「 k_{PL} -69/36】 「 k_{PL} -69/36】

屈折語であるポーランド語においては人称代名詞が格・数・性により曲用し、動詞には態・法・時制・人称・数・性による活用が見られる²。名詞は特定の性を持っており、格・数により曲用する。その為に、述語(動詞)は数と人称と(一部の形にのみ)性においてその主語(名詞か代名詞)と一致せねばならない(石井 2016: 142)。上記の例文に見られる通り、主語「Nakata」が単数男性名詞であるから、述語を三人称単数に活用させないと文が成り立たない(「myśleć」(不定詞=辞書形) \rightarrow 「myśli」(三人称単数形))。

また、日本語にも一部見られるように、ポーランド語の文では主語に立つ人称代名詞が常に 省略される。なぜならば、人称が述語動詞の活用語尾で分かるので、更に人称代名詞を加える 必要は殊にないからである。文中に主語を置くとその主語が強調されてしまうという点でもポ ーランド語は日本語と類似している。なお、石井(2016)が指摘した通り、文脈から分かる場 合には主語(人称代名詞でも名詞でも)が省かれることがある点も珍しくはない(p. 144–145)。

『海辺のカフカ』の別のキャラクターの台詞に一旦目を向けると、上記に合致した用例がすぐ見付かる。下記の用例はミミというキャラクターの台詞の引用である。

(2) <u>わたくし</u>は、独立独歩と申しますか、かなり個人的な性格の猫ですので、あまりむ やみに余計な口出しはしたくありません。【 $K1_{JA}$ -160】

kotka Jestem chodzącą własnymi 助動.能.直.現.一.単「雌猫」.名.女.具.単「歩く」.形分.能.現.未.女.具.単「自分自身の」.形.女.具.複 ${f z}$ natury indywidualistka 「道」、名.女.具.複 根拠.置「自然」、名.女.属.単「個人主義者」、名.女.具.単 添加.接 否定.助 do niczego niepotrzebnie sie「好く」.動.能.直.現.未.一.単 帰〔再帰.助〈 目的.置「何も」.代名.中.属.単「必要無く」.副.原 $[K_{PL}-107/56]$ wtrącać.

〉「世話を焼く」.動.不定.未〕

ここに特別に人称代名詞を含む日本語の用例と、人称代名詞を欠くポーランド語の用例を挙げた。上記の用例がミミの自己紹介の一部に当たり、ポーランド語では自己紹介として「jestem

_

² 厳密に言えば、性により屈折するのは、代名詞の場合、三人称代名詞(「on/ona/ono」(=彼 / 彼女/それ))に、動詞の場合、〈ア〉能動態と再帰態の直接法の過去時称(例 「robilem / robilam / —」(=(我が)した)、「robileś / robilaś / —」(=(汝が)した)、「robil[-②] / robila / robilo」(=(彼/彼女/それが)した))と〈イ〉大過去時称(例 「robil[-②] byl[-②] / robila byla / robilo bylo」(=(彼/彼女/それが)より以前した))と〈ウ〉複合未来時称(例 「będę robil[-②] / będę robila / —」(=(我が)しよう))、〈エ〉能動態と再帰態の仮定法の現在時称(例 「robil[-②-]byś / robilabyś / —」(=(汝が)するだろう))と〈オ〉過去時称「byl[-②-]by robil-② / bylaby robila / byloby robilo」(=(彼/彼女/それが)しただろう))、〈カ〉受動態の全形、に限られる。

~」(=~です)、「nazywam się ~」(=~と申します)などといった、一人称代名詞「ja」の無い形式がよく用いられる。日本語ではここに一人称代名詞を入れても問題が無いが、ポーランド語では「ja」を使えば尊大に聞こえる。つまり、ポーランド語では特に必要が無ければ主語に立つ人称代名詞を省略した方が寧ろ自然な文になる。

しかし、ナカタはもしナカタ自身が主語であれば、たとえ日本語の原文に主語が省略されているとしても、その主語を省かず発する。例えば、

(3) いやいや、朝の6時過ぎからずっと歩いておりました【K1_{JA}-93】
Ojej, <u>Nakata</u> jest od
「おや」.感「ナカタ」.名.男人.主.単「居る」.動.能.直.現.未.三.単 起点.置
szóstej rano na nogach. 【KpL-64/34】

「六(時)」、数.属.単.女「朝」.副 方法.置「足」.名.女.具.複

通常のポーランド語文は「Ojej, jestem od szóstej rano na nogach」となる。ここの文脈では自分自身を強調する必要が無ければ別に「ja」を言わなくても文意は通ずる(言わない方が自然である)。しかしながら、ナカタが発言したこの台詞の場合には主語「Nakata」を省略したらその主語が分からなくなったり、話の流れがおかしくなったりする恐れもある。それに対して、該当する日本語文では主語を補わなくても意味が通ずる。

言うまでも無く、主語「Nakata」を省略しても意味が通ずるポーランド語の用例もしばしば見られる。例えば、

(4) 申し訳ありませんが、ナカタは眠りたいと思います。ひどく眠いのです。ここでこのまま眠り込んでしまいそうなくらいであります【K2_{JA}-6】

Nakata najmocniej przeprasza, ale 「ナカタ」.名.男人.主.単「最も強く」.副.最「詫びる」.動.能.直.現.未.三.単 逆接.接 chce spać. Jest strasznie

「欲する」.動.能.直.現.未.三.単「眠る」.動.不定.能.未 助動.能.直.現.三.単「酷く」.副.原

śpiacy. Tak że prawie mógł[-Ø-]by

「眠る」形分能現未男人主単「そう」、代副 程度接「もう少しで」副「出来る」動能仮現未男人三単

tu na miejscu usnąć. [K_{PL}-310/164]

「ここ」.代副 位置.置「場」.名.中.具.単「眠りに就く」.動.不定.能.既

主語「Nakata」が最初の文に出現するが、後に来る二つの文に再び発しなくても文意は通ずる(発しない方が自然である)。但し、ナカタの台詞に於ける「ナカタ」/「Nakata」の使用頻度に関しては(453 語数対 565 語数)、やはり日本語の原文の方は主語省略が多いようである。

さて、以上述べたナカタの話し方の特徴はポーランド語においていかに位置付けられるのか。

自分の事を三人称で呼ぶという現象は「illeism (イリイズム)」³と呼ばれている(Zwicky 2008; Lovrić 2011: 113)。

日本語では自分のことを自分の名前で呼んでいるのは、主に幼児や未成年の女性であり、一般の成人や老人でこういう言い方をする人は極めて少ない⁴。

ポーランド語におけるイリイズムの使用に関する研究が見付からなかったが、ポーランド語と同じくスラヴ語派に属するクロアチア語ではイリイズムが一般的に以下の如く用いられている(Lovrić 2011: 113–114)。ポーランド語にも類似した使い方があると思われる5。

- 一. 皮肉・冗談めいた言葉。
- 二. 自己陶酔的言葉。殊に芸能人や政治家やスポーツ選手などの公人によって自分の名前・ 愛称を覚えてもらいたい時や自分自身に注意を引きたい時にしばしば用いられる。
- 三. 親子の言葉。幼児は常に自分の下の名前・愛称・綽名を自称詞として使用する。両親は幼児に話し掛ける時に自分のことを「tata」(=お父さん)、「mama」(=お母さん)、「tatuś」 (=お父ちゃん)、「mamusia」(=お母ちゃん) 6などのような親族名称で呼ぶ。英語 (Zwicky 2008) や日本語などでもこういう現象が見られる。Zwicky (2008) が指摘した通り、幼児によるイリイズムの使用の原因は一人称・二人称代名詞を文脈毎に交代させねばならぬことは幼児に取って理解困難であることにあろう。同時に幼児の認知的負担を減らす為に親が子に対して使う親族名称も影響を及ぼしているとも述べている。

以上をまとめると、クロアチア語においてもポーランド語においても自分自身を自分の名前で呼ぶ事は一般的ではない。親子の間ではしばしば見られることはあるが、成人の男女はそういう言い方を特定の場合以外に基本的にはしない。もし成人が日常場面で常にこういう風に話そうとしたら、子供っぽい或いは低能者だと思われる恐れもある。

言語能力の発達が遅れている子供たち――自閉症などの発達障害のある子供たち――の発言には言語の標準から数多くのずれが見られる。その内、文法的に複雑な文を産出できないこと、イリイズムや屈折する語の基本形(動詞の不定詞、名詞などの単数主格形)の多用などが特徴的な事柄として挙げられる(Bigas 2012)。Wilkoń (2000) はこういった言語を「psycholect (心理方言)」と呼んでおり、それについて次の通り述べている。

心理方言は、言語話者の精神状態又は心身状態をはっきり表出させる言語変種のことを言う。狭義では、精神分裂病などといったような病状を言語に直接反映させる言語変種を指し示す。(Wilkoń 2000: 87, 執筆者訳)

〈中略〉

これに関する研究は未だ少ないが、特定の疾患に苦しむ人による発話生成の典型的な

³ ラテン語での三人称代名詞「ille」(=彼)から来ている。

⁴ 日本の自衛隊には自分のことを自分の名字で呼ぶ習慣がある。

⁵ Lovrić 氏が述べていないもう一つのイリイズムの使い方がある。書き言葉では、学問的文書や事務的文書などの書き手が客観性を与える爲に自分を指す時に三人称で書くということが日本語やポーランド語によく見られる(例 「発表者」、「autor niniejszej pracy」(=本稿の執筆者))。

⁶ ここに挙げたのはクロアチア語の用例ではなくポーランド語の用例である。

手段を示唆することによって興味深い現象を概説している。〈中略〉多くの言語障害、コミュニケーション障害、読み書き障害などには相互に絡み合う種々の原因があるのである。(同書: 103、執筆者訳)

無論、ナカタという人物が発達障害で苦しんでいる人物だとまでは断言できない。本来正常に発達していた子であり、良い成績を取っていた学生であったらしいが、事故が起こった後、その正常な発達が止められてしまい(知的発達は逆方向の変化をしてしまい)、ナカタは大人にな成り損なって精神的に子供のまま人生を送っていたと言えよう。

酒井(2011)では、

ナカタさんには通常人が感じるような願望がなく、また文字が読めず、恐怖や怒りや 憎しみなどの人間の持つ自然な感情もほとんどない人物として描かれている。

〈中略〉

ナカタさんは空っぽであり、それ故いろいろなものがその中を通ることができた。その意味では憑代、今風に言うならチャネラー、だったのでしょう。神の降りる入れ物、 憑代でした(酒井 2011: 136–137)

と述べられている。ユングの分析心理学の用語を借りると、ナカタは個性化7を遂げることの 出来ないpuer aeternus (プエル・アイテルヌス) (=永遠の少年) という原型を象徴している。 成人になれない「永遠の少年」は創造性が豊かで純真無垢である反面、無邪気で未熟であると 言われている。

言語的には、ナカタが「永遠の少年」であることの一つの現れは自称詞としての自分の名前を使用することであろう。従って、翻訳者がナカタの自称詞を(出来る限り)忠実に日本語から訳したことによってナカタの「子供らしさ」や「精神的未熟さ」はポーランド語翻訳書『Kafka nad morzem』でも非常によく伝えられていると考えられる。

ナカタの未熟さ(未発達性)はそれ以外にもこのキャラクター言語に見られるが、これについては後に述べたいと思う。

4.1.1.2. 例外

ナカタは一人称代名詞や動詞の一人称形を一切使用しない訳ではない。それについて本節では触れておく。

ナカタが自分と他の人物をまとめて指す時には一人称複数代名詞を用いる。例えば、

⁷ 個性化とは、「一般には、個性を形成し、分化する過程であり、特別には、一般的な集合的 心理(collective psychology)から切り離れた存在としての心理的個人の発達である」(Jung 1921: 757)。

(5) はい。しかしもしそうだとしても、少なくとも<u>私たち</u>は同じ夢を見ていることになります【K2_{JA}-180】

Tak.Alejeślitakjest,toprzynajmniej「はい」.感逆接.接条件.接「そう」.代副「在る」.能.直.現.三.単帰結.接「少なくとも」.副śnisięnamobu.【KPL-416/221】帰〔「夢見る」.動.直.現.未.三.単再帰.助〕「我」.代名.与.複「双方」.数.与.複

上記の日本語の例文でもポーランド語の例文でも、ナカタは自分と星野さんを同じ動作の行 為者としてまとめて指している。

一人称複数代名詞を省いて動詞の一人称複数形のみを用いることも出来る。例えば、

(6) はい。橋をわたって参りました。〈後略〉【K2_{JA}-321】

Tak. Przejechaliśmy przez most. 〈後略〉【 K_{PL} -500/270】 「はい」.感「渡る」.動.能.直.去.既.男人.一.複 通過.置「橋」.名.男無.対.単

命令法の一人称複数形 (=勧誘の意味) の用例もある。

(7) それでは河原を探しに行きましょう【 $K2_{JA}$ -366】

To chodź<u>my</u> poszukać miejsca nad 帰結.接「行く」.動.能.令.未.一.複「探す」.動.不定.能.既「場所」.名.中.属.単 前方.置 rzeką. 【 K_{PL} -526/284】 「川」.名.女.具.単

次に、ナカタによる動詞の一人称単数形の用例を幾つか挙げる。

(8) はい。すみません。やはり見覚えはありません【 $K1_{JA}$ -263】

 Nie.
 Przepraszam.
 Nakata
 nie

 「いや」.感「謝る」.動.能.直.現.未.一.単「ナカタ」.名.男人.主.単 否定.助

 przypomina
 sobie.
 【K_{PL}-170/89】

 「見覚える」.動.能.直.現.未.三.単「自分」.代名.与

(9) 〈前略〉だから誰にも言わないでください。〈後略〉【K1_{JA}-97】

(10) ありがとうございます。〈後略〉【K2_{JA}-204】

 Bardzo
 dziękuję.
 〈後略〉【Kpl-430/231】

 「とても」.副.原「感謝する」.動.能.直.現.未.一.単

(11) はい。なんでしょう?【K2_{JA}-287】

Tak, słucham? $(K_{PL}$ -480/259) 「はい」.感「聞く」.動.能.直.現.未.一.単

(12) お忙しいところをなんですが、あそこの門にかかっております看板には、なんと書いてありますでしょうか?【 $K2_{JA}$ -298】

 Przepraszam,
 że
 przeszkadzam,
 ale

 「謝る」.動.能.直.現.未.一.単 補節導入.接「邪魔する」.動.能.直.現.未.一.単 逆接.接
 co
 jest
 napisane
 na

 「何」.代名.中.主.単 受 [助動.直.現.未.三.単「書かれる」.形分.受.去.既.中.主.単」 位置.置
 tej
 tablicy
 na
 bramie?
 【KPL-486/262】

 「その」.代形.女.属.単「看板」.名.女.属.単 位置.置 「門」.名.女.属.単
 「門」.名.女.属.単
 「門」.名.女.属.単

用例 $(8) \sim (12)$ において出て来る述語動詞は以下の意味を有している。「Przepraszać」 (=謝る)、「prosić」(=願う)、「dziękować」(=感謝する)、「słuchać」(=聞く)、「przeszkadzać」 (=邪魔する)。しかし、一般的には決まり文句を作ることが多い。「Przepraszam」が「済みません」、「proszę+〈不定詞〉」が「~て下さい」、「dziękuję」が「有り難うございます」、「słucham?」 が「何だろう?」、「przepraszam, że przeszkadzam」が「お邪魔します」といった意味を持つ。幼児もこれらの決まり文句を早くから習い始め、三人称単数形(=イリイズム)に変えずにそのまま使用している。

但し、述語動詞「dziękować」の三人称単数形の用例も見られる。

(13) ありがとうございます。〈後略〉【K1_{JA}-92】

Nakata dziękuje bardzo. 〈後略〉 $[K_{PL}$ -64/34] 「ナカタ」、名.男人、主.単「感謝する」、動.能.直.単.現.未.一「とても」、副.原

上記に見られる如く、用例(10)(13)の日本語文が全く同じであるが、ポーランド語文が若干異なっている。(13)では述語動詞「dziękować」が三人称単数形となっており、しかも文が主語名詞「Nakata」に補われている8。意味は、用例(10)と用例(13)とでほとんど差が無いが、仮に日本語に逆翻訳を行うとしたら、前者は「ありがとうございます」、後者は「ナカタは感謝しております」という訳文になろう。

同様に、決まり文句「przepraszać, że przeszkadzać」の三人称単数形の用例もある。

⁸ 副詞「bardzo」の位置も異なっているが、ポーランド語では語順が緩やかである為、語順の変更は意味の変更を伴わず、置かれる焦点のみが変わる。翻訳書においては「Nakata bardzo dziękuje」、「Dziękuję bardzo」という用例も見られる。

(14) ナカタと申します。お邪魔いたします。〈後略〉【K1_{JA}-261】
 Nakata. Nakata tak się
 「ナカタ」、名.男人、主.単「ナカタ」、名.男人、主.単「そう」、代副 帰〔再帰.助 nazywa. <u>że</u>
 「呼称する」、動.直.現.未.三.単〕「謝る」、動.能.直.現.未.三.単 補節導入.接 <u>przeszkadza</u>. 〈後略〉【KpL-168/88】
 「邪魔する」、動.能.直.現.未.三.単

用例(12)と用例(14)とでは意味の違いは全く無い。

ナカタによる一人称単数代名詞の使用は、先ず、何らかの生理的・心理的状態・状況を描写する文に見られる。こうした文では述語動詞が無意志的行為を示して三人称単数形(過去時称、未来時称などは三人称単数中性形)となっており、主体が与格によって表わされている(石井 2016: 165, 183 を参照)。通常のポーランド語においては、発話者が主体であると、その主体が当然一人称代名詞の与格形になる(「ja」 \rightarrow 「mi」)。ナカタはその使い方に従う。例えば、

(15) ゴマちゃんのことでありますが、ようやくひとつ情報が入りました。〈後略〉 【 $K1_{JA}$ -249】

 W
 końcu
 udało
 <u>mi</u>

 位置.置「終結」.名.男無.処.単 帰〔「成功する」.動.直.去.既.中.三.単〈「我」.代名.与.単się zdobyć informację na temat

 う 再帰.助〕「手に入れる」.動.不定.能.既「情報」.名.女.対.単 関係.置「話題」.名.男無.対.単Gomy.

 【KPL-160/84】

 「ゴマ」.名.女.属.単

(16) そのお言葉にさらに甘えるようでありますが、ナカタにはもうひとつお願いがあります【K2JA-261】

Zdaie się, ŻΘ mi 帰〔「気がする」.動.直.現.未.三.単〈「我」.代名.与.単〉 再帰.助〕 補節導入.接 Nakata nadużywa pańskiej 「ナカタ」.名.男人.主.単「乱用する」.動.能.直.現.未.三.単「貴殿の」.形.女.属.単 uprzejmości, ale ma jeszcze jedną 「親切さ」、名.女.属.単 逆接.接「有る」.動.能.直.現.未.三.単「もう」.副「一つ」.数.女.対.単 prośbę. [Kpl-464/249] 「願い」.名.女.対.単

(17) はい。ホシノさんですね。よろしく。ナカタと申します【K1_{JA}-437】
 Tak. Panhoshino. Bardzo <u>mi</u>
 「はい」.感「貴殿」.名.男人.主.単一「星野」.名人.非曲用「とても」.副.原「我」.代名.与.単

miło. Nakata nazywa się 「快く」.副.原「ナカタ」.名.男人.主.単 帰〔「呼称する」.動.直.現.未.三.単 再帰.助〕 $[K_{PL}-277/146]$

「ナカタ」.名.男人.主.単

用例(17)に見られる文は元来心理的状況描写文であったが、後に「宜しくお願いします」 という意を持つ決まり文句になった。

また、主体が複数与格形である用例もある(以上取り上げた用例(5)を参照)。

なお、心理的状況描写文の主体を文頭に置くことも出来る。但し、与格で表わされているそ の主体が人称代名詞であれば、与格形が違ってくる。なぜならば、ポーランド語においては人 称・再帰代名詞の斜格諸形に独立したアクセントを持つ正音形(orthotonic forms)とアクセ ントを持たぬ後倚音形 (enclitic forms) が存在するからである (「ja (我が)」→「mnie/mi (我 に)」、「ty (汝が)」→「ciebie/cie (汝を)」など) (石井 2016: 26, 52 を参照)。ナカタはその 場合に「mnie」を一切用いず、その代わりに自分の名字を採用する。例えば、

(18)はい。申し訳ありませんが、お名前を存じ上げません【K1JA-264】 Nie. <u>Nakacie</u> iest 「いや」.感「ナカタ」.名.男人.与.単「在る」.動.能.直.現.未.三.単「とても」.副.原 przykro, ale nie wie, jak 「不快に」、副.原 逆接.接 否定.助「知る」、動.能.直.現.未.三.単「いかに」、副 帰〔再帰.助〈 $[K_{PL}-170/89]$ nazywa. 「貴殿」.名.男人.主.単〉「呼称する」.動.直.現.未.三.単〕

ここの文は一般人なら寧ろ「jest mi bardzo przykro」と言おう。「Mnie jest bardzo przykro」 という言い方も可能であるが、その場合には主体が強調されてしまう。

ナカタ自身が心理的状況描写文の主体である場合、その主体が三人称代名詞の与格形である 用例も見られる。

それが、ナカタもよく覚えておらんのです。どこかずっと遠いところにいて、べつ のことをしていたような気がします。〈後略〉【K2_{JA}-54】

Tego Nakata nie pamieta. 「それ」、代名.中.属.単「ナカタ」、名.男人.与.単 否定.助「覚える」、動.能.直.現.未.三.単 mu się, 帰〔「気がする」.動.直.現.未.三.単〈「彼」.代名.男人.与.単〉 再帰.助〕 補節導入.接 daleko i był gdzieś bardzo 「在る」.動.能.直.去.未.男人.三.単「どこか」.代副「ずっと」.副.原「遠く」.副.原 添加.接 《後略》【K_{PL}-340/180】 coś innego. 「為る」、動.能直.去.未.男人.三.単「何か」、代名.中.対.単「別の」.形.中.属.単

(20)〈前略〉これ以上うまく目を開けてはいられないのです【K2_{JA}-392】 《前略》 Oczy same <u>mu</u> się 「目」名.中.主.複「自ずから」.代形.中.主.複「彼」.代名.男人.与.単 帰〔再帰.助zamykają. 【K_{PL}-541/293】 「閉じる」.動.直.現.未.中.三.複〕

〈前略〉この半分の用事も済ませられなかったのではないでしょうか【K2JA-394】
 〈前略〉Pewnie nie udałoby <u>mu</u>
 「きっと」.副.原 否定.助 帰 〔成功する」.動.仮.現.既.中.三.単〈「彼」.代名.男人.与.単
 się załatwić nawet połowy. 【K_{PL}-542/293】
 〉 再帰.助〕「用事を済ませる」.動.不定.能.既 程度.助「半分」.名.女.属.単

用例(15)~(17)と用例(19)~(21)を比した結果、以下のことが分かった。心理的 状況描写文の前に来る文では「Nakata」という主語が出現したら、心理的状況描写文の三人 称代名詞の与格形になりやすい。それに対して、心理的状況描写文の方が最初に来たら、その 主体が一人称代名詞の与格形になりやすい。

無論、上記は心理的状況描写文がポーランド語の特徴である。用例(15)~(21)の日本語文を見ると、日本語での異なる種類の文がポーランド語に心理的状況描写文として訳されたということが明らかである。ポーランド語訳では心理的状況描写文の主体を必ず示さねばならないが、該当する日本語の文では必要に応じて主体が省かれたり補われたりする。

最後に、ナカタらしからぬ話し方の例を幾つか挙げよう。

(22) 〈前略〉そろそろナカタも起きなくてはならないころです。気になさらないでください。 焚付けは済ませておきました【K2_{JA}-247】

(前略) Nakata powinien był 「ナカタ」.名.男人.与.単「義務のある」.形.男人.主.単 助動.能.直.去.男人.三.単

obudzić.

「既に」.助「そろそろ」.副.原帰[再帰.助「気がする」.動.不定.既]

sie

Prosz<u>e</u> sobie tego nie

「願う」.動.能.直.現.未.一.単「自分」.代名.与「それ」.代名.中.与.単 否定.助

brać do serca. Rozpalił<u>em</u>

「持ち込む」.動.不定.能.未 目的.位置「心」.名.中.属.単「焚く」.能.直.去.既.男人.一.単

ogień. (K_{PL}-456/245)

niedługo

「火」.名.男無.対.単

już

(23) ナカタにはお話があります〈中略〉石についてのお話であります。 入り $\hat{1}$ の石についてお話ししたいのです【 $K2_{JA}$ -337】

 Nakata
 ma
 coś
 do

 「ナカタ」、名、男人、与、単「有る」、動、能・直、現、未、三、単「何か」、代名、中、対、単目的、置

〈中略〉 powiedzenia. Cosdo 「伝えること」.名分.既.中.属.単 「何か」.代名.中.対.単 目的.置 Kamieniu. powiedzenia. o Chce 「伝えること」、名分、既.中.属.単 話題.置 「石」、名.男無.処.単 「欲する」、動.能.直.現.未.一.単 powiedzieć, \cos 「何か」、代名、中、対、単「伝えること」、名分、不定、能、既「何か」、代名、中、対、単 話題、置 $[K_{PL}-509/275]$ kamieniu otwierającym wejście. 「石」、名.男無.処.単「開く」.形分.能.現.未.男無.処.単「入口」、名.中.対.単

- (24)はい。保険証は知事さんにいただいて、鞄の中に大事に持っております【 $K2_{JA}$ -203】 Tak. Dostałem ksiażeczke ubezpieczalni 「はい」.感「貰う」.動.能.直.去.既.男人.一.単「冊子」.名.女.対.単「保険所」.名.女.属.単 od Burmistrza i mam 出所.置「貴殿」.名.男人.属.単「市長」.名.男人.属.単添加.接「持つ」.動.能.直.現.未.一.単 głęboko schowaną torbie. $[K_{PL}-429/230]$ w 「深く」.副.原「隠される」.形分.受.去.既.女.対.単場所.置「鞄」.名.女.処.単
- (25) もし高松市内でそれが見つからなかったなら、たぶん範囲を広げて探すことになる と思います【K2_{JA}-293】

Jeżeli nie znajdziemy tego 条件.接 否定.助「見付ける」.動.能.直.単来.既.一.複 「それ」.代名.中.属.単 場所.置 Takamatsu, myśl<u>e</u>, żе będzi<u>emy</u> 「高松市」、名、非曲用「思う」、動、能、直、現、未、一、単補節導入、接複来〔助動、能、直、一、複 musieli powiększyć zakres 「見付ける」.形分.能.去.未.男人.複〕「拡大する」.動.不定.能.既「範囲」.名.男無.対.単 $(K_{PL}-483/261)$ poszukiwań i dalej szukać. 「捜索」.名.中.属.複 添加.接「更に」.副「探す」.動.不定.能.未

では、なぜ用例(22)~(25)では一人称形が用いられたのか。該当する日本語文において 主語が省略されているからか、翻訳者は主語を補わずにポーランド語に訳す意図を持ったかと いうことであろう。

とは言え、日本語原文で主語が省かれていれば、ポーランド語訳文においても必ずその主語を省略せなばならぬ訳ではない。用例(3)では日本語原文に主語が略されているのに、ポーランド語訳文に主語が補われている。また、用例全体を見ると、前文脈から主語が「Nakata」であることが明確であってもその主語が省かれずに文に出現する場合も少なからずある。

用例(22)を「Nakata rozpalił[-Ø] ogień」、用例(23)を「Jeżeli nie znajdziemy tego w Takamatsu, Nakata myśli, że będziemy musieli powiększyć zakres poszukiwań i dalej szukać.」、用例(24)を「(Nakata) chce coś powiedzieć」、用例(25)を「(Nakata) dostał[-Ø] książeczkę ubezpieczalni od pana Burmistrza」に変えればナカタの通常の喋り方となる。述語動詞「chcieć」、「myśleć」、「dostać」を使った構文は他の用例には見られる。用例(4)と

以下の用例(26)と(27)を参照せよ。

(26) ホシノさんがそうおっしゃるのであれば、ナカタもそれをやってみようと思いま す。いろんな人に尋ねてまわります。〈後略〉【K2_{JA}-55】

Skoro Panhoshino tak uważa.

条件.接「貴殿」.名.男人.主.単一「星野」.名.非曲用「そう」.代副「勘える」.動.能.直.現.未.三.単

to <u>Nakata</u> myśl<u>i,</u> że

帰結.接「ナカタ」.名.男人.主.単「思う」.動.能.直.現.未.三.単 補節導入.接

można spróbować. Popytamy

「可能である」、欠動.直.現「試す」、動.不定.能.既「尋ねる」、動.能.直.単来.既.一.複

różnych ludzi. 〈後略〉 【K_{PL}-341/181】

「色々なる」.形.男人.属.複「人」.名.男人.属.複

(27) この猫さんをこの空き地で見かけたという情報が、あるところからはいりました。 〈後略〉【K1_{JA}-253】

Nakata dostał[-ø] od kogoś

「ナカタ」、名.男人、主.単「貰う」、動.能.直.去.既.男人、三.単 出所.置「誰か」、代名.男人、属.単

informację, że ten Kot

「情報」、名.女.対.単補節導入.接「この」、代形.男有.主.単「猫」、名.男有.主.単

był widziany na

受〔助動.直.去.男有.三.単「見られる」.形分.受.去.未.男有.主.単〕 場所.置

tym placu. 〈後略〉【K_{PL}-163/86】

「この」.代形.男無.処.単「空き地」.名.男無.処.単

それ故に、用例 (22) \sim (25) で一人称形が用いられた理由を報告者は充分に説明出来ない。 但し、こういった用例が二例しか見付からなかったので、用例 (22) \sim (25) はまさしく例外的なものだと言うことも出来るかと思われる。

4.1.2. 幼児語

前節に述べた如く、ナカタが自称詞として自分の名前を使用することに依ってナカタの「子供らしさ」や「精神的未熟性」を読者に伝達することが出来る。しかしながら、他の伝達方法もある。それはナカタによる幼児語の使用である。その用例が二例見付かった。

(28) はい。経験はありませんが、だいたいのところはつかんでおります。 $\frac{35}{100}$ ことでありますね【 $\frac{1}{100}$ 】

Tak. Nakata nie ma w

「はい」.感「ナカタ」.名.男人.主.単 否定.助「有る」.動.能.直.現.未.三.単 範囲.置

tym doświadczenia, ale mniej więcej

「それ」、代名、中、処、単「経験」、名、属、中、単 逆接、接 「少なかれ」、副、比 「多かれ」、副、比

sięorientuje.Chodzio帰〔再帰.助「掴む」動.直.現.未.三.単〕「関連する」.動.能.直.現.未.三.単 話題.置siusiaczka.【KPL-69/36】「おちんちん」.名.男有.対.単

(29) 肩こりもしませんし、毎朝 $\underline{0}$ つつもしっかりと出ます【 $K2_{JA}$ -14】

Nie sztywnieje mu kark i 否定.助「凝る」.動.能.直.現.未.三.単「彼」.代名.男人.与.単「肩」.名.男無.主.単 添加.接 co rano robi jak trzeba 「毎に」.置「朝」.副「為る」.動.能.直.現.未.三.単「そう」.代副「義務がある」.欠動.非活用 kupke. 【KpL-316/167】

「うんこ」.名.対.女.単

日本語の「おちんちん」や「うんこ」もポーランド語の「siusiaczek」や「kupka」も幼児 (や幼児に対する両親)によって用いられる言葉とされている。

語構成的にはポーランド語の「siusiaczek」と「kupka」は同じく幼児語とされている「siusiak」と「kupa」の指少語 (diminutive) 9である。

4.1.3. 未知の語彙

ナカタは一部の知的能力を喪失した故に、それ以降の学校教育を受けられなくなった。その 為に、彼は実際に使用している語彙数が限られている。

日本語原書においては、未知の単語や表現がナカタの台詞に出て来る時にその表記が片仮名となっている。それのみならず、辞書に記載している漢字音とは若干異なった、実際の発音に近い表記も見られる。例えば、「トウメイ(東名)」と「スイゾクカン(水族館)」でなく「トーメイ」と「スイゾッカン」という書き方となっている。こういった表記はナカタの無教育を反映している。

ナカタの無教育をポーランド語で正確に表わすべく何らかの工夫を凝らす必要がある為、翻訳者はナカタが今まで知らない単語や表現の音節の切れ目を通常のものと若干変えた切り方にした。

未知の単語や表現の一覧は以下の【表一】に示している。

⁹ 指少語とは、「会話の中で、ある語によって表わされる対象よりも小さな対象を表わしたり、 対象に対する親愛の気持ちをこめて名指したりするときに」用いられる語である(石井 2016: 207)。「これは、程度の差はあれ男性にも女性にも、老いも若きも、まんべんなく観察できる 一般的傾向で」ある(同書: 207)。指少語は名詞のみならず、形容詞や副詞からも作られる。

【表一】ナカタの知らない単語・表現10

翻訳書に見られる表記	正書法	該当する日本語
teoriifi nansów	teorii finansów	キンユウロン
	[teoria finansów]	,
dyre ktoremde partamentu	dyrektorem departamentu	ブチョウ
	[dyrektor departamentu]	
itochū	Itochū	イトウチユウ
mini sterstwo handlu iprze mysłu	ministerstwo handlu i przemysłu	ツウサンショウ
rentyinwa lidzkiej	renty inwalidzkiej	ホジョ
	[renta inwalidzka]	
infu zjędo żylną	infuzję dożylną	テンテキ
	[infuzja dożylna]	
pry musem	prymusem	シュウサイ
	[prymus]	
specjalną legity mację	specjalną legitymację	とくべつパス
	[specjalna legitymacja]	
sło wnictwo	słownictwo	ゴイ
auto strady Donagoi	autostrady do Nagoyi	トーメイ高速道路
	[autostrada do Nagoyi]	
ma saż	masaż	シアツ
ak farium	akwarium	スイゾッカン
wyna jęty samochód	wynajęty samochód	レンタカー
Biblioteka imie niakōmury	Biblioteka imienia Kōmury	コウムラキネントショカン
bibliotèka pry watna	biblioteka prywatna	シリツの図書館
za możny człowiek	zamożny człowiek	シサンカ
lite ratówiar tystów	literatów i artystów	ブンジンボッカク
	[literaci i artyści]	

ここの特殊表記は発音に影響を及ぼしている。ポーランド語は、原則として次末音節に置かれる強弱アクセントを有している(石井 2016: 11)。単語や表現の音節を通常と異なった切り方にすると、アクセントの位置も必然的に移動してくる。このように、特殊な切り方及びそれに伴うアクセント移動は原書における片仮名表記を表現する手段となっている。

また、「スイゾッカン」と「トーメイ」に該当する表現を見れば、「ak farium」と「Donagoi」という表記となる。音節の切り方だけでなく、表記も正書法と異なる。正書法は「akwarium」

¹⁰ 傍点() はアクセントを示す。角括弧内は相当する表現の引用形(citation form)である。

と「do Nagoyi」となっている。

先ず、前者から述べる。ポーランド語は子音過多の言語であり、個々の子音が前後の音の影響を受けて別の音に変わることが多い。「有声子音は、語末と無声子音の前で、対応の無声子音に変わる」(石井 2016: 20)。「Akwarium」の場合には、本来有声音である /v/ が前の無声音 /k/ の影響で無声音 /f/ に変化した。それにも拘らず、子音の同化は正書法で記されていない。それ故、/ak.'fa.rijum/ と実際に発音しているものの、「akfarium」でなく「akwarium」を書くのが正しいとされている。

次に、後者について述べる。日本語からポーランド語に入った借用語の綴り方はヘボン式であるが、ポーランド語独特の綴り方もある。その為、「名古屋」という地名の場合には「Nagoya」という表記が一般的であるが、「Nagoja」という綴りも許容されている。ポーランド語になるとその女性名詞と同じ曲用パターンになる。そのパターンの一部を以下の【表二】に示す。

【表二】借用語「Nagoya・Nagoja」の曲用表の一部

形	綴り方I	綴り方Ⅱ	発音
単数主格	Nagoya	Nagoja	/na.ˈgo.ja/
単数属格	Nagoyi	Nagoi	/na.ˈgo.i/

表に見られる如く、ナカタの台詞に見られる「Donagoi」という表記はポーランド人にとって馴染み易い綴り方IIに基づいている。ポーランド人の小学生は /nagoi という単語をどう書くかと問われたら、「Nagoi」でなく「Nagoi」と答える可能性が高いと思われる。

以上、日本語翻訳書でもナカタが中等教育を受けていない人物としてのイメージを伝える点について述べた。

4.2. 丁寧さ

ナカタの丁寧さは日本語の動詞の敬語形式を使うことによって表わされているが、ポーランド語ではかかる手段が使えないので、その丁寧さを他の手段を以て表わす必要が生じてくる。

4.2.1. 敬称

日本語版では、ナカタが他人と話す時に、常にその他人の名前の後ろに「~さん」を付ける。 ポーランド語版でも、ナカタが他人の名前に類似した単語を付ける。例えば、

(30) それでは猫<u>さん</u>のことを、オオツカ<u>さん</u>と呼んでよろしいでしょうか?【K1_{JA}-94】

Czy w takim razie Nakata

疑問.助 位置.置「然る」.代形.男無.処.単「場合」.名.男無.処.単「ナカタ」.名.男人.主.単

mógłby nazywać <u>pana</u>

「出来る」、動.能.仮.現.未.男人.三.単「呼称する」.動.不定.能.未「貴殿」.名.男人.対.単

Panemōtsuka? [K_{PL}-65/34]

「貴殿」.名.男人.具.単一「オオツカ」.名.非曲用

ポーランド語では、二人称代名詞「ty」(=汝)、「wy」(=汝ら)の使用は家族や仲間など、遠慮の要らない間柄に限られており、通常はこれらに代わって「pan, panowie」(男性の一般敬称)、「pani, panie」(女性の敬称)、「panicz, panicze」(未婚男性の敬称(稀))、「panna, panny」(未婚女性の敬称(稀))、「państwo」(男女(特に夫婦)の敬称)が用いられる。その際述語動詞は三人称形となる。これらの単語は元々「紳士」「織女」「若旦那」「令嬢」「貴族(である事)」を表わす名詞であったことに依る(石井 2016: 51) 11。

なお、それらの敬称は述語動詞の二人称複数形を取ることも可能であるが、二人以上を指す 敬称の場合には述語動詞が二人称形であっても三人称形であっても許容されるのに対し、一人 を指す敬称の場合には述語動詞が三人称形である時のみこれは標準であり、述語動詞が二人称 形になると敬意度が落ちてくる。

以上述べてきたことを【表三】に示す。

【表三】ポーランド語で用いられる敬称

敬意の相手	敬称	述語動詞の形式	敬称	述語動詞の形式	
	一人		二人以上		
男	pan	(二/)三人称単数(男性)形	panowie	二/三人称複数(男性)形	
未婚男性	panicz	(二/)二八你早剱(力性)///	panicze	一/ 二八个个复数(为注)形	
女	pani	(二/)三人称単数(女性)形	panie	二/三人称複数(女性)形	
未婚女性	panna	(二/)二八你早剱(女性)///	panny	一/二八个份数(女性)形	
男女	×		państwo	二/三人称複数(男性)形	

ナカタが上記の敬称を実際に使った例文を更に挙げる。

(31) これがゴマです、カワムラ<u>さん</u>。〈中略〉野方3丁目のコイズミ<u>さんのおうち</u>に飼われていたのですが、〈中略〉。奥さんが窓を開けたすきに、〈中略〉。それで、もう一度うかがいますが、カワムラ<u>さん</u>は、この猫をお見かけになったことがあるんですね?【 $K1_{JA}$ -155】

To jest Goma,

「これ」、代名.中.主.単 助動.能.直.現.三.単「ゴマ」、名.主.女.単

現代ポーランド語では他の印欧諸語と異なり、所謂 T-V distinction(二人称代名詞における親称・敬称の区別)が殆ど衰退している。古代ポーランド語では T-V distinction が一般的だった。(例えば、「wy, panie」(=汝よ、貴殿よ)、「wy, ojcze」(=汝よ、父上よ)、「wy, matko」(=汝よ、母上よ)。)しかし、「pan」等が広まったことに伴い、「wy」の敬称としての使用頻度が下がった。ポーランド人民共和国の時代には敬称の「wy」の使用が(ブルジョワっぽいとされている「pan」等の代わりに)共産党によって奨励されていたが、共産党が政権を失った後その使用も標準語に於いて行われなくなった。現在、田舎の諸方言や軍事言葉に於いて未だ残っている。

Paniekawamura. 〈中略〉 Należała

「貴殿」、名.男人、呼.単一「カワムラ」、名.非曲用 「所有される」、動.能.直.去.未.女.三.単

do <u>Państwa</u>koizumi pod numerem

所有者.置「夫婦」.名.中.属.単一「コイズミ」.名.非曲用 位置.置「番号」.名.男無.処.単

trzecim w Nogata 〈中略〉.

「第三」.数.処.単.男 場所.置「野方」.名.非曲用

Panikoizumi otworzyła okno,

「貴女」名.女.主.単一「コイズミ」.名.非曲用「開ける」.動.能.直.去.既.女.三.単「窓」.名.中.対.単 〈中略〉. Dlatego Nakata pyta jeszcze

理由.接 「ナカタ」.名.男人.主.単「尋ねる」.動.能.直.現.未.三.単「もう」.副

raz: czy widział $[-\underline{\emptyset}]$ pan

「一度」.名.男無.主.単 疑問.助「見掛ける」.動.能.直.去.未.男人.三.単「貴殿」.名.男人.具.単

tego Kota? $[K_{PL}-105/55]$

「この」.代形.男有.対.単「猫」.名.男有.対.単

(32) お会いできてなによりです、ミミ<u>さん</u>【K1_{JA}-160】

Nakata jest naprawdę zaszczycony,

「ナカタ」、名男人主単受〔助動.直.現三単 | 「誠に」.副 | 「敬われる」.形分.受.去.既.男人.主.複〕

Pannomimi. [K_{PL}-107/56]

「お嬢様」、名.女.呼.単一「ミミ」、名.非曲用

(33) ほんとうにありがとうございました。オオツカ<u>さん</u>の<u>ご</u>意見はナカタにはまことに 貴重なものでありました。〈後略〉【 $K1_{JA}$ -108】

Naprawdę Nakata bardzo <u>panu</u>

「誠に」.副 「ナカタ」.名.男人.主.単「非常に」.副.原「貴殿」.名.男人.与.単

dziękuje. Bardzo sobie

「感謝する」.動.能.直.現.未.三.単「非常に」.副.原「自分」.代名.与

ceni <u>pańska</u> opinię. 〈後略〉【K_{PL}-73/39】

「貴ぶ」.動.能.直.現.未.三.単「貴殿の」.形.女.属.単「意見」.名.女.対.単

用例(31)は様々な敬称が見られる一つの発言であり、ナカタの丁寧さをよく表わしている。 標準でない〈「pan」等+二人称単数形〉という組み合わせは、一例も無かった。その理由は、 この組み合わせがややぞんざいに聞こえる場合も少なくなく、常に丁寧であるナカタのイメー ジに全く似合わないからなのではないかと思われる。

用例(32)は「panna」を用いた例である。現代ポーランド語では「panna」を実際に使うのは原則として老人であり、若者には一般的に使用されない形式である。「Panicz」という単語は「panna」より少なく使用されており、ナカタが発した例中には一例も見付からなかった。(小説に出て来る、若き男性である星野という人物のことを指す時にナカタは「panicz」ではなく「pan」の方を使用している。)

用例(33)と既出の用例(16)では、(改めて下記に挙げる)

(16) その $<u>お</u>言葉にさらに甘えるようでありますが、ナカタにはもうひとつお願いがあります【<math>K2_{JA}$ -261】

 Zdaje
 mi
 się, że

 帰〔「気がする」.動.直.現.未.三.単〈「我」.代名.与.単〉 再帰.助〕 補節導入.接

 Nakata
 nadużywa
 pańskiej

 「ナカタ」.名.男人.主.単「乱用する」.動.能.直.現.未.三.単「貴殿の」.形.女.属.単

 uprzejmości,
 ale
 ma
 jeszcze jedną

 「親切さ」.名.女.属.単 逆接.接「有る」.動.能.直.現.未.三.単「もう」.副「一つ」.数.女.対.単

 prośbę.
 【KPL-464/249】

 「願い」.名.女.対.単

名詞「pan」に由来する所有形容詞「pański」も見られる¹²。(それらの二例のみが見付かった。)相手を敬う為に相手の物や行為に付く所有形容詞である。

なお、ここに触れておかないといけないことが一つある。ナカタが発した〈「pan/pani/…」+敬意すべき相手の名前〉という組み合わせの表記は特殊である。用例 (26) での「Panhoshino」(主格形)、用例 (30) での「Panemōtsuka」(具格形)、用例 (31) での「Paniekawamura」(呼格形)と「Państwakoizumi」(属格形)、用例 (32) での「Pannomimi」(呼格形)の表記は標準的ではない。標準であるのは、夫々「pan Hoshino」、「panem Ōtsuka」、「panie Kawamura」、「państwa Koizumi」、「panno Mimi」である。では何故ナカタの台詞にのみこういった表記が見られるのかと言えば、それは日本語版でナカタが発言した人名が全て片仮名表記となっていることを反映しようとしているからである。印欧文では(ポーランド語を含めて)或る語句を強調・区別したい時には斜体字、太字、若しくは全部大文字にした表記が一般的に採用されるが、それだけではナカタの特殊な言い方がポーランド語版で充分に伝えられなかろうと翻訳者が判断したものと思われる。こういった特殊表記を採用したことによって、発音も異なってくる。「Panhoshino」等が一つの複合単語となり、「pan・」等の部分が本来有したアクセントを失ってしまう。(「pan Hoshino」と「Panhoshino」、「panem Ōtsuka」と「Panemōtsuka」、「panno Mimi」と「Pannomimi」、など13を比べよ。)

4.2.2. 名詞語頭の大文字

前節で述べた如く、ナカタの丁寧さは主に「pan」などの敬称の使用で表わされる。しかしながら、それだけではない。

日本語原書では、ナカタが「~さん」を付けるのは人名を示す固有名詞の後ろのみならず、

¹² 名詞「pani」、「panicz」、「panna」から来ている所有形容詞「paniny」、「paniczowski」、「panieński」もあるが、その用例は一例もなかった。

[「]Hoshino」、「Ōtsuka」という言葉でアクセントを語末からの三つ目の音節に移動したら (「Hoshino」、「Ōtsuka」)、日本語に近い発音になろうが、こういったアクセントは可能であ るものの決して一般的ではない。

尊敬されるべきと思われる動物や非情物の名称を示す普通名詞に「~さん」を後接する例もしばしば見られる。例を以下に示す。(ポーランド語の用例も一緒に挙げる。)

- (34) はい、<u>猫さん</u>の世界ではまったくそのとおりであります【K1_{JA}-96】
 Tak, w świecie <u>Kotów</u> rzeczywiście tak 「はい」.感 場所.接「世界」.名.男無.処.単「猫」.名.男有.属.複「実に」.副 「そう」.代副 jest. 【K_{PL}-66/35】
- (35) 今日は<u>雷さん</u>がやってきます【K2_{JA}-160】

 Dzisiaj będą <u>Pioruny</u>. 【K_{PL}-403/215】
 「今日」.副「在る」.動.能.直.単来.未.三.複「雷」.名.男無.主.複
- (36) 〈前略〉ナカタは<u>エンジンさん</u>とは話ができませんが〈後略〉【K2_{JA}-280】 〈前略〉 Nakata nie umie 「ナカタ」.名.男人.主.単 否定.助「出来る」.動.能.直.現.未.三.単 rozmawiać z <u>Silnikiem</u> 〈後略〉 【K_{PL}-475/256】 「話す」.動.不定.能.未 随伴.置「エンジン」.名.男無.具.単
- (37) 申しわけありませんが、<u>石さん</u>は無口なのです【K2_{JA}-295】

 Nakata najmocniej przeprasza, <u>Kamień</u>
 「ナカタ」.名.男人.主.単「熱心に」.副.最「謝る」.動.能.直.現.未.三.単「石」.名.男無.主.単
 jest małomówny. 【K_{PL}-484/261】
 助動.能.直.現.三.単「無口なる」.形.男無.主.単

日本語文では、いずれも「~さん」が用いられているが、例で挙げたように、該当するポーランド語文では「pan」等が用いられず、その代わりに敬意の対象を大文字から始まる表記が採用されている。ポーランド語の正書法では、常に小文字で書かれている普通名詞はその名詞が示す物事を殊に敬いたい時に大文字で書き始めても良いということになっている。

では、何故これらは「pan」を付けることが出来ないのか。用例(34)では、名詞「Koty」は、特定の猫を指しているのではなく、全ての猫を表わしている。用例(35)に出て来る名詞「Pioruny」は自然現象を表わしており、その前に「panowie」を付けることがその雷を擬人化する場合にのみ自然である。ここの文脈では雷を擬人化する事は小説家の意図するところではないと思われる。用例(36)と用例(37)では、名詞「Silnik」と「Kamień」が指している非情物が出て来るが、ナカタによって或る程度有情物の如く扱われているものの、これらは擬人化を遂げていない。その為、「pan」を付け難い。(とは言え、もし小説ではナカタが「エンジンさん」や「石さん」に向けて何らかの会話をしていたとしたら、「panie Silniku」(=エンジンさんよ)や「panie Kamieniu」(=石さんよ)という呼び掛けなどが可能となってくる。)

4.2.3. 待遇表現

種々の待遇表現を用いる事もナカタの話し方の特徴の一つである。ポーランド語翻訳書にも それらの待遇表現が全て反映される。待遇表現の意味別に代表例を列挙する。(ポーランド語 や英語の待遇表現は統合論的に類似した形式を持っているので、下記の用例でグロスを付す代 わりにポーランド語からの英語訳を追加する。)

① 感謝

(38) どうもありがとうございました。ここまで連れてきていただいて、ナカタはとても助かりました【 $K1_{JA}$ -397】

Nakata <u>bardzo dziękuje</u>. <u>Jest bardzo wdzięczny</u>, że Pantogeguchi aż tu go przywiózł. [K_{PL}-253/133]

Nakata <u>thanks</u> [you] <u>very much</u>. [He] <u>is very grateful</u> that [you,] Mr Tōgeguchi[,] have brought him all the way here.

(39) まことにありがとうございました。こんなにご親切にしていただいて、お札の申し上げようがありません。お二人に良いことがありますように、ナカタは及ばずながらお祈りいたしております【K1_{JA}-395】

Nakata <u>dziękuje najserdeczniej, nie wie, jak dziękować za tyle życzliwości</u>. Życzy paniom wszystkiego dobrego. Nakata <u>będzie się za panie</u> po swojemu <u>skromnie modlił</u>. [K_{PL}-252/132]

Nakata <u>thanks</u> [you] <u>wholeheartedly</u>, [he] <u>does not know how to thank</u> [you] <u>for so much kindness</u>. He wishes [you,] ladies[,] all the best. Nakata <u>will modestly pray for You</u> in his own way.

(40) けっこうです。お巡りさん、ありがとうございました。お手間をとらせました。知事さんによろしくお伝えください【K1_{JA}-355】

Tak. Nakata bardzo panu dziękuje, panie oficerze. Przeprasza, że sprawił kłopot. <u>Prosi o przekazanie</u> panu Burmistrzowi <u>ukłonów</u>. [K_{PL}-226/119]

Yes. Nakata thanks You very much, Mr [Police] Officer. [He] apologises that he has caused trouble. [He] requests to send Mr Mayor his regards.

ナカタは感謝の気持ちを表わす時に一つの発言で幾つかの感謝の言葉を並べる事が多い。

② 謝罪

(41) こんな夜遅くにお邪魔してしまって、申し訳ありませんでした。〈後略〉【K1_{JA}-348】 Nakata najmocniej przeprasza, że przeszkadza o tak późnej porze.〈後略〉

[K_{PL}-222/117]

Nakata apologises most profusely that [he] bothers [you] this late.

(42) はい。申し訳ありませんが、お名前を存じ上げません【K1_{JA}-264】 Nie. Nakacie <u>jest bardzo przykro</u>, ale nie wie, jak się pan nazywa.【K_{PL}-170/89】 No. [It] <u>is most unpleasant</u> to Nakata but [he] does not know how You are called.

③ 依頼・勧誘

- (43) はい。もしそうしていただけたなら、ほんとうにナカタは助かります【K1_{JA}-162】 <u>Gdyby</u> Pannamimi <u>mogła</u>, Nakata <u>byłby bardzo zobowiązany</u>.【K_{PL}-108/57】 <u>If Ms Mimi could</u>, Nakata <u>would be much obliged</u>.
- (44) ホシノさん、海まで歩いて行ってみませんか?【K2_{JA}-254】 Paniehoshino, <u>nie przeszlibyśmy się</u> nad morze?【K_{PL}-460/247】 Mr Hoshino, <u>let's go</u> to the seaside, <u>shall we</u>?

ポーランド語訳の依頼文や勧誘文には仮定法がよく見られる。直説法が可能であるが、仮定法は「動詞の表わす行為を仮のこととして述べるので、直説法を使った言い方よりも婉曲な表現になる」(石井 2016: 83)。

④ 謙遜

- (45) いいえ、いいえ、そんなことおっしゃらないでください。ナカタは自分でなんとかやっていけます【 $K1_{JA}$ -392】
 - Nie ma za co, nie ma za co. Nakata jakoś sam sobie poradzi. [K_{PL}-250/131] Not at all, not at all. Nakata will somehow manage by himself.
- (46) いいえ、ナカタはちっとも迷惑ではありません【K1_{JA}-458】

 Nie, nie, skądże, Panhoshino nie będzie ani trochę przeszkadzał.【K_{PL}-291/153】

 No, no, of course not, Mr Hoshino will not bother [Nakata] a bit.
- (47) お会いできてなによりです、ミミさん【K1_{JA}-160】 Nakata <u>jest naprawdę zaszczycony</u>, Pannomimi.【K_{PL}-107/56】 Nakata <u>is truly honoured</u>, Ms Mimi.
- (48) はい。ホシノさんにはご迷惑をおかけします【K2_{JA}-260】

Tak. Nakata <u>sprawia panu duży kłopot</u>. [K_{PL}-463/249] Yes. Nakata <u>causes You much trouble</u>.

⑤ 許可希求

- (49) ちょっとナカタがさわってみてもよろしいでしょうか?【K2_{JA}-26】 <u>Czy</u> Nakata <u>mógłby</u> dotknąć?【K_{PL}-317/167】 <u>Might</u> Nakata touch [it]?
- (50) すみませんが、ナカタはいくらか疲れたようであります。あまり気分がよくないのです。できたら少し横になって眠りたいのですが【K2_{JA}-202】
 Nakata przeprasza, chyba się zmęczył. Niezbyt dobrze się czuje. <u>Jeżeli można, chciałby</u> się położyć i zasnąć.【K_{PL}-429/230】
 Nakata apologises, [he] must have got tired. [He] is not feeling very well. <u>If possible</u>, [he] <u>would like</u> to lie down and sleep.
- (51) つかぬことをおうかがいしますが【K2_{JA}-256】

 <u>Czy można</u> zapytać o coś innego?【K_{PL}-461/248】

 <u>Is it possible</u> to ask [you] something else?

許可希求文に於いても婉曲の仮定法の使用が多い。

⑥ 確認・同意希求

- (52) ちょっと痛みますが、よろしいでしょうか【K2_{JA}-17】 Trochę zaboli, <u>dobrze</u>?【K_{PL}-318/168】 [It] will hurt a little, <u>OK</u>?
- (53) ナカタには右と左の区別だけはなんとかわかります。つまり、こっちが右で、こっちが左です。違いますでしょうか【K1_{JA}-404】
 Nakata jakoś rozróżnia tylko lewą stronę od prawej. To znaczy, ta jest prawa, a ta lewa. <u>Czy zgadza się</u>?【K_{PL}-257/135】
 Nakata somehow distinguishes only the left side from the right. I mean, this is right, and this [is] left. <u>Correct</u>?
- (54) ホシノさんはじいちゃんが好きなのですね【K2_{JA}-169】 Kochał pan dziadka, <u>prawda</u>?【K_{PL}-410/219】 You loved your grandfather, <u>right</u>?

(55) はい。たぶんそうであろうとナカタも考えます。しかし時間がかかりました。お待たせしすぎたのではないでしょうか?ナカタもナカタなりに急ぎはしたのですが、これが精いっぱいでありました【K2_{JA}-353】

Tak. Nakata też myśli, że tak było. Lecz zajęło to dużo czasu. <u>Czy nie za długo musiała pani czekać?</u> Nakata spieszył się, jak umiał, szybciej nie mógł przyjść. [K_{PL}-519/281]

Yes. Nakata also thinks that [it] was so. But it took [him] a lot of time. <u>Did You have to wait for too long</u>? Nakata hurried as he could; [he] could not come any sooner.

(56) 外国人でもあり、また外国人でもない。ということなのでありましょうか? ${\tt [K1_{JA}-265]}$

Panjohnniewalker jest cudzoziemcem i nie jest cudzoziemcem. <u>Czy o to chodzi?</u> (K_{PL}-171/90)

Mr Johnnie Walker is a foreigner and not a foreigner. Is that the point?

- (57) ホシノさん。ひょっとして腰が痛くありませんか?【K2_{JA}-16】 Paniehoshino, <u>czy przypadkiem nie boli</u> pana w krzyżu?【K_{PL}-317/167】 Mr Hoshino, <u>does</u> [it] <u>hurt you</u> in the back <u>perchance</u>?
- (58) 字が読めなくても、入っていいわけですね【K2_{JA}-316】 Można wejść, nawet jak się nie umie czytać, <u>tak</u>?【K_{PL}-497/268】 [It] is allowed to enter even if [you] do not know how to read, <u>yes</u>?

ナカタはよく他のキャラクターから同意や確認を求めている。知識が乏しい人物であるので確認していることが多いが、確認・同意希求表現をよく用いる理由は他人に対しての思い遣りがあることにもある。

⑦ 共感

- (59) はい。おっしゃるとおり悪くはありません【K1_{JA}-98】

 <u>Tak, rzeczywiście</u> niezłe, <u>ma pan rację</u>.【K_{PL}-67/35】

 <u>Yes, not bad indeed, You are right</u>.
- (60) はい。ナカタもだいたいそのように考えております【K1_{JA}-100】 <u>Tak</u>, Nakata <u>też tak myśli</u>.【K_{PL}-69/36】 <u>Yes</u>, Nakata <u>thinks so as well</u>.

(61) はい。そのとおりであります。そのように申し上げました。ナカタは9歳の時に事故にあったのです【 $K1_{JA}$ -103】

<u>Tak. Zgadza się. Tak jest.</u> Nakata uległ wypadkowi, mając dziewięć lat. [K_{PL}-70/37]

Yes. [It] is correct. [It] is so. Nakata had an accident, being [at an age of] nine years.

(62) それはほんとうによかったです。シアツというのがどういうものなのか、ナカタにはよくわかりませんが、骨というのはとかく大事なものであります【K2_{JA}-20】

<u>To naprawdę bardzo dobrze</u>. Nakata nie wie, co to ma saż, ale kości są dość ważne.【K_{PL}-320/169】

<u>It is truly very good</u>. Nakata does not know what a massage is but the bones are

(63) まことにそのとおりであります【K2_{JA}-300】 <u>Doprawdy tak jest</u>.【K_{PL}-487/263】 Indeed [it] is so.

quite important.

⑧ その他

(64) 実を言いますと、鯖はナカタもずいぶん好きです。もちろんウナギも好きですが 【K1_{JA}-166】

<u>To tell</u> [you] <u>the truth</u>, Nakata also likes mackerel very much. Of course, he also likes eel.

(65) 正直に申し上げますと、かなり痛みます【K2_{JA}-17】 <u>Szczerze mówiąc</u>, *porządnie* zaboli.【K_{PL}-318/168】 <u>Frankly speaking</u>, [it] will hurt *considerably*.

5. ミミの発話特徴の分析と考察

ミミと呼ばれるキャラクターはシャム雌猫である。ミミ曰く、二階建ての家に住んでおり、オペラ好きでクリーム色の BMW530 を持っている飼い主たちに飼われているそうである。こういった裕福な環境で飼われてきたミミは上品で教養のあるお嬢様の如く振る舞う。ミミの名前までもプッチーニのオペラ『ラ・ボエーム』の中の「我が名はミミ」より由来しているらしい。

ミミは決して主人公でなく、小説の第 10・16・18 章にのみ登場しており、しかもその中で 台詞を第 10 章にしか発していない。台詞の数はナカタほどではないが、それにも拘らずミミ の性格はそれで充分に読み取れる。

日本語原書のミミは金水(2003: 135-137)の分類によれば〈お嬢様ことば〉及び〈女ことば〉を採用している。主として――少なくともナカタと話す時に――「わたくし」という自称詞、敬語表現、文末詞「わ・わね・の・のね・かしら」などといった役割語的要素を用いている金水(2014)。

では、ポーランド語訳においては、ミミの性格は言語的にいかに描かれているのか。

5.1. 女性らしさ

日本語では話者が性別によって異なる一・二人称代名詞を使用しているが、ポーランド語では一・二人称代名詞が「ja」(=我)、「ty」(=汝) でしかない。しかし、話者が女性であるか男性であるかを示すことが出来ない訳でもない。それは文法性を以て表示されているのである。それは、自分自身を指す時に、自分の性別に合わせた名詞(やその修飾語)を採用する方法である。例えば、ミミがこういった自己紹介をする。(以下の例文はナカタの話し方の分析した際に挙げたが、ここに改めて挙げる。)

(2) <u>わたくし</u>は、独立独歩と申しますか、かなり個人的な性格の猫ですので、あまりむやみに余計な口出しはしたくありません。【 $K1_{JA}$ -160】

Jestem kotka chodzaca własnymi 助動.能.直.現.一.単「雌猫」.名.女.具.単「歩く」.形分.能.現.未.女.具.単「自分自身の」.形.女.具.複 indywidualistka ${f z}$ natury 「道」、名.女.具.複 根拠.置「自然」、名.女.属.単「個人主義者」、名.女.具.単 添加.接 否定.助 lubie siedo niczego niepotrzebnie 「好く」.動.能.直.現.未.一.単 帰〔再帰.助〈 目的.置「何も」.代名.中.属.単「必要無く」.副.原 $[K_{PL}-107/56]$ wtracać.

〉「世話を焼く」.動.不定.未〕

日本語に直訳すると、「自分の道を歩む雌猫であり、根っからの個人主義者の女性で〈後略〉」という文になり、女性名詞が二つ見られる。その他に、女性形に曲用した形容分詞¹⁴も一つ用いられている。(性によって屈折出来る、名詞修飾語たる品詞——形容詞、代形容詞、一部の数詞——を使用すれば、無論、それらをも名詞の性に合わせて曲用しないといけない。)

実は、もしミミが用例(2)で女性形の代わりに男性形を用いてもその文は不自然にならない。なぜならば、ポーランド語の男性形は全称的な言い方であり、女性が特定の場面では――例えば自分の職業のことを述べる時に――男性形を使っても良い。(例えば、「私は教師です」という意味の文は「Jestem nauczycielka」(女性名詞)でも良いし、「Jestem nauczycielem」

79

¹⁴ 形容分詞とは、「動詞から派生して形容詞のような形態と機能を備えた(石井 2016: 91)」 動詞活用形の一種であり、日本語の動詞の連体形に相当する形式である。

(男性名詞)でも良い。その一方で、男性は女性形を一切使うことが出来ない。)だだ、ミミが「Jestem <u>kotem</u> chodząc<u>ym</u> własnymi drogami, z natury <u>indywidualista</u>」という自己紹介をしてしまったら、このキャラクターの女性らしさがなくなることになる。

また、自分自身が行う行動のことを述べる時に述語動詞の性を選択する。但し、性を表示する動詞の形式は全てでなく、直接法過去時称、仮定法などに限られている。

(66) 立ち聞きをしていたんじゃなくて、ここで先ほどからうとうととお昼寝をしておりましたら、〈後略〉【 $K1_{JA}$ -161】

Niepodsłuchiwałam,tylko否定.助「立ち聞きをする」.動.能.直.去.未.一.単.女 逆接.接

drzemał<u>am</u> tu w pobliżu 〈後略〉【K_{PL}-107/57】 「昼寝する」、動、能.直.去.未.女.一.単「ここ」、代副 場所.置「周辺」、名.中.処.単

(67) 〈前略〉わたくしならその空き地には決して近づきません。〈後略〉【 $K1_{JA}$ -171】 〈前略〉 Ja za nic nie

「我」、代名.主.単 交換.置「何も」、代名.中.対.単 否定.助

zbliżył<u>abym</u> się do tego

帰〔「近付く」.動.仮.現.既.女.一.単 再帰.助〕 目的.置「ここ」.代形.男無.属.単

placu. 〈後略〉 【K_{PL}-113/59】

「空き地」.名.男無.属.単

用例(66)及び(67)には夫々直接法過去時称の一人称単数女性形及び仮定法現在時称の一人称単数女性形が見られる¹⁵。

なお、女性的文末詞「わ・わね・の・のね・のよ・かしら」がいかに翻訳されたかに注目すると、訳された場合もあれば何にも訳されなかった場合もある。訳されたのは、疑問・確認希求を表わす文末詞の方である。それらの翻訳は文末に出て来る感動詞「prawda?」(=本当なのか)、「tak?」(=そうなのか)となっている。例えば、

(68) 失礼ですが、ナカタさんとおっしゃいました<u>かしら</u>【K1_{JA}-159】
 Przepraszam, pan Nakata, prawda?【K_{PL}-106/56】
 「謝る」.動能直現未一.単「貴殿」名.男人.主単「ナカタ」名.男人.主単「本当か」.感

(69) それで、このカワムラさんが、そのゴマを見かけたということなのね?【K1_{JA}-161】

-

¹⁵ 動詞の場合には、女性は男性形を使用出来ない。例えば、「教師でした」という意味の文なら、「Byłam nauczycielka」(動詞の女性形+女性名詞)でも「Byłam nauczycielem」(動詞の女性形+男性名詞)でも言えるが、「Byłem nauczycielem」(動詞の男性形+男性名詞)と言えるのは男性のみである。

I ten pan Kawamura

添加.接「この」.代形.男人.主.単「貴殿」.名.男人.主.単「カワムラ」.名.非曲用

twierdzi, że ją

「謝る」、動.能.直.現.未.三.単補節導入.接「彼女」、代名.女.対.単

widział, \underline{tak} ? $[K_{PL}-108/57]$

「見掛ける」.動.能.直.去.未.男人.三.単「そうか」.感

これらの感動詞は男性によっても用いられており、女性専用の「かしら」などの文末詞はポーランド語においては無い。

それ故、ミミの女性らしさは、主に女性名詞及びその修飾語と動詞の女性形によって表わされていると言えよう。

5.2. 教養

ミミが教養のあるお嬢様だという事は冒頭から表われている。

(70) 〈前略〉歌にも歌われています。〈我が名はミミ〉です【K1_{JA}-159】

〈前略〉 Jest taka aria:

「在る」.動.能.直.現.未.三.単「斯かる」.代形.女.主.単「アリア」.名.女.主.単

Si, mi chiamano Mimi. [Kpl-106/56]

(イタリア語)

オペラの知識を持っている訳ではなく、そのオペラの一文を原語で引用している。それに対して、日本語版のミミはオペラの日本語訳を引用している。翻訳者はイタリア語を採用することで、オペラに詳しい知識人のような性格付けであり、外来語までも(或る程度)知っている教養の高い存在だというイメージをミミに与えようとしたのではないかと思われる。

ミミの教養は敬語の多用によっても伝えられる。ミミはナカタに向けて話す時に「pan」という敬称をナカタの名字の後ろに付けたり単独で用いたりしている(上記の用例(68)を参照)。他にも、丁寧な、改まった表現もしばしば使用している。例えば、

(71) わたくしこそ、ナカタさん【K1_{JA}-160】

<u>Cała</u> <u>przyjemność</u> <u>po</u> <u>mojej</u>

「全ての」.形.女.主.単「快楽」.名.女.主.単位置.置「我が」.代形.女.属.単

stronie. [K_{PL}-107/57]

「側」.名.女.属.単

(72) いいえ。〈後略〉【K1_{JA}-165】

Nie ma za co. 〈後略〉【K_{PL}-110/58】

否定.助「有る」.動.能.直.現.未.三.単 交換.置「何」.代名.中.対.単

(73) 〈前略〉あまりナカタさんのお役に立つとは思えませんの。〈後略〉【K1_{JA}-160】

 〈前略〉
 obawiam
 się.
 że
 na

 帰〔「恐れる」.動.直.現.未.一.単 再帰.助〕
 補節導入.接 目的.置

 nic
 się
 to
 nie

「何も」.代名.中.対.単 帰〔再帰.助〈「それ」.代名.中.主.単 否定.助

zda. 〈後略〉 【K_{PL}-107/56】

〉「役立つ」.動.直.現.既.三.単〕

上記の表現を日本語に直訳すると、夫々「嬉しいのはこちらの方です」、「感謝されるべきほどのことではありません」、「あいにくですが、~」となる。英語に類似した表現もある(「The pleasure is all mine.」、「Not at all.」、「I am afraid that ~」)。

丁寧な、改まった表現を多用する点でミミの話し方はナカタと共通しているが、ミミは一つの発言に幾つかの同じ種類の表現を並べて用いない(用例(38)、(39)、(61)などを参照)。

他に、高度な、書き言葉のような単語や表現でミミの教養も認められる。

(74) なにしろあの子は語棄が少ないものですから——【K1_{JA}-166】

Onmabardzoubogie「彼」、代名.男人、主.単「有る」、動.能.直.現.未.三.単「ととも」.副.原「乏しい」、形.中.対.単słownictwo.【KPL-110/58】

(75) あの子は言葉を多く知らないものですから【K1_{JA}-166】

Nie zna zbyt wielu

否定.助「知る」.動.能.直.現.未.三.単「余りにも」.副「多い」.代数.中.属.複

słów. (K_{PL}-110/58)

「単語」.名.中.属.複

用例(74)でミミはナカタが知らない単語を用いた。ナカタにその意味を説明するように言われてより簡単な言い方にした(用例(75))。

(76) 〈前略〉たまたま耳にそちらのお話が入ってしまっただけなんですが、〈後略〉 【 $K1_{JA}$ -161】

《前略》 <u>chcac</u> <u>nie</u> <u>chcac</u>, usłyszałam, 「欲して」.副分.現.未 否定.助「欲して」.副分.現.未「耳こ入る」.動.能.直.去.既.女.一.単

czym rozmawialiście. 〈後略〉【K_{PL}-108/57】

話題.置「何」.代名.中.処.単「話す」.動.能.直.去.未.男人.二.複

(77) 〈前略〉なにしろ飼い主がオペラ好きなものですから【K1_{JA}-160】

 (前略)
 Moi
 właściciele
 sa

 「我が」、代形.男人.主、複「飼い主」、名.男人.主、複「在る」、動.能.直.現.未.三.複

 wielkimi
 wielbicielami
 opery.
 【KPL-107/56】

 「大きい」、形.男人.具、複「愛好者」、名.男人.具、複「オペラ」、名.女.属.単

(78) わたくしは交際が広いほうではありませんし、〈後略〉【K1_{JA}-163】

 Ja
 nie
 prowadze
 ożywionego

 「我」.代名.主.単 否定.助「送る」.動.能.直.現.未.一.単「生き生きとした」.形.中.属.単życia
 towarzyskiego, 〈後略〉 【Kpl-109/57】

 「生活」.名.中.属.単「社交の」.形.中.属.単

用例(76)~(78)では「chcac nie chcac」(=否でも応でも)を「przypadkiem」(=たまたま)に、「są wielkimi wielbicielami opery」(=オペラの大愛好者である)を「bardzo lubią operę」(=オペラがとても好きである)に、「nie prowadzę ożywionego życia towarzyskiego」(=活発な社交生活を送らない)を「rzadko się z kimś widuję」(=滅多に人に会いに行かない)に言い換えると意味が殆ど同じで、言い方が話し言葉のようになる。

ミミがするこういった話し方は、Wilkoń (2000) による現代ポーランド語の言語変種の類型に基づいて所謂「ロ頭雅語」に分類出来ると考えられる。

Wilkoń(2000)は口頭語を、正式な場所・公的な文章に用いられない口頭俗語(spoken colloquial language)と文章語に近い口頭雅語(spoken refined language)と公的な場所で話される「口頭公用語(spoken official language)」¹⁶に大きく分けている。後者の特徴については以下のように述べる。

- ① いずれの言語階層でも言語規範に従うこと。(とりわけ、音素・音素連結・イントネーションを明瞭に発音すること。)
- ② 言語伝統(主に古風な文語的規範)に従うこと。それ故、この変種は文章語・「文 学的言語」(bookish language) に近いこと。
- ③ 豊富な言語レパートリーを有すること。
- ④ 多機能性。あらゆるコミュニケーション場面に於いてはどの内容でも話題になり得ること。
- ⑤ 単語や文法形式を精選すること。(発言に出現した俗語的・専門語的表現などは 引用或いは冗談めいた言い方としての機能を持つこと。)
- ⑥ 美的表現の多用。

⑦ 丁寧な表現や高度な表現の多用(婉曲表現、皮肉めいた言い方、反省めいた言い方など)。

¹⁶ 両者は夫々「język mówiony potoczny」と「język mówiony kulturalny」と「język mówiony urzędowy」の、報告者による和訳と英訳である。

⑧ 状況や話題に応じた文体的多様性。(Wilkon 2000: 54, 執筆者訳)

また、口頭雅語の使用者が誰であるかについて、

要するに、口頭雅語は標準語の一種であり、或る程度エリートの言語でもあり、しかも現代ポーランドにおいては社会環境による明確な依存性を有しない。口頭雅語の使用者になり得るのは、教育を受けた人だけではない。この言語変種を主に使用しているのは――少なくとも公的な場面では――知識人、学者、教師、作家、芸術家、聖職者などであるが、必ずしもそれだけとは限らない。口頭雅語が教養のある人によって話されるというのは基本である。その言語変種の社会言語学的パラメーターは次のとおりである。

- 1 教育
- 2 職業
- 3 社会的背景
- 4 所属する社会的集団
- **6** 性別(女性語は男性語より上品である)。(同書: 54-55, 執筆者訳)

としている。

ミミの台詞を総括的に見ると、そのキャラクターの発言は一つも言語規範に違反せず、丁寧な、改まった表現が多く、単語の精選も見られ、Wilkon 氏が記述した口頭雅語の特徴の多くを満たしている。上流階級である(或いは上流階級を目指している)、教養の高い飼い主の元でミミはそれにふさわしい話し方を常に行っている。

5.3. 乱暴さ

しかし、上記に述べてきたミミの話し方の特徴と異なるような台詞も二例ある。それらの例 外的なものは全て猫仲間のナカムラに向ける発話である。下記に述べる。

(79) ちゃんとおとなしく話を<u>お聞き。アホたれ</u>。この<u>腐れキンタマ</u>【K1_{JA}-162】 【K_{PL}-108/57】

Grzecznie słuchaj, co mówię, 「大人しく」、副.原 「聞く」、動.能.令.未.二.単 関係.代名.中.対.単 「言う」、動.能.直.未.一.単 ty idioto. Śmierdzący fiucie. 「汝」.代名.呼.単 「アホ」.名.男人.呼.単 「臭い」.形分.能.現.未.男有.呼.単 「肉茎」.名.男有.呼.単 【 K_{PL} -108/57】

(80) もういいから、あっちにお行き【K1_{JA}-163】

「もう」.助「充分」.感「行く」.動.能.令.未.二.単「自身」.代名.与.単

述語動詞は、〈おばあさん語〉に分類される「お+〈連用形〉」という命令形式を取っている(三好 2011: 257–58)。訳書では、それは命令法の二人称単数形となっており、ポーランド語における相手に行為を促す最も直接的な文法形式である。(日本語の命令形と異なり、女性はポーランド語の命令法を発言することを奨励されないことは無い。)とは言うものの、これを男性的な言い方とまでは言い切れない。男性ならば、折檻する母親のように「grzecznie słuchaj」と言うよりも「słuchaj uważnie」(=注意深く話を聞け)と言うと思われる。同じく、「idź sobie」は未だ柔らかく、「spadaj」、「zjeżdżaj」等(=行け、消えろ)という、威圧するような発言17ではなかろうと思われる。

対称詞としてミミが軽蔑的である「idiota」、「śmierdzący fiut」(=臭い肉茎)といった俗語を採用した。「idiota」の呼格形の前に二人称代名詞「ty」の呼格形を付け加えてその対称を更に強めた。(英語での「You idiot!」とほぼ同じ印象を与える。)「Śmierdzący fiut」(=臭い肉茎)という表現は日本語の「腐れキンタマ」に近く、ポーランド語における強い罵り言葉とまでは言いにくい¹⁸。それは寧ろ少し滑稽な印象を与え、そのお陰でミミの上品さがこの場合にも或る程度保たれていると言うべきであろう。

6. 結び

以上、村上春樹著の短編小説『海辺のカフカ』に登場するナカタとミミとの喋り方がどのようにポーランド語へ翻訳されたかについて考察を行ってきた。

ポーランド語訳書に見られるナカタの喋り方によって作られる人物像は一言で言えば「子供らしき純粋さ」である。一方、イリイズムと幼児語の使用や未知の語彙の特殊発音によってナカタは無教育で精神的に未熟なキャラクターであり、また他方、礼儀正しくて丁寧な話し方を多用する為、優しくて気配りのできる人物として描かれている。

ミミの場合には、知識や教養のあるキャラクターのイメージの方が強く伝わってくる。一方で、柔らかい女性らしさの印象が弱いと考えられる。それはポーランド語において女性らしさを上手く伝える為の、日本語と類似した言語資源が乏しいからではなかろうかと思われる。なお、ミミの乱暴な面も的確に伝えられており、しかもこれはお嬢様が言い出した乱暴な言葉だという点もしっかり抑えられている。

全般的に、翻訳者はキャラクターの話し方の特徴を出来る限り原書に忠実に再現させる為に様々な工夫を凝らしたと思われる。しかし、ポーランド語に於いて使用可能な言語資源が日本語と異なるが故に、原書に見られる人物像と翻訳書で再現された人物像との間には若干のずれがあるということも事実であろうと考えられる。

_

¹⁷ 他にも「spierdalaj」(=とっとと失せやがれ)等といった下品な発言も存する。

^{18 「}fiut」の定義は以下の通りである。「①〈口語的〉男根。②〈口語的〉男性に対して使用される罵り言葉。」(『ポーランド語辞典』、執筆者訳)。侮蔑の度合いが強い「chuj」(「①〈卑俗〉男根。②〈卑俗〉男性に対して使用される罵り言葉。」(同書、執筆者訳))と対比せよ。

引用資料

村上春樹 (2005) 『海辺のカフカ』 (上巻・下巻) 新潮文庫.

Murakami, Haruki (2011). "Kafka nad morzem", trans. Anna Zielińska-Elliott, e-book edition, Warszawskie Wydawnictwo Literackie MUZA.

Murakami, Haruki (2016). "Kafka nad morzem", trans. Anna Zielińska-Elliott, reprinted paperback edition, Warszawskie Wydawnictwo Literackie MUZA.

参考辞書

金水敏(編)(2014)『〈役割語〉小事典』研究社

"Słownik języka polskiego" [ポーランド語辞典]. Wydawnictwo Naukowe PWN [PWN 科学出版社]. アクセス <https://sjp.pwn.pl/>

参考文献

石井哲士郎 (2016) 『明解ポーランド語文法』 白水社.

金水 敏(2003)『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店.

金水 敏(2015)「役割語とキャラクター言語」金水敏(編)『役割語・キャラクター言語研 究国際ワークショップ 2015 報告論集』、5-13 頁.

酒井 健(2011)「海辺のカフカ 精神分析的解釈」『味覚と文芸』、125-147頁.

三好 敏子 (2011)「「おばあさん」の役割語」金水敏 (編)『役割語研究の展開』、 257-258 頁.

Bigas, Urszula (2012) 'Autyzm — charakterystyka zachowań językowych w autystycznym spektrum zaburzeń' [自閉症——自閉症連続体に於ける言語行動の特性], "Logopedia. Teoria zaburzeń mowy" [言語療法. 言語障害論], pp. 361–378.

Jung, Carl Gustav (1921) "Psychological Types. Collected Works", Vol. 6.

Lovrić, Marija (2011) 'Ileizmi ili što je zajedničko roditeljima jednogodišnjaka i Milanu Bandiću' [イリイズム、即ち一歳幼児の両親とクロアチア政治家ミラン・バンディッチとで何が共通であるのか], "Hrvatistika: studentski jezikoslovni časopis" [クロアチア語学: 言語学学生雑誌], Vol. 5, No. 5, pp. 111–122. アクセス http://hrcak.srce.hr/file/121497 (2016 年 12 月 23 日閲覧).

Wilkoń, Aleksander (2000) "Typologia odmian językowych współczesnej polszczyzny" [現代ポーランド語に於ける言語変種の類型学], Wydawnictwo Uniwersytetu Śląskiego [シロンスク大学出版局] アクセス http://www.sbc.katowice.pl/Content/73128/ typologia_odmian_jezykowych_wyd_2.pdf> (2016年12月23日閲覧).

Zwicky, Arnold (2008) 'Blame it on Elmo'. "Language Log", September 13, 2008 @ 1:12 pm. アクセス http://languagelog.ldc.upenn.edu/nll/?p=577 (2016 年 12 月 23 日閲覧).

凡例

本稿で使用されている略号は以下の通りである。

```
(genus activum
strona czynna)
                         nomen substantivum
                                                                   能=能動態
名
      =名
                         rzeczownik/imię rzeczowne)
                                                                                    (strona bierna)
                         verbum (temporale)
      一動
                                                                   受=受動熊
動
                         (czasownik/słowo czasowe)
                                                                                    \binom{genus\ reflexivum}{\text{strona}\ zwrotna}
                         nomen numerale
数
      =数
                                                                   帰=再帰態
                         (liczebnik/imię liczebne)
                         nomen adjectivum
      =形容
形
                   詞
                         (przymiotnik/imię przymiotne)
                        \binom{adverbium}{\operatorname{przysłówek}}
                                                                                    \binom{modus\ indicativus}{\mathrm{tryb}\ \mathrm{oznajmujacy}})
副
      =副
                   詞
                                                                   直=直説法
                        (pronomen
zaimek rzeczowny)
                                                                                    \binom{modus\ conditionalis/conjecturalis}{\text{tryb\ warunkowy/przypuszczający}}
代名=代 名
                   詞
                                                                   仮=仮定法
                                                                                      modus imperativus
                        \binom{pro\text{-}numerale}{\text{zaimek liczebny}}
代数=代数詞
                                                                   令=命令法
                                                                                    (tryb rozkazujący
                         pro-adjectivum
代形=代形容詞
                        (zaimek przymiotny)
                        (pro-adverbium
zaimek przysłowny)
                                                                                                 \binom{tempus\ praesens}{\operatorname{czas\ teraźniejszy}}
代副=代 副 詞
                                                                   現
                                                                         = 現
                                                                                       在時称
                        \binom{praepositio}{\text{przyimek}}
                                                                                                   tempus praeteritum
      =前置詞
                                                                   去
                                                                        =過
                                                                                       去時称
                                                                                                 czas przeszły
                         conjunctio
                                                                                                   t. plusquamperfectum
      =接続詞
                                                                   大去=大 過 去時称
接
                         (<sub>spójnik</sub>
                                                                                                  (czas zaprzeszły
                         interjectio
                                                                                                  t. futurum simplex
感
      =感
              動
                   詞
                                                                   単来=単純未来時称
                         (wykrzyknik)
                                                                                                 (czas przyszły prosty)
                                                                                                 {t.\;futurum\;compositum \choose \text{czas przyszły złożony}}
                         particula
助
      =助
                                                                   複来=複合未来時称
                   詞
                        (cząstka/partykuła)
               casus nominativus
                                                                                       \binom{aspectus\ imperfectivus}{aspekt\ niedokonany})
主=主格
                                                                   未=未完結相
              mianownik
               casus genitivus
                                                                                         aspectus perfectivus
属=属格
                                                                   既=既完結相
              dopełniacz
                                                                                       (aspekt dokonany
               casus dativus
与=与格
              (celownik
               casus accusativus
                                                                     ー=一人称(<sup>persona prima</sup>)
osoba pierwsza)
対=対格
              biernik
                                                                                    \binom{persona\ secunda}{\operatorname{osoba}\ druga}
               casus instrumentalis
具=具格
                                                                       =二人称
              (narzędnik
                                                                   三=三人称(persona tertia
osoba trzecia
               casus locativus
処=処格
              (miejscownik
              \binom{casus\ vocativus}{\mathrm{wołacz}}
呼=呼格
                                                                                           \binom{infinitivum}{\text{bezokolicznik}}
                                                                   不定=不 定 詞
               numerus singularis
                                                                                           (participium adjectivum
(imiesłów przymiotnikowy)
単=単数
                                                                   形分=形容分詞
              (liczba pojedyncza
               numerus pluralis
                                                                                           (participium adverbiale
imieśłów przysłówkowy)
複=複数(liczba mnoga
                                                                   副分=副 分 詞
                                                                                           \binom{gerundium}{\text{odslownik}})
                                                                   名分=名 分 詞
男=男性(genus masculinum
rodzaj męski
                                                                                            verbum auxiliare
                                                                   助動=補助動詞
                                                                                           (czasownik posiłkowy)
                                                                                           (verbum defectivum
(czasownik niewłaściwy)
                              \binom{genus\ masculinum\ humanum}{\operatorname{rodzaj\ meskoosobowy}}
   男人=男性人
                                                                   欠動=欠如動詞
                        間
                              \binom{genus\ masculinum\ animatum}{\operatorname{rodzaj\ meskozwierzecy}}
    男有=男性有生物
                               genus masculinum inanimatum
                                                                                     (gradus positivus stopień równy )
   男無=男性無生物(rodzaj męskorzeczowy
                                                                   原=原
                                                                                      gradus comparativus
               genus femininum
女=女性
                                                                   比=比較級
              (rodzaj żeński
                                                                                     (stopień wyższy
                                                                   最=最上級(gradus superlativus
stopień najwyższy)
中=中性(genus neutrum
rodzaj nijaki
```

『海辺のカフカ』のキャラクターのスウェーデン語への 翻訳の仕方について

―村上春樹翻訳調査プロジェクト報告書―

セバスティアン・リンドソコグ (大阪大学大学院文学研究科)

1. はじめに

本プロジェクトは、金水敏氏が担当している「村上春樹翻訳調査プロジェクト」という翻訳のプロジェクトである。本プロジェクトの目的は、村上春樹の『海辺のカフカ』と『1Q84』を中心に、キャラクターの特徴ある話し方が各国語においてどのように翻訳されているかを調査することである。そこで、キャラクターの言語的な特徴付けにどのような相違点・共通点があるかを調査した。今回の調査は、『海辺のカフカ』のキャラクターに絞られている。

翻訳する時、スコポス¹論に参照している翻訳者が多いと考えられる。スコポス論とは、ある目的を持って翻訳することである。目的の例としては、ある作品を目的言語に翻訳する時、読者の目的言語の文化や概念に合わせるか、できるだけ原文のまま訳すかは一つの選択肢である。例えば、原文には芸能人の名前(マツコ・デラックスなど)が出てくるが、目的言語の国では知られていない人物であるため、目的言語の中で有名な芸能人(スウェーデンのBabben Larssonとか)に変更する場合がある。

本報告書では、EikoとYukiko Duke氏により翻訳された『海辺のカフカ』の前編と後編のスウェーデン語版²(『Kafka på stranden』という)を中心に、小説に出てくるさまざまなキャラクターの翻訳の仕方が分析されている。特にナカタというキャラクターは、特徴的な話し方を持っている。ナカタは、一人称代名詞を使わず、「私」などの代わりに自分自身のことを「ナカタ」と呼び、誰に対して話してもとても丁寧なスタイルで話す。

続いて、日本語は人称の一致がないので「ナカタ」による一人称の表現が可能であり、 主語名詞句の省略が可能なので、省略されていてもさほど違和感がない普通の文章となる。 しかしスウェーデン語では、人称の一致があるため自分自身を「ナカタ」と呼ぶことが 妙³であり、日本語のように人称代名詞が省略できない場合がある。翻訳者は、この問題を どのように解決したかを分析したいと考えている。またスウェーデン語では、日本のよう

¹ スコポス (skopos) の由来はギリシャ語の「目的」の語である。

² スウェーデンでは、『海辺のカフカ』は前編と後編ではなく、一冊になっている。

³ スウェーデンでは、ほとんど子供しか自分自身のことを自分の名前で呼ばない。もし大人が使ったら偉 そうな印象を与える時もある。

な展開した敬語が存在していないため、ナカタの「丁寧さ」がどのように翻訳されたかを 調べることも試みた。

2. 調査

2. 1 ナカタの台詞

前述したように日本語は人称代名詞の一致がないので、主語名詞句が省略できる。しかしスウェーデン語では、人称代名詞の一致があるため、主語を入れないと文章が成り立たない。以下の用例(1)の前方では主語がないが、省略が可能なので、不自然な文章ではない。しかしスウェーデン語の用例(2)の下線部を見れば、一人称が二つもあることが分かる。(2)では、(1)と同じ、人称がないように書き換えられるが、その風に書くとナカタの丁寧さが失われてしまう。スウェーデン語の訳では人称を示さないと、話者の発言の田舎くささが上がるので、翻訳者はおそらくナカタの話し方の丁寧さを保つため、このように書いたと考えている。

- (1) あの、ここにちょっと腰をおろしてかまいませんか?ナカタはいささか歩き疲れましたので (K1-93-8)
- (2) Får jag slå mig ner här? Nakata är lite trött av allt gående. (K-52-20)

続いて、ナカタの丁寧さの点では、彼が使用している敬語が翻訳版ではほとんど保たれているが、以下の(3)の下線部で見られるようにあまり丁寧ではない言葉も使用されている。

- (3) Nakata är inte säker på att han <u>fattar</u> vad långdistans är. (K-212-21)
- (4) 長距離トラックだとか一般車だとか、そういうむずかしいことはナカタにはよく わかりませんが (K1-393-3)
- (3) の下線部の言葉遣いと原文の(4) のナカタの話し方と比較すると、この言葉遣いの性質が異なっていることが分かる。スウェーデン語では、「分かる」の意を持つ動詞の中で「fatta」の丁寧さがかなり低い。翻訳者がナカタの原文の性格を正確に描くつもりでいたならば、「fatta」の代わりに丁寧度がより高い「förstå」という動詞を使った方が相応しいと考えている。ナカタが「fatta」を使用すれば、彼の性格の特性と合わない。くだけた言葉遣いはたまに他にもあったが、全体的に翻訳版のナカタは、丁寧に話したので、忠実的に描かれている。

スウェーデン語訳ではナカタは、二人称代名詞を使用した時「ni」と「er」の多くが見られた。この言葉遣いは、二つの意を持っており、最も一般的に使用されている意味は、「二人称代名詞」の複数形の「あなたたち」や「君たち」の意味である。二つ目の意は、敬意を表したい時に、一人の相手に使う語彙である。意味は、日本語の「あなた」に相当し、

主に王様や老人に対して使われている。

また、日本語版のナカタが他人と話す時に、その他人の名前に「 \sim さん」をつける。そこで、スウェーデン語訳のナカタも他人の名前に「herr」と「fru/fröken」 4 をつけ、以下の(5)では、その例が見られる。

(5) Ja, just det. Nakata fick i uppdrag av <u>fru</u> Koizumi att leta efter den randiga Goma och det harjag gjort nu i tio dagar. Vet ni, <u>herr</u> Johhnie Walker, vad som har hänt med katten?
(K-145-18)

しかし、スウェーデン語訳では、例外も現れる。以下の(6)の用例では、ナカタは、ホシノという人物だけに「herr」をつけない。

(6) Så du heter Hoshino. Trevligt att råkas. Jag heter Nakata. (K-234-12)

(7) はい。ホシノさんですね。よろしく。ナカタと申します (K1-437-4)

(7) で見られるようにナカタは、ホシノの名前に敬意を払って「~さん」をつけているが、スウェーデン語訳では、初めて会った時さえ「herr」をつけなかった⁵。「herr」を除くのは、ナカタの性格と合わない行動だと考えられるので、翻訳者はなぜこのように翻訳したのかは明らかではない。

一つの仮説としては、ホシノに親しみを示すため、翻訳者がホシノの名前に「herr」をつけるのが省略したと考えられる。ホシノは、『海辺のカフカ』上の後半から『海辺のカフカ』下の終わりまでナカタと一緒におり、ナカタの初めての友達になったので、その可能性はあると考えている。スウェーデン語では「herr」を使うと、人の間に距離を置いている。しかし日本語版では、このような特別な扱いが見られず、ナカタがホシノと最初と最後の話した時を問わずホシノに「~さん」を付けているため、考えにくい。

他の仮説は、ナカタとホシノが前述したように長い間一緒にいるため、スウェーデン語版のホシノに「herr」を毎回付けるのが、手間がかかりすぎると翻訳者が考えたのかもしれない。あるいは、「herr」の繰り返しが多かったため、省略されたかもしれない。スウェーデン語は、日本語より言葉の繰り返しに対して厳しいが、ナカタはそもそも「~さん/herr」を省くほど言わないので、考えにくい。

スウェーデン語訳のナカタは、ホシノに「herr」を付ける用例が二つしかない。

-

⁴ 「herr」 は男性に対し、「fru/fröken」は女性に対する「~さん」である。

⁵ (6) と (7) の例文は、それぞれ本の彼らの初めての会話である。

- (8) <u>Herr</u> Hoshino har varit mycket vänlig mot mig och hjälpt mig så mycket. Om jag hade blivit tvungen att göra det här på egen hand hade det tagit mycket längre tid. Nakata kan ju trots allt inte läsa. (K-435-15)
- (9) Nakata öppnade den igen för ett par dagar sen. Den där eftermiddagen när det åskade så fruktansvärt över hela stan. <u>Herr</u> Hoshino hjälpte mig. Minns ni dagen jag talar om?

 (K-436-18)
- (8) と (9) の用例では、ナカタはホシノと直接話している場面ではなく、他の登場人物とホシノに関する話をしており、この場面しか「herr」が見られない。

また、ナカタの一人称代名詞はどのように翻訳されたかの調査も行った。ナカタは、一人称代名詞として自身の名前を使う。このような話し方は、他の登場人物にとって奇妙であるが、前述したように日本語は人称の一致がないので「ナカタ」によって一人称の表現が可能であり、主語名詞句の省略が可能でるため、省略されていてもさほど違和感がない普通の文となる。以上にも述べたが、スウェーデン語は人称の一致があるものの、ナカタの一人称代名詞が思ったより忠実的に翻訳されていると分った。特に『海辺のカフカ』の前半 6 は原文とよく似ている。そこで、以下の用例で見られるように、両方の本の「ナカタ」の数が同じであることが明らかになった 7 。

- (10) (中略) <u>Nakatas</u> far han dog för länge sedan var en känd professor på ett universitet. Hans specialitet var något som kallas ekenåmisk teåri. <u>Nakata</u> har två yngre bröder och de är båda mycket kloka. En av dem arbetar på företaget Itou-Chu och han är avdillningschef. Min andre bror arbetar på ett ställe som kallas Handels- och industrimenesteriet. Dom bor båda i stora hus och äter ål. Nakata är den ende som är dum. (K-54-23)
- (11) (中略) とくに<u>ナカタ</u>のお父さんは、もうとっくになくなりましたが、大学のえらい先生でありまして、キンユウロンというものを専門にしておりました。それから<u>ナカタ</u>には弟が二人おりますが、二人ともとても頭がいいのです。一人はイトウチュウというところでブチョウをしておりますし、もう一人はツウサンショウというところで働いております。二人とも大きな家に住んで、ウナギを食べております。<u>ナカタ</u>ひとりだけが頭が悪いのです。 (K1-96-13)

後半⁸になると「ナカタ」の使用数が少なくなるが、なぜこのようになるかは明らかではない。一つの考えは、二人の翻訳者がいるので、それぞれの翻訳の仕方で前半と後半の翻

91

⁶ 日本語版の『海辺のカフカ』上となる。

⁷ 「ナカタの台詞」に参照すれば、より理解しやすくなる。

⁸ 日本語版『海辺のカフカ』下となる。

訳が行われたので、「ナカタ」の頻度が翻訳版の後半に減ったとも考えられる。

続いて、以上に述べた一人称代名詞の省略に関するが、版によってかなり大きな違いが見える。日本語の場合、人称代名詞を省略することが、スウェーデン語より簡単で、自然に見える。そこで、原文でナカタに発言されなかった人称代名詞は、スウェーデン語訳では「jag」などというような語彙に補われている。以下の(12)と(14)の用例は翻訳で(13)と(15)は原文である。これらの用例では、省かれた人称代名詞は多くのところで一から三人称代名詞で補われていることが見られる。下線部は、追加された人称代名詞である。

- (12) <u>Jag</u> ber <u>er</u>, låt bli detta. Fortsätter <u>ni</u> längre än så här kommer Nakata att bli galen.Nakata får en känsla av att <u>han</u> inte längre är Nakata.(K-170-2)
- (13) お願いです。こんなことはもうよしてください。これ以上続けば、ナカタはおかしくなってしましそうです。ナカタはもうナカタではないような気がするのです。 (K1-313-8)
- (14) Ja, nog är det så. För att vara fullkomligt ärlig är det besynnerligt också för Nakata. <u>Han</u> var ju själv alldeles blodig, men när <u>han</u> kom till sans fanns det inte kvar. Det är mycket underligt.
 (K-192-18)
- (15) はい。そのとおりであります。実を申しまして、それがナカタにも不思議でならないのです。腑に落ちません。たしかナカタ自身もずいぶん血まみれになっていたはずなのですが、気がついたときにはそれはなくなっていました。不思議です (K1-355-10)

用例(12)で明らかになるようにさまざまな人称代名詞が追加されている。最初の文章では、一人称代名詞「jag」と敬語の二人称代名詞「er⁹」が見られる。この文章は、原文のように人称代名詞を省略するのが可能であるものの、ナカタの使っている丁寧さはとても保たれにくくなる。この文章の人称代名詞の省略はあり得るが、スウェーデン語は省かない方が丁寧になるので、前述のように短くしたら丁寧さが保たれない。次の文章の二人称代名詞「ni」は「er」と同じ意味を持つ。そして、(12)の最後の文章が興味深く、三人称代名詞の「han」が補足されている。日本語にしたら「han」が「彼」の意味になる。「han」を使うとナカタが自分のことを指しているのにまるで別の人に関して話しているみたいに見える。スウェーデン語では自分のことを三人称の「han」などで呼ぶのは、尊大な言い方の響きがあり、ナカタの性格には合わないと考えている。

また、スウェーデン語訳の『海辺のカフカ』の例外的な用例をあげたい。以上にも述べ たが、スウェーデン語訳の『海辺のカフカ』の前半は、原文と殆どの同じところで「ナカ

-

⁹ 普通は「あなたたち」の意である。

タ」を入れ、後半の「ナカタ」が少なくなると分かった。しかし、前半と後半を問わず、 五つのところで「ナカタ」の特別な例が見られた。その例の一つは以下の(16)で、(17) は原文である。

- (16) Det stämmer. Nakata letar efter en spräcklig ettåring som heter Goma. Här är ett kort av henne. (K-56-4)
- (17) はい、そのとおりであります。今探しておりますのは一歳の三毛猫で、名前はゴマと申します。ここに写真があります (K1-99-14)

今まで見たのは翻訳者が「ナカタ」を原文のままで書いたか、省略された。しかし(16)の下線部で見られるように「Nakata」が追加されており、原文には「ナカタ」がそもそもなかった。「ナカタ」がもしあったとすれば「今探しております」の「今」の前に立つはずだった。なぜ「Nakata」を補ったかというと、ナカタの性格に合わせて文章をより自然にするというスコポスはあったと考えられる。このような「ナカタ」の補いの例が前述したように五つしかないので、全体翻訳に影響をあまり与えないかもしれないが、述べる価値があるだろう。

最後に、ナカタの「無教養」がどのように翻訳されたかを調べた。(10)や(11)で見られるように、ナカタが恐らく不明な意味の言葉を多く使い、理解しても発音が複雑であるため、片仮名で表されている。彼が父親と二人の弟の仕事に関して話す時「キンユウロン」「イトウチュウ」「ブチョウ」と「ツウサンショウ」が見られる。しかし、スウェーデン語は片仮名を持たないため、この方法が使えない。そこで、翻訳版では片仮名の代わりにさまざまな言葉が別の綴り方で表され、正しい発音に聞こえるが、実際は間違っている。以上の片仮名語の同じ順で「ekenåmisk teåri」「Itou-Chu」「avdillningschef」と「Handelsoch industrimenesteriet」がこのように音を変化した。「Itou-Chu¹0」はそのままローマ字に翻訳されているが、残りの言葉は無教養を示すため、実際の発音に聞こえるが、本当は間違っている音で表されている。例えば「ekenåmisk teåri」の正しい書き方は「ekonomisk teori」であり、「o」が「e」に変化し「o」が「å」に変化したと見られる。このように書くと、本来の発音と似ているが、発音は子供らしい話し方あるいは、無教養の話し方であるので、片仮名の代わりの役割を果たしている。

2. 2 ミミの台詞

ミミの台詞は、ナカタの台詞のように、丁寧であるものの「女性語」や「お嬢様ことば」の要素も多く見られる。また、ミミは『吾輩は猫である』の猫主人公の「吾輩」のように、飼い主と同様な話し方を使用していると考えられる。ミミの飼い主は、実際に出てこないが、ミミの話によると、教養がありそうな家族に飼われている。

-

¹⁰ この言葉は、原文のままで翻訳されたみたいに見える。

(18) 失礼ですが、ナカタさんとおっしゃいました<u>かしら</u>

(K1-159-5)

(19) Ursäkta mig, men var det herr Nakata ni hette?

(K-89-9)

- (20) <u>わたくし</u>は、独立独歩と申しますか、かなり個人的な性格の猫ですので、あまりむやみに余計な口出しはしたくありません。しかしこの子――あの、カワムラさんて呼んでおられましたっけ――は、実を申しまして、もともと頭があまりよくないんです。かわいそうに、まだ小さい頃に近所の子どもの乗った自転車に<u>ぶつけられましてね</u>、はねとばされてコンクリートの角で思い切り頭を打ったんです。それ以来筋道立てて口をきくことができません。ですからそのように辛抱強くお話になっても、あまりナカタさんのお役に立つとは<u>思えませんの</u>。さっきからあちらで拝見しておりまして、ちょっと見かねたものですから、差し出がましいとは思いつつ、ついつい口を出してしまったような次第ですのよ (K1-160-13)
- (21) Jag är känd som en katt som sköter sig själv, eller kanske skulle ni säga en katt med hög integritet. Jag lägger mig vanligtvis inte i andras affärer. Men den här ungkatten den ni refererar till som herr Kawamura är inte precis den klokaste katt världen har skådat. Stackarn, när han var ungkatt körde ett barn på honom med sin cykel och han slog huvudet i en betongkant. Sen dess har han inte varit vid sina sinnes fulla bruk. Så även om man är tålmodig, som jag har sett att ni är, kommer man ingenstans med honom. Jag har sett på er en stund där bortifrån och jag tycker synd om er. Jag vet att det kanske är framfusigt av mig, men jag måste få säga det. (K-89-33)

用例 (18) と (20) との下線部で明らかになるようにミミの発言ではお嬢様ことばと女性語の傾向が多く見られる。例えば用例 (18) では、女性の代表的な「かしら」という文末表現が見られ、女性が話しているのが明らかである。しかし (19) では「かしら」のような文末表現は現れない。スウェーデン語には、決まった女性語はあまり存在しないため、 (19) をそのままで読むと性別は明らかではなく、女性らしさが見出せない。 (19) の発言は丁寧でありながら、ごく普通の話し方に見える。

お嬢様のもう一方の特徴は敬語の多用であるため、上の社会階層との繋がりがあると言えよう。スウェーデンでも、上の社会階層に使用されているものの、その階層に限られておらず他の階層も使用している。階層より育ちとの繋がりの方が強いと考えられる。

続いて用例(20)に多くのお嬢様ことばが現れ、その例は一人称代名詞「わたくし」、「~てね」「の」と「のよ」の助詞や文末表現である。スウェーデン語やくの『海辺のカフカ』ではこれらのお嬢様ことばは、どのように翻訳されているかを以下に述べる。

最初に「わたくし」は、一人称代名詞の「Jag」に翻訳されている。スウェーデンでは、 男性と女性は特有の一人称代名詞を持っていないため、「jag」に翻訳されることは当然な ことだと考えられる。日本語では、複数の一と二人称代名詞が存在しているが、スウェーデン語の場合人称代名詞が少ないので、男女を問わずほとんど「jag」しか使用されていない。

続いて、「ぶつけられましてね」のスウェーデン語の翻訳「körde ett barn på honom med sin cykel」の女性らしさのニュアンスが完全に失われている。男性のキャラクターが発言したとしてもおかしくないと考えられる。また「ぶつけられましてね」の後に来る「思えませんの」は翻訳さえされていない。スウェーデン語版には「思う」に相当する動詞や表現は、翻訳されておらず、文章自体のニャンスも少し異なっている。日本語では「お役に立つとは思えませんの」となっているが、翻訳は「役に立たない」となっている。なぜ異なっているかは明らかではないが、前述したスコポス論のように、対象読者のために便宜的に翻訳されたかもしれない。

最後に「ですのよ」は、スウェーデン語ではより長い文章となっている。両方の文章の意味とニュアンスは一緒だが、スウェーデン語は終助詞を持たないため「men jag måste få säga det」というより長い文章になっている。翻訳の意味は「~がそのことを教えなければなりません」であるので、原文のように丁寧な言い方であるが、特に女性らしさは現れない。

2. 2 さくらの台詞

最後に取り上げたいキャラクターは、さくらという女性キャラクターである。彼女の原文の話し方には、男性的な話し方の要素が見られる。例えば、以下の用例を見れば、男性語の特徴的な文末表現と助詞が見られる。

- (22) 私も同じ。あっちに友だちがいる<u>んだ</u>。仲のいい女の子<u>なんだ</u>けどね。君は? (K1-42-5)
- (23) 事情があって、もうずいぶん長く会ってない<u>んだ</u>けどね・・・・・。それで \underline{a} 、うん、君ってあの子にすご一く似てるね。誰かにそう言われたことない? (K1-42-9)

下線部で見られるように、さくらの話し方には、男性的な言葉が使用されている。「んだ」「だよね」や「さ」などは、普通に男性キャラクターに使用されている表現である。さくらが「かしら」のような女性語も使っているが、男性語の要素が目立ったと考えているので、どのようにスウェーデン語に翻訳されているかを以下に述べる。

(24) Jag med. Jag har en vänninna där, en mycket nära kompis. Och du då? (K-25-17)

(25) Men en massa omständigheter har gjort att vi inte setts på mycket länge. Fast vet du en sak, du är väldigt lik den där grabben. Är det ingen som har sagt det till dig? (K-25-22)

この用例の中では、特に(24)が目立つ。スウェーデン語には、女性語や男性語があまりないため、普段は区別されていない。しかしこの文章では、男性語を使う可能性があったが、使用されなかった。指摘したい言葉は(24)で出てくる「kompis」である。さくらが多くの男性的な語を使用しているため「kompis」より「polare」という言葉の方がふさわしいと考える。「kompis」も「polare」も「友達」の意味を持つが「polare」は「kompis」より男性らしいとして見られている言葉なので、さくらの話し方により合うと考える。原文では「友達」ではなく、文末表現の「んだ」が男性らしいと考えているが、スウェーデン語にはこのような文末表現がない。しかし、翻訳者によってより男性らしい話し方を作る機会があったが、さくらに一般的な話し方を与えたのではないか。

続いて、(23)では、また「んだ」が現れ、男性語の助詞「さ」も見られる。スウェーデン語には「さ」のような助詞がないが、(23)の翻訳文の(25)では他の興味深いことが見られる。指している興味深いことは「grabben」の言葉である。「grabben」は「小僧」や「坊や」のような意味を持つため、さくらの話し相手(主人公)に対する意識をよく表している。さくらは、主人公より年上だと分っているため、原文では主人公を二人称代名詞の「君」で呼んでいると考えている。前述の「grabben」と同じように「君」は、年上から年下の人に対する言葉遣いであるので、翻訳者がこの場合では、さくらの男性らしい話し方を保たれたと考えている。しかし、翻訳版では、この言葉遣いは例外的なものであり「grabben」以外あるいは男性らしい話し方が基本的にさくらの話し方にあまり見られない。

3. まとめと今後の課題

以上に三人のキャラクター(ナカタ、ミミとさくら)がどのように翻訳されたかを分析 した。それぞれのキャラクターの翻訳を以下にまとめた。

最初に分析したキャラクターは、ナカタである。日本語の原文とスウェーデン語の翻訳文をさまざまな観点から見た。最初に分析したのは、ナカタの一人称の省略に関することであった。日本語では、一人称の省略は普通であるが、スウェーデン語では人称の一致があるため、主語を入れないと文章が成り立たない時が多いと述べた。

次に調査したことは、ナカタの敬語遣いに関することであった。スウェーデン語は、日本 語の発達したような敬語を持たないが、それにしてもナカタの敬語は保たれているという結 論に至った。しかし、例外もあり、ナカタの話し方を表わすためのよりふさわしい言葉遣い がたまにあったが、翻訳者がその言葉を使わず、よりくだけた言葉遣いをナカタに与えた。

また原文にも翻訳文にもナカタの「~さん」の使い方はほぼ同じであった。一つの例外は、翻訳文のナカタがホシノと話をした時だけ「~さん」を述べなかった。初めてホシノとあいさつした時でも「~さん」を述べなかったが、その理由は明らかではない。ナカタが「ホシノさん」と述べた例外的な用例が二つしかなかった。

続いて、ナカタの一人称代名詞の代わりに「ナカタ」を使用していることに関して述べた。 原文では、ほとんど例外なくナカタが自分に指している時「ナカタ」と述べ、あるいは一人 称代名詞を省略した。スウェーデン語訳では、一人称代名詞の省略はあまりなかった。しか し、少なくとも翻訳の前半では「ナカタ」の使用の仕方は忠実的に翻訳された。後半になる と「ナカタ」が少なくなり、その理由は明らかではないが、もしかして二人の翻訳者がいる ので、後半は異なるやり方で翻訳されたではないかと考える。

そして、原文に省略された一人称代名詞が翻訳文に三人称代名詞の「han」に補われたことも明らかになった。さらに、原文になかった「ナカタ」が翻訳文に追加された用例も僅かあった 11 。

最後に、ナカタの「無教養」がどのように翻訳されたかを調べた。ナカタにがよく分らない言葉があったら、片仮名で表わされ「キンユウロン」などのように表された。スウェーデン語の場合、ナカタが、発音を間違え「ekenåmisk teåri」のように音が変化された¹²。

次に分析したキャラクターは、猫のミミである。ミミの発言には、ナカタのような丁寧さが見られ、女性語も見られる。翻訳文には、ミミのいわゆる「丁寧さ」が保たれているが、女性的な話し方が見られなかった。

最後に分析されたのは、さくらという女性のキャラクターである。原文のさくらの発言には、男性語と女性語の両方の要素が出て来る。特に男性の文末表現が興味深いと考えており、どのように翻訳されているかを調査した。翻訳されたさくらの台詞には、男性的な傾向があまり見られなかった。例外が一つあり、前述のとおり「grabben」が僅かに使用されていた。

以上の三人のキャラクターがどのような忠実さで翻訳されたかをまとめると、大きな差が見られる。ナカタは、忠実的に翻訳され、ミミは部分的に原文と同じように翻訳された。また、さくらは、あまり忠実的に翻訳されていないと考えている。差の理由はそれぞれキャラクターの話の立場と関係があると考えている。例えば、ナカタは『海辺のカフカ』の一人の主人公であるため、翻訳者が彼の台詞を訳すため、より力を入れたと考えている。しかし、ミミとさくらは、脇役のキャラクターであるため、彼らの翻訳には力がナカタほど入れられていない可能性がある。

今後の課題としては、本報告書でまだ取り上げられていない『1Q84』のキャラクターの話し方を分析することである。特にふかえりというキャラクターがナカタのように特徴的な話し方を持っているため、どのように翻訳されたかを調査することは、興味深いと考えている。

4. 調査資料

Murakami, Haruki(著), Duke, Eiko/Yukiko(訳)(2015) Kafka på stranden, Norstedts, Stockholm

-

¹¹ 用例 (16) と (17) に参照

¹² 正しい綴り方は前述のように「ekonomisk teori」である。

村上春樹(2015)『海辺のカフカ』 (上) 新潮文庫 村上春樹(2014)『海辺のカフカ』 (下) 新潮文庫

村上春樹「海辺のカフカ」のロシア語版

―ロシア語版におけるナカタのイメージ―

ナタリア・コンスタンティノーフスカヤ (スタンフォード大学)

1. 初めに

日本語には、ジェンダー、年齢、階級などを指摘する特定の役割語という言語リソースがある(金水 2003)。役割語を利用することで作者は鮮やかにキャラクター描写をすることができる。しかし、日本の小説のキャラクターのセリフなどを他言語に翻訳する際、その役割語をどのように訳せばいいか、又はそのキャラクターの特徴を他の言語ではどのように伝えればいいかという問題が生じるであろう。例えば、村上春樹の「海辺のカフカ」に登場するナカタという登場人物は、子供のころ事故にあったため、書く能力と読む能力を完全に失い、回復も不可能だという設定である。故に、自分は頭がよくないと言い、一人称の代名詞の代わりに、名前を使っているなどの特徴がある。ナカタの話し方は性格と結び付いているため、非常に重要な役割を果たしている。ロシア語では、ナカタはどのような話し方をしているか、その言語リソースによってどのようなイメージが作られるか、またそのイメージは原作のナカタのイメージとは一致するかどうか、本研究で明らかにすることを目的とする。

2. 方法

本研究では主に質的な比較分析を行い、ロシア語に翻訳された「海辺のカフカ」におけるナカタの話し方を観察する。具体的に、ナカタの第二人称の代名詞、決まり文句、古語や指小辞などの使い方の特徴を研究していく。また、文の主語と全体的な話し方の構成も調べていきたい。

3. 分析

ロシア語版の「海辺のカフカ」を読むと、ナカタの紳士な性格が即座に伝わる。その原因はナカタは誰にしても丁寧な話し方をすることにあると思われる。ロシア語では、フランス語と同様に、相手が一人の場合でも、複数の二人称の代名詞を使うことで相手に対する尊敬を表すことができる。その尊敬を表現している複数の代名詞は「vy」(あなた方)とい

う語彙であり、文法の規則によって代名詞を複数にすると、動詞の形も複数にする必要がある。ゆえに、代名詞を省略していても、動詞の形を複数に変えることで丁寧な話し方ができる。基本的に「vy」は、年上やあまり面識のない人に対して使うのが礼儀正しいとされる。しかし、ナカタは相手の年齢や社会的立場などを問わず、相手に向けて話すと、必ず複数の代名詞を使っている。たとえ猫にさえ、尊敬を示すために、複数の二人称の代名詞を用いる。そうすることで、ナカタは自分の立場をより低く見せ、相手を立てることができると思われる。以下の例(1)、(2)と(3)はナカタと猫の会話からの抜粋である。例1の「vas」は「vy」の対格である。

(1) 「A možno <u>vas</u> nazyvat' Otsuka—san?」

直訳:あなたをオオツカさんと呼んでもいいですか。

原作:「それでは猫さんのことを、オオツカさんと呼んでよろしいでしょうか。 (K1-94-9)

(2)「Da net, \underline{v} ne podumajte! (後略)」

直訳:いえいえ、(あなたは)悪く思わないで!

原作:「いいえ、たいした意味はありません。(後略)」(K1-94-13)

(3) \(\frac{\text{Vy}}{\text{dymaete?}}\) Togda ja tak i sdelaju. Izvinite, požalujsta, čto Nakata pomešal vašemu obedu.

Nakata, navernoe eščjo sjuda zagljanet, poetomu buďte dobry, skažite, esli ona <u>u vas</u>
pojavitsa.

直訳:(<u>あなた</u>は) そう思いますか。そうしたら、私はそうします。ナカタは<u>あなた</u>の

昼ご飯を邪魔してしまってどうもすみませんでした。ナカタはたぶんまた<u>あなた</u>のところへ立ち寄るから、もし彼女がここで現れたら教えてください。

原作:「そうですか。それではおっしゃるとおり、べつの方面をあたってみることにいたします。オオツカさんの昼寝のところをおじゃまいたしまして、たいへん申し訳ありませんでした。そのうちにまたこのへんに立ち寄ることもあると思いますので、もしそれまでにゴマの姿を見かけたら、ナカタにぜひ教えてください(後略)」(K1-102-5)

ロシア語版と日本語版を比較すると、丁寧さを表す手段が違うということが明らかになる。日本語のような敬語の体系がないロシア語では、代名詞を複数に変えることが敬語の 役割を果たしている、最も重要な言語リソースだと考えられる。また、例1に挙げられて いるように、名前の敬称である「さん」はロシア語の訳でもそのまま保持されている。ロシア人は同じような敬称を名前に付けないが、日本語ではその習慣があると知っている人が多いから、翻訳者は日本的雰囲気を創造するために、「さん」を音訳することにしたと思われる。無論、日本語の訳の方が丁寧だと感じられるが、文字通りに翻訳すると、おかしいロシア語になってしまう恐れがある故に、翻訳者はそれを避けながら普通よりも一歩丁寧な言葉遣いを選んでいっていると言えるであろう。

複数の代名詞の上に、ナカタは礼儀正しい決まり文句も流暢に利用している。例 3 に挙 げられている bud'te dobry (直訳:優しくしてくれて)はその一つの例である。また、例 4 に は、ナカタはオオツカさんという猫と別れる時に、非常に丁寧な言い回しをしている。

(4)「(前略) Želaju vam dobrogo zdorov'ja.」

直訳:あなたにいい健康を願っています。

原作:「(前略)どうかつつがなくお元気でお過ごしください。」(K1-108-8)

その礼儀正しい言葉遣いにより、ナカタは丁寧な紳士のみならず、優しい人というイメージも作られている。また、誰にしても同じ扱いをしているから、誠実で、表がなく心から話している、思いやりがある、気配りができるという印象が与えられていると考えられる。その極度の丁寧さで伝わる優しさを感じて、大勢の知らない人や猫などがナカタの作業をできるだけ手伝いたい気持ちになるであろう。

もう一つのナカタの話し方の特徴は指小辞の使い方である。ロシア語では多くの名詞や 形容詞には指小辞の形がある。例えば、「ruka」(手)に「čk」の語尾が付くと「ručka」(小 手)という指小辞の形ができる。Zemskaja(1993)によると、多量の指小辞を使うことは女性 の話し方の特徴である。その言語リソースによって、物事のサイズが減少できるだけでな く、そのものや相手に対して、温かい気持ちも伝えられる。ナカタは特に猫と話す時、指 小辞をよく使う。例えば、「koška」(猫)という単語を高頻度で「košečka」(猫ちゃん)とい う指小辞の形で使っている。特に、探しているゴマという猫のことを「koška」ではなく、 「košečka」といつも呼んでいる。また、その猫の特徴を説明する時、指小辞を数多く利用 するパターンが見られる。以下の(5)はその一つの例である。

(5) Eto-Kunžutka. Košečka, kotoruju iščet Nakata. Ej odin god. Pjostren'kaja.

直訳:これはゴマです。ナカタが探している<u>猫ちゃん</u>です。彼女は1歳です。<u>色と</u>りどりです。

原作:「これがゴマです、カワムラさん。ナカタが探しております猫さんです。 1歳の三毛猫であります。」(K1-157-16)

以上の例(5)では、ナカタは指小辞である「košečka」(猫ちゃん)以外に、「en'k」の指小語尾が入っている「pjostren'kaja」(色とりどり)という形容詞を使った。そうすることで、ナカタの猫に対しての愛が伝わると考えられる。なぜなら、猫が好きでなければ、指小語尾を使わなかったからである。しかしナカタは猫だけを対象に指小語尾を使っているわけではなく、様々な物事に対しても常に使いこなしている。例えば、猫に天気の挨拶する時に、Ne edinogo oblačka と言った。原作の「雲一つありません。」(K1-92-6)に当たるが、ロシア語では oblačka (雲)と言う単語には「čk」の指小語尾が付いている。その指小語尾の使用の目的は雲に対する優しい気持ちを伝えることよりも、自分の話しを全体的に和らげることだと考えられる。また、相手に対して悪意がなく、思いやりがある姿勢が表現できると言えるであろう。そのような例はナカタの話し方には数多くあり、それは優しいキャラクターのイメージを作るための手段の一つだと思われる。

その他、ナカタの話し方の特徴は古語の使用にある。例えば、猫の名前を聞く時、「A vas kak veličat'?」(直訳:あなたをどう呼びますか。原作:「(前略)猫さん、あなたは?」(K1-94-1))と言った。「Veličat'」(名前で呼ぶ)という動詞は古語であり、現代語では、その代わりに「zovut」と言う単語が一般的に使われている。しかし「veličat'」の語源は「velikii」(偉大)にあるから、相手を立てる機能がある。その機能を利用することで、ナカタは猫に対して敬意を示していると思われる。また、古語はナカタの高い実年齢を暗示的に伝える役割も果たしていると言えるであろう。

もう一つのナカタの重要な話し方の特徴は自分のことを名前で呼ぶことである。ロシア語ではそのような話し方をするのは5歳までぐらいの子供である。それ以降は、自分を一人称代名詞の「ja」(私)を使わなければ、非常に奇妙だとされる。しかし、ナカタが自分のことを名前で呼ぶのは変に感じるというよりは、その登場人物の独特な性格が伝わるというほうが正確である。普通の人間と異なる、特殊なキャラクターのイメージが作られるが、決して頭が悪いとか、あるいは幼いとかいった印象が与えられているわけではないと思われる。それよりは、別の世界からの存在なのではないかということを思い浮かべさせる効果があるであろう。ロシア語では、日本語と同じく、主語を省略することができるため、ナカタが話している時、毎回「Nakata」を繰り返さなくても良い。ただし、動詞は必ず三人称の形に合わさねばならないという文法的規則がある。以下の例では、ナカタは子供の頃に合った事故の影響について話している。主語が名前である文と三人称の代名詞である文、または主語がない文が混ざっている。

(6) 「(前略) Tol'ko <u>Nakata</u> po drugomu ne ume<u>et</u>. <u>On</u> vsegda tak govor<u>it</u>, potomu čto u nego s golovoj ploho. (中略) Nakata daže pisat'ne umeet. Knig i gazet tože ne čitaet.」 直訳:しかし、<u>ナカタ</u>は他の話し方ができません。<u>彼</u>はいつもそう話しているのは 頭が悪いからです。<u>ナカタ</u>は書くことさえできません。本も新聞も読みません。 原作:「(前略)しかしナカタにはこういうしゃべり方しかできないのです。普通に しゃべりますと、こうなります。頭が悪いからです。(中略)字だってかけません。 本も新聞も読めません。」(K1-96-5)

このように、ナカタは、一人称の代名詞を避け、三種類の文を使っている。ただし、主語が自分と第三者であれば、「my」(私達)という複数の一人称代名詞を使うことがある。例えば、ナカタはホシノさんに石を探す必要性を説明する時に、次のように話す。

(7)「(前略)A esli my poedem tuda, to skoree vsego pojmjom」

直訳:もし私たちはそこへ行ったら、きっと分かるでしょう。

原作:「(前略)実際にそこにいけばたぶんわかるのではないかと思いますが」(K2-23-11)。

ナカタは「私」の代名詞が使えないのに、「私たち」という複数形が使えるということは不 思議である。翻訳者は複数の一人称をもしかすると無意識的に使用しているかもしれない。 文の構成に関して言うと、ロシア語の翻訳では、ナカタが話す文章は比較的短くて、接 続詞はほぼない。そういった点から観察すると、ナカタは独自の才能があるとは言え、知 恵があると印象を与えるには多少無理がある。以下の例7では、ナカタは自分の知的能力 について猫に説明している。ロシア語版と原作を比較してみよう。

(8) 「Da... net... To est', Nakata ploho v etom razbiraetsja. S detstva emu tverdili: slaboumnyi, slaboumnyi. Čto eščjo dumat' ostajotsja? 後略」

直訳:はい。。。いいえ。。。というのは、ナカタはそれはよく分からないのです。子供の頃から、「頭が悪い、頭が悪い」と言われ続けていました。他に何と思えばいいですか。

原作:「はい、いいえ、つまり、そのへんのことは、ナカタにはよくわかりません。 しかし

ナカタは小さいころからみんなにずっと頭が悪い、頭が悪いと言われつづけまいりましたので、じっさいに頭が悪いとしか思えないのです。(後略)」(K1-97-8)

原作版では「つまり」、「しかし」、「ので」などの接続詞が使われているが、ロシア語では、殆どの接続詞は翻訳されていないということが分かる。また、日本語の文は長く、文

法やスタイルがきれいである。そのため、ナカタは自分のことを「頭が悪い」と言っているが、原作を読む限り、そういう風にはとても思えない。しかし、ロシア語の文の長さはおよそ 5-6 語の単語である。このように、ナカタの文章は翻訳のプロセスでは、かなり単純化されている。それによって、伝わる効果が違い、原作のナカタのイメージはロシア語バージョンと異なると思われる。ナカタの優しくて、丁寧な性格はロシアの翻訳を通じても伝わるであろうが、彼の知能は伝わるというわけではない。逆に、ナカタのロシア語の話し方は多少に知性が乏しい印象を与えていると考えられる。

4.終りに

本研究では、ナカタの話し方の様々な特徴を調べ、ロシア語ではキャラクターの性格を描くために、日本語と異なる言語リソースが使われることを明らかにした。そのリソースによって、ナカタが優しくて、丁寧で、思いやりがある、特殊な人間だというイメージが作られたと考えられる。しかし、ナカタが話す文章の構成は非常に単純化されているゆえに、それほど知的でないという印象も与えられている。そういった点から考えると、ロシア語版の翻訳者はその原作のニュアンスは保持できなかったと言えるであろう。ロシア語でもナカタがより複雑な文を使えば、原作のイメージが伝えられたと思われる。

このように、登場人物の話し方の特徴を分析していくと、キャラクターの性格の作り方のプロセスが分かる。また、他の言語では異なるリソースによって、そのイメージが原作とは一致しているかどうか、どのように似ていないかなどの点も明らかになる。今後の研究では、原作とロシア語の翻訳における村上春樹の「1Q84」の登場人物の話し方の特徴やイメージを比較的に調べていきたいと思う。

参考文献

金水敏 (2003) 『バーチャル日本語 役割語の謎』東京:岩波書店.

村上春樹 (2002) 『海辺のカフカ』東京:新潮社

村上春樹(2005) 『Kafka na pliazhe』(海辺のカフカ、I. Logachev & S. Logachev、翻訳)モスクワ: Ėksm

Zemskaja, E. A. & Kitajgorodskaja M.V. (1993). Osobennosti muzhskoĭ i zhenskoĭ rechi (女性と男性の話し方の特徴). T. G. Vinokur, E. A., Zemskaja & D.N. Shmelev: Russkiĭ jazyk v ego funktsionirovanii (ロシア語の

実用), 120-142. モスクワ: Nauka.

『海辺のカフカ』の登場人物ナカタさんの役割語と チェコ語版への反映

中屋テレザ (パラツキー大学)

1. はじめに

本稿は、大阪大学文学研究科・金水研究室が進めている「村上春樹翻訳調査プロジェクト」の報告書である。このプロジェクトでは、世界中の多くの言語に翻訳されている小説『海辺のカフカ』における役割語が各国語の翻訳にどのように反映されているかが調査されている。本稿では、同作の主要登場人物ナカタさんに焦点を当て、ナカタさんのキャラクター言語がチェコ語にどのように翻訳されているか、また、どの程度チェコ語訳に反映されているかを考察する。金水(2003)は役割語を以下のように定義している。

ある特定の言葉づかい (語彙・語法・言い回し・イントネーション等) を聞くと特定の人物像 (年齢、性別、職業、階層、時代、容姿・風貌、性格等) を思い浮かべることができるとき、あるいはある特定の人物像を提示されると、その人物がいかにも使用しそうな言葉づかいを思い浮かべることができるとき、その言葉づかいを「役割語」と呼ぶ。 (金水,2003:205)

本稿の趣旨に沿って言えば、原著である日本語版『海辺のカフカ』の読者はナカタさんの言葉 づかいから特定の人物像をイメージすることができるが、チェコ語訳の読者もナカタさんについ て同様の人物像をイメージすることができるかどうかが問題であり、これを用例を挙げて検証す るのが本稿の目的である。

調査資料として、原著は『海辺のカフカ』新潮文庫版、チェコ語版はトマーシュ・ユルコヴィチ (Tomáš Jurkovič) 訳の『Kafka na pobřeží』 (カフカ・ナ・ポブジェジー) を用いる。原著は上巻と下巻の二冊からなるが、翻訳は一冊にまとめて刊行された。用例の出典表示には「巻番号 - 頁番号 - 行番号」という形式を用い、巻番号については原著の上巻は「K1」、下巻は「K2」、チェコ語版は「 K_{CZ} 」と示すものとする。用例は最初に原文、次にチェコ語訳、最後に筆者がチェコ語訳を日本語に直訳風に訳したものを挙げる。なお、用例の下線は筆者が付したものである。

2. ナカタさんのキャラクター言語

本節では『海辺のカフカ』の主人公カフカ少年に準ずる登場人物ナカタさんの人物像を考え、 ナカタさんのキャラクター言語 を検討する。

2.1. ナカタさんの人物像

ナカタさんは東京都に住む初老の男である。山梨県に疎開していた戦時中、野外実習中に事故 に遭い、第6章にある本人の言によれば、「事故の起こる前には」秀才だったが意識が戻った後 には「頭が悪くなっ」た(K1, 104)。その少年時代の事故の後遺症で知的障害が残っているせ いか読み書きができず不自然な話し方をする。大人になって家具製作の仕事をしていたが現在は 東京都の補助金を受けて生活している。ナカタさんは他人より影が薄いことを自覚しているとも 描写されている。また猫と意思疎通する能力を有しており、物語において重要な役割を果たす石 と交流することもできる。

ナカタさんの話し方や台詞の主な特徴としては以下の三点を挙げることができる。

- (ア) 自称として三人称を使う。
- (イ) 誰に対しても不自然なほど丁寧に話す。古風な言い回しもする。
- (ウ) 語彙力や言語理解力に限界がある。

作中のナカタさんの言動からは、相手が悪人であっても猫であっても常に丁寧に応対し、相手 への思いやりを持ち謙虚にふるまっていることから、ナカタさんの優しく穏やかな性格が浮かび 上がってくる。

ここで一つ言及しておきたいのは、ナカタさんが作中「ナカタさん」とカタカナで表記されて いることである。ナカタ少年が遭遇した事件をアメリカ陸軍情報部が調査に訪れ、ナカタ少年の 事例を報告書にまとめている。ただ、米国の資料だから日本人の名前がカタカナ表記されるとい うわけではない。調査に協力したり証言したりした日本人²の名前は漢字表記されているからで ある。ところで、ナカタさんが警察に自首しようとした場面が描かれている第 18 章では、「ナ カタサトル」と本名をフルネームで名乗っている。ただ警官に名前の漢字表記について尋ねられ ると、読み書きができないとして自分の名前を漢字でどう書くのかわからないと答えている (K1, 351)。また、第 12 章では事件当時児童を引率していた岡持教諭が後年手紙で当時の事情 を告白しているが、「中田という男の子」「中田君」のようにナカタさんの名字を漢字で明記し ている(K1,208-215)。それにもかかわらず作中では名前の表記は「ナカタさん」で一貫して いるのである。しかしここではカタカナ表記されている理由ではなくその効果に注目してみたい。

一般的に日本人の名前がカタカナで表記されると日本人性が薄められ、その人物にある種の匿 名性が付与される。ナカタさんに関しても、中田という名の具体的な人物というよりも、匿名性

¹具体的な作品における特定の登場人物特有の話し方なので、金水(2016)にならい「役割語」では なく「キャラクター言語」という表現を用いる。

² 野外実習の際に児童を引率した岡持節子教諭、事件現場に駆け付けた中沢重一医師、精神医学教室 の塚山重則教授。

をまとったやや抽象的な人物という印象を受ける。物語の中で明かされる情報から日本人である ことは疑いようがないものの、話し方や振る舞いが日本人の行動様式からずれていることも相ま って、日本人性が希薄になっているということもできるだろう。

他の文学作品に視野を広げてみると、ナカタさんに類似する登場人物として挙げることができるのが、ドストエフスキーの『白痴』におけるムイシュキン公爵、大江健三郎の小説における「イーヨー」または「光」である³。いずれも何らかの病気を持ち普通の人間とは異なる言動をするが、純粋無垢であり特殊な能力を持ち、物語において人間関係の中に潜む嘘や欺瞞、不条理などを照らし出すなど重要な役割を担っている。ナカタさんが猫語を解したり、世界と世界を結びつける場所にある「入口の石」と交流したりするのも特殊な能力であり、さらにいえば超人的な能力である。これらのキャラクターに共通しているのは、何らかの欠落のある一方で特殊な能力が付与されていることである。また、言動にはイノセンスさがみられ、さらに何か超越的なものを志向する精神性、ときにはある種の神秘性すら感じられるという特徴も観察できる。他人より影が薄いというナカタさんの属性は当人に神秘性を付与するものと考えることができる。また、ナカタさんには性欲をはじめとする欲望がないとされているのも人物の純粋性、イノセンスさを補強しているだろう。

以下、ナカタさんの話し方の三つの特徴がそれぞれ現れている用例を見ながら、チェコ語訳に おいても上述したナカタさんの人物像が感じられるかどうか検証していく。

2.2. 自称としての三人称

第6章でナカタさんは「初老の男」(K1,92)として登場し、「年老いた黒い雄猫」と対話する。まず目を引くのがナカタさんが自称として「ナカタは」という風に三人称を使っている点である。

(1) あの、ここにちょっと腰をおろしてかまいませんか? ナカタはいささか歩き疲れました ので(K1-93-8)

Nebude vás obtěžovat, když si tu Nakata na chvíli sedne? Dost se už nachodil a je unavený. (K_{CZ} - 55 - 21)

ここにちょっとナカタが座ってもかまいませんか? ずいぶん歩いてきて疲れているのです。

ナカタさんが発話する用例(1)では主語が「ナカタ」になっているが、自称として三人称を使っていることで相手(または読者)に違和感を与える。ただ、ナカタさんはこの場面だけでなく物語中ほぼ一貫してこの話し方で通しており、読者はほどなくナカタさんの話し方に慣れ、違和感も薄れていく。

_

³2013年5月2日、オロモウツ市のパラツキー大学で開催されたワークショップ「台詞や小説における役割語」において、金水が「ナカタさん」と「イーヨー」の類似点を指摘した。

日本語母語者が会話で自称として三人称を使うことはあるが、幼児が自分を指す場面、大人が子供に話しかける状況 4 、自己顕示や甘えなどの効果を狙って大人(特に若い女性)が使う場合などに限られる。チェコ語でも同様である。幼児が自称として自分の名前を使う場合があるが、常にそうするわけではない。大人が自称として自分の名前を使うのはまれであり、一般的にこのような話し方は相手に違和感を与える。

ただ、ナカタさんは何らかの効果を狙っているわけでなく、自分としては自然な言い方として 自分のことを「ナカタ」と呼んでいる。

ナカタさんは他の日本語母語者と同じく、特に必要がなければ自分を指す主語を省略する。用例(1)の原文の最初の文は相手に許可を求めるフレーズである。主語がないのはそれが自然だからであり、例えば「私が腰をおろして(も)かまいませんか」と言ってしまうと主語が強調されすぎの印象がある。ナカタさんはほぼ一貫して自分の名前を自称として使っているので、この文に主語を補うとすれば「ナカタが(腰をおろして……)」という風になると推測することができる。二つ目の文も通常の会話では主語はなくても通じるが、「ナカタは」と主語が明示されている。

チェコ語では主語と動詞の人称が一致し、動詞の活用形で性別や人称がわかる仕組みになっている。そのため文脈から動作主が明らかなときは、人称代名詞を含め、主語が省略される。用例(1)のチェコ語訳でも原文通り話者のナカタさんが三人称で話すスタイルが維持されており、これはナカタさんの動作や状態を表す「sednout si(座る)」、「nachodit se(歩き回る)」、「být unavený(疲れている)」の三つの動詞をすべて三人称単数形にすることによって実現されている。ただ、原文とは逆に最初の文で主語が明示され、二つ目の文では主語が省略されている。その理由として考えられるのは、もし原文に忠実に訳したら、日本語とは違い、最初の文で誰が腰を掛けたいのかがはっきりしなくなるためであろう。そして最初の文の主語が「Nakata」と明示されると、二つ目の文の主語も同じことは明らかなので、「Nakata」も人称代名詞の「on(彼)」も文中に明示する必要がなくなったのである。

ところで、ナカタさんは発話において自称の「私」をまったく使わないわけではない。第 10 章でシャム猫のミミに自己紹介する場面では、ナカタさんは一人称を使っている。

(2) 私はナカタと申します。こんにちは(K1 - 159 - 7)

<u>Jmenuji se</u> Nakata. Dobrý den <u>přeji</u>. $(K_{CZ}$ - 93 - 17) ナカタと申します。こんにちは。

この用例では原文でもチェコ語でも一人称単数形になっている。ナカタさんは「私は」と言っているが、日本語では自己紹介のとき「私は」と言わないのが普通であろう。チェコ語でも自己紹介のときたいていの場合一人称代名詞「já」は省略する。「私」が強調されすぎるからである。もちろん強調したい場合は主語「já」を入れる。用例(2)の場合、原文では「私」が明示され

-

⁴母親が自分の子供に向かって自分のことを「お母さん」や「ママ」と指すようなケースである。

強調されているようであるが、チェコ語訳では主語は明示されていない。一方、動詞については、再帰代名詞を付けた動詞「jmenovat se (名前は \bigcirc です $/\bigcirc$ と申します)」が一人称単数形「jmenuji se」になっている。

また、「こんにちは」という挨拶がチェコ語訳では「Dobrý den přeji」と訳されている。挨拶としては通常は「Dobrý den」が一般的であるが、この台詞では動詞「přát(~ように願う)」の一人称単数形「přeji」が添えられている。直訳するならば「良い日になるように願っております」のようになるだろう。これは確かに「こんにちは」をより丁寧にした言い回しではあるが、現代チェコ語では会議やスピーチの冒頭などに使用は限られ、日常会話でも話者の気分が良いときに誰かに挨拶する場面以外にはほとんど使われない。また、イントネーションによっては相手を馬鹿にした言い方にもなる。もう一つ指摘しておきたいのは、ナカタさんの台詞のチェコ語の動詞活用形がフォーマルな語尾になっていることである。日常会話では一部の動詞の一人称単数形の語尾は「・u」になるのであるが、ナカタさんの台詞ではフォーマルな語尾「・i」(「jmenuji」、「přeji」)になっている。動詞のフォーマルな語尾は、チェコ語版では作中の各所で適用されており、これによりナカタさんの話し方の丁寧さ・フォーマルさが強調されている。

ナカタさんの発話はチェコ語訳でも大体において三人称で話すスタイルが維持されている。原 文でもチェコ語訳でも、このような話し方は最初は話し相手にも読者にも違和感を与えるが、こ れがナカタさんのスタイルだと了解されれば、次第に違和感は薄れていく。

2.3. 過剰に丁寧な話し方

ナカタさんは敬語を使うことができ常に丁寧な話し方をするが、誰に対しても同じように丁寧 に話すところが特徴的である。

- (3) それでは猫さんのことを、オオツカさんと呼んでよろしいでしょうか? (K1 94 9) Promiňte, pane kocoure, ale nemohl by vám Nakata říkat pan Ócuka? $(K_{CZ} 56 15)$ すいませんが猫さん、ナカタがあなたのことをオオツカさんと呼んでもかまいませんか?
- (4) そう言っていただけると、ナカタもたいへん嬉しくあります。たいへんありがとうございます、オオツカさん(K1-96-1)

Pane kocoure, jste velice laskav a Nakata je vám opravdu zavázán. Uctivé díky, pane Ócuko. $(K_{CZ}$ - 57 - 4)

猫さん、大変親切にしてくださってナカタはあなたに本当に感謝しています。心から感謝 いたします、オオツカさん。

用例(3) と(4) は第6章でナカタさんが老黒猫に話している場面であるが、猫相手にも敬語を使って話している。日本語として自然な敬語でありナカタさんが敬語を使い慣れていることが推察される。用例(4)の言い回し「嬉しくあります」には多少古風な響きがあり、「嬉しいです」と言うのが普通であろう。若者が使う言い回しではなく、使うとすれば中高年の人間だろう

が、それでも中高年の人が一般的に使う言い回しでもない。ともあれ腰が低い初老のナカタさんの人物造形の一環として採用された言い回しであろう。上の例でもう一つ注目したいのが猫に対して「猫さん」「オオツカさん」のように敬称を付けて話していることである。また前述した特徴、自称として三人称を使っている点も確認される。

チェコ語訳では、ナカタさんの丁寧な話法は反映されており、ナカタさんの三人称で話すスタイルも維持されている。敬称についても「さん」に該当するチェコ語の敬称「pan」を使うことによって翻訳に反映されている。

- (5) そのことはついぞ考えてもみませんでした。(K1 108 1)
 Nakata o takových věcech ještě nikdy nepřemýšlel.(K_{CZ} 63 2)
 ナカタはそのようなことについて今まで考えたことはありません。
- (6) どうかつつがなくお元気でお過ごしください。(K1 108 7)
 Račte se prosím mít i nadále co možná nejlépe. (K_{CZ} 63 10)
 今後も可能な限りお元気でお過ごしくださいませ。

上の例の(5) と(6) もナカタさんが老黒猫に話している場面である。「ついぞ」も「つつがなく」も日常会話ではほとんど使われない古風な表現である。チェコ語訳では「ついぞ」の古風さは反映されていないが、「つつがなく」のほうは「可能な限りお元気で」という強調表現によって翻訳に反映されている。また、チェコ語の雅語的命令文に使われる補助動詞「Račte」を使うことによってナカタさんの過剰な丁寧さが表現されている。

- (7) はい。そのとおりであります。それがナカタの知りたいことであります(K1 295 6) Ano prosím. Přesně tak. To chce Nakata opravdu vědět.(K_{CZ} 164 34) さようでございます。そのとおりです。そのことをナカタは本当に知りたがっています。
- (8) それはナカタにできることなのでありましょうか?(K1 298 10) Jen jestli to Nakata bude umět?(K_{CZ} - 166 - 20) それがナカタにできればの話なのですが。
- (9) 今日は何曜日でありましょうか? (K2 286 4)
 Co prosím máme dnes za den? (K_{CZ} 422 25)
 今日は何曜日でしょうか?

用例 (7) ~ (9) では「であります」というかなりへりくだった言い回しが使われている。通常の会話でこのような言い回しをする人はまれだと思われる。現在の日本語の会話では、それぞれ「そのとおりです」、「それがナカタの知りたいことです」、「できることなのでしょうか」、「何曜日でしょうか(何曜日ですか)」のようになるだろう。へりくだった言い回しはチェコ語訳では直接は反映されていないが、別の謙譲表現を追加したり間接的な言い方を採用したりすることによってある程度表現されている。

ナカタさんは、以下の用例(10)と(11)に見られるように、「はい」や「そのとおりであります」のような相づち表現を口癖のように多用している。

(10) はい。そのとおりであります(K2 - 23 - 14) Ano prosím. Je to <u>prosím</u> přesně tak.(K_{CZ} - 281 - 16) さようでございます。まさにそのとおりでございます。

(11) まことにそのとおりであります (K2 - 300 - 3)

Přesně tak <u>prosím</u>. Naprosto tak, jak říkáte. $(K_{CZ} - 429 - 35)$ まさにそのとおりでございます。まさに(あなたが)言うとおりです。

ナカタさんは「はい」を多用しているが、その訳語としてチェコ語版ではたいていの場合「ano prosím」と訳されている。「ano」が「はい」に該当する表現であるが、さらに「prosím」ないう英語の「please」に使用法が似ている表現が添えられている。チェコ語では普通「prosím」は依頼するときに用いる。話者が依頼表現にこの語を付加すると依頼のトーンが和らぎ丁寧さが表現される。依頼とは関係のない「ano prosím」という言い方は、給仕(使用人)が主人に使うような古風な相づち表現であり、現代では使われる状況は限られる。目上の人が詰問してきたときの返事などが考えられるが、他の場面でこのような言い方をするとコミカルに響くか皮肉を言っているように聞こえる。さて、これまで相づち表現の訳語としての「prosím」の用法を見てきたが、「prosím」には古めかしい言い方である別の用法もあり、話者の謙譲な態度を強調して発話の全体のトーンを丁寧にする機能がある。チェコ語版のナカタさんの台詞には、以下の用例(12)~(14)のように、この用法の「prosím」も多用されている。

(12) はい。嘘ではありません(K1 - 457 - 12)Kdepak. To je prosím čistá pravda.(K_{CZ} - 254 - 25)いいえ。それは純粋な真実でございます。

(13) 頭がもともと良くない上に、そういうものまで出てきておりますので、これはどうしよう もありません(K2-55-6)

To se nedá nic dělat, Nakata je prosím hloupý a se složitými věcmi jako vchodové kameny si neví rady. $(K_{CZ} - 298 - 37)$

仕方がありません。ナカタは頭が<u>良くないのでございまして</u>、入り口の石のような複雑な ものについてはどのようにすればよいのかわかりません。

(14) 不思議であります。(K2 - 294 - 12)

Je to <u>prosím</u> zvláštní. (K_{CZ} - 427 - 3)

-

⁵「prosím」は動詞「prosit (お願いする)」の一人称単数形である。「prosit (お願いする)」という動詞には、依頼以外にも相手に応答するときに使う感動詞的用法があり、この用例のように「ano (はい)」に付くとへりくだった語感が強調される。

それは不思議でございます。

チェコ語版では原文に丁寧な表現がないところやへりくだりが感じられないところでも「prosím」が使われているため、チェコ語版では「prosím」がまるでナカタさんの口癖のように感じられるほどである。この「prosím」の多用は翻訳者が意図的に採用した手法であろうが、ナカタさんの腰の低さがいたるところで強調されることになっている。ただ、この用法の「prosím」を使った言い回しは古風な表現であるため、現代のチェコ語の会話ではほとんど使われることがない。用例(14)を例に説明すると、チェコ語では普通は「Je to zvláštní」で十分意味が伝わるのであって、「prosím」を添えたこの訳文は丁寧すぎであると同時に古めかしすぎて発話として不自然に響くのである。

ただ、ナカタさんのキャラクター言語の観点から考えると、原著のナカタさんは不自然なほど腰が低く丁寧な話し方をするのであるから、この「prosím」の多用によってナカタさんの過剰なほどの物腰の柔らかさはチェコ語版にも反映されていると考えることができる。

ナカタさんの言葉づかいには他にもいろいろな敬語表現が見られる。チェコ語には日本語の敬語に完全に一致するものが存在しないが、上述した「prosím」の用法、仮定法、親称と敬称の使い分け、フォーマルな語彙の使用などによって相手に対する敬意や謙譲などを表すことができる。それで翻訳者は原著の敬語表現を様々な工夫をしてチェコ語に翻訳しようとしたと推察することができる。

ここで一言しておきたいのだが、翻訳者は原著に現れるすべての敬語表現を忠実に訳したわけではない。

- (15) あの、ホシノさん。ひとつうかがってよろしいでしょうか(K2-16-1) Dovolíte, pane Hošino, může se vás Nakata na něco zeptat? ($K_{CZ}-277-7$) ナカタがあなたにひとつ聞いてもいいですか。ちょっとよろしいですか、ホシノさん。
- (16) おっしゃるとおりであります(K2 55 13) Přesně tak, jak říkáte. (K_{CZ} - 299 - 7) まさに言ったとおりです。

用例(15)のナカタさんが星野青年に質問する場面では、日本語で丁寧に前置きの言葉を述べている。チェコ語訳では翻訳者は「Dovolíte(よろしいですか)」と「může se vás zeptat?(質問してもいいですか)」という表現を採用しているが、日本語の丁寧さの水準とチェコ語訳の丁寧さを比較すると、チェコ語の丁寧さの水準のほうが低めになっている。チェコ語で相手に許可を求める場合、用例のように可能の助動詞「můžu」を使うが、それほど丁寧な言い方ではない。より丁寧に許可を求める場合は許可の助動詞「smím」を使うか、さらにその仮定形「směl bych」を使う。したがって、この用例(15)では丁寧さの水準はチェコ語に十分には反映されていないと言うことができる。

用例 (16) でもナカタさんは敬語を使っているが、チェコ語訳では丁寧な言い方になっている ものの、「であります」のへりくだった物腰や硬い語感も「おっしゃる」の語感も特に反映され ていない。

以下の用例(17)では、尊敬語「おっしゃる」の語感は、前述した「prosím」の用法によって間接的にチェコ語訳に反映されている。また、この用例では原文と比べるとチェコ語訳では星野青年を指す呼びかけの言葉「pane šofére」が追加されている。「pane」は「pan」(男性名に付く敬称「さん」)の呼格であり「šofére」は「šofér」(「運転手」のやや口語的な表現)の呼格である。原文にはない呼びかけを入れることによって、ナカタさんの自分を卑下した態度や物腰の柔らかさを表現するという翻訳者の意図が感じられる。

(17) はい。おっしゃるとおりですが、ナカタはこれを持っていないと気持ちが落ち着かないのです(K1-436-13)

To je prosím pravda, jenže bez svých věcí se Nakata necítí vůbec dobře, <u>pane šofére</u>. (K_{CZ} - 243 - 4)

それは本当でございますが、自分のものがないとナカタは気分がまったく良くないので す、運転手さん。

(18) ありがとうございます (K1 - 437 - 1)Vřelé díky, pane šofére. (K_{CZ} - 243 - 8)心から感謝します、運転手さん。

用例(18)も原文にない呼びかけが追加されている例である。また、この用例のフレーズ「ありがとうございます」は「vřelé díky」と訳されている。「vřelé」は「心からの」という意味の文語的形容詞であり、「díky」は感謝を表す表現である。ただ、チェコ語では丁寧に感謝を表すときは「Velice vám děkuji(大変ありがとうございます)」などのフレーズを使うのが一般的である。つまり、文語的な表現「vřelé díky」と「運転手さん」という口語的呼びかけが組み合さっているわけで、用例(18)の文のチェコ語訳は全体としてはかなり不自然に響く。

(19) 申し訳ありませんが、ホシノさん、ナカタは頭がよくないもので、字というものが読めないのです(K1-438-2)

Račte odpustit, pane Hošino, ale Nakata je prosím tak hloupý, že ani neumí číst. $(K_{CZ}$ - 243 - 26) お許しくださいませ、星野さん。ナカタはひどく間抜けでございまして、読み書きもできないのです。

用例(19)のクッション言葉「申し訳ありませんが」には該当するチェコ語のフレーズは使われておらず、その代りに前述した「račte」というチェコ語の雅語的命令文に使われる補助動詞と「odpustit(許す)」という動詞が使われている。補助動詞の基本形は「ráčit」で、日本語では「遊ばす」、「下さる」、「給う」などが相当するであろう。補助動詞「ráčit」は古風な表現で

あり、おとぎ話などでは登場人物がお姫様や王様に敬意を表す手段として頻繁にあらわれるが、 通常の会話で使うとかなりコミカルに響くか皮肉を言っているように聞こえる。

次の用例(20)のチェコ語訳でも「račte」が使われている。「おっしゃる」は「言う」の言い換え型尊敬語であり、チェコ語では「račte říkat」という「říkat(言う)」の尊敬表現になっている。ところで、日本語では通常の会話でも相手が言う行為について「おっしゃる」を使うのは普通であるのに対し、チェコ語の通常の会話では「račte říkat」の使用はまず考えられない。用例(20)ではもう一箇所「račte」が現れる。今度は「neračte」という否定命令形であり「hněvat se(いかる)」に接続し「怒らないでくださいませ」のような意味になっている。だが、原文の台詞にはこのような箇所は見られず、翻訳者が自らの判断で追加したと思われる。

(20) はい。じつにホシノさんのおっしゃるとおりなのですが、正直に申し上げまして、ナカタ にもどうしていいものかまだよくわからんのです(K2 - 162 - 1)

Ano prosím. Je to prosím přesně tak, jak <u>račte</u> říkat, pane Hošino. <u>Neračte</u> se prosím na Nakatu hněvat, ale aby vám řekl pravdu, zatím si ještě neví dobře rady. (K_{CZ} - 355 - 25)

さようでございます。まさにホシノさんが言ってくださっているとおりです。ナカタのことを怒らないでくださいませ。しかし、本当のことを言いますと、どうすればよいのかまだよくわかりません。

以上の用例から、ナカタさんが相手の動作について話す場面で、翻訳者は動作を表す動詞に「ráčit」という補助動詞を付けることにより、日本語の尊敬語の機能を訳文に反映させようとしたと推察することができる。ただし、原文中の動作を表す尊敬語がすべてこの補助動詞を付けて訳されているわけではない。補助動詞を使用するか否かは翻訳者が自分の判断で決めたものと思われる。補助動詞「ráčit」には確かに相手を敬う態度が込められているが、上述したようにチェコ語の通常の会話では使用されない。この語法が古風すぎて現代では使用する場面がなく、もし使用すれば滑稽または慇懃無礼に聞こえるからである。ナカタさんの台詞に関して言えば、現実にこのような話し方をする人間は存在しないが、チェコ語版を読む読者は違和感を覚えながらもナカタさんのこのような語法に慣れていくと思われる。

ナカタさんの丁寧な話し方の特徴としては、呼び捨ては一切しないことも挙げられる。人間に対しても動物(猫や犬)や物(石や雷)についても呼びかけたり言及したりするときに敬称の「さん」を付ける。人間の場合はチェコ語訳でも敬称「さん」に相当する「pan」(男性の場合)と「paní」(女性の場合)が使われている。チェコ語版では動物に言及するときは、日本語とは違い「さん」付けはせずに指小語が使われている。「猫さん」は「kočička(ねこちゃん/にゃんこ)」、「犬さん」は「pejsek(わんちゃん)」と翻訳されており、チェコ語訳ではナカタさんが動物に常に優しく接し愛情を持っていることが感じられる。ただ、このような言い回しは大変子供っぽいので、ナカタさんの年齢を考えると読者は知能水準の低い人という印象を受けるかも

しれない。他にもナカタさんの発話に「雷さん」や「石さん」などの表現が見られるが、チェコ 語訳では反映されておらずチェコ語の敬称も指小語も使われていない。

ナカタさんは誰に対しても常に丁寧に話している。相手が極めて口語的な表現、汚い表現、くだけた表現を使っていてもナカタさんはいつも敬語を使って接している。ナカタさんの発話は、チェコ語訳でも大体において非常に丁寧に話すスタイルが維持されている。原文では尊敬語、謙譲語などの敬語や「であります」のような古風で硬い表現、丁寧すぎる敬語やフレーズなどがしばしば使われている。チェコ語には日本語のような豊かな敬語表現(特に動詞の言い換え型や付け足し型の尊敬語や謙譲語)がないため、翻訳者はナカタさんの話し方をチェコ語に反映させるべくいろいろ工夫したと推察されるが、チェコ語版にもナカタさんの台詞に見られる丁寧さ、物腰の柔らかさは十分反映されていると言うことができる。チェコ語版における「prosím」の多用や「ráčit」の用法を分析したが、現実のチェコ語の会話で使うと不自然に響いたり滑稽に聞こえたり慇懃無礼に解釈されたりする恐れがある言い回しがチェコ語版のナカタさんの台詞には頻繁に使われている。チェコ語の訳文にはある程度の違和感が感じられるものの、その違和感はとりもなおさず原著に見られるナカタさんの話し方の過剰な丁寧さや不自然なほどのへりくだった態度に由来するのであるから、ナカタさんのキャラクター言語の観点から考えると有効な手法であると評価することができる。

本節の検証では、翻訳者はナカタさんの台詞の中の丁寧な表現をすべて原文に忠実に翻訳しているわけではないことも明らかになった。丁寧な表現を翻訳にまったく反映させていない箇所もある。逆に、原文のナカタさんの台詞の中に丁寧な表現がないにもかかわらず、翻訳者が自分の判断で丁寧な表現または敬語表現を補って翻訳した箇所もある。ただ全体的に見ると、原著に見られるナカタさんの過剰に丁寧な話し方はチェコ語版に十分に反映されていると結論することができる。

2.4. ナカタさんの語彙力と言語理解力

本節ではナカタさんの言葉づかいの他の特徴を検討する。ナカタさんは少年時の事故の後遺症で読み書きができなくなったため語彙がある程度限られていると考えられる。読み書きができないと言っても日常会話に支障が出るほどではなく、本人がそう相手に打ち明けない限り、相手はそのことにおそらく気づかないと思われる。ただ、ナカタさんは会話のとき相手が難しい言葉を使うと聞き返したり、一緒に旅をしている星野青年が使うことわざを文字通り解釈したりする。ナカタさんの台詞の言葉の多くは漢字で表記されているが、カタカナで表記されている表現も出てくる。たいていは少し専門的な名詞(特に漢語表現)や固有名詞などであり、本人は発音を知っておりどのような状況で使われるかもわかっているが完全に意味は把握していないような表現がカタカナで表記されていると考えられる。

本節ではまずカタカナ表記されている固有名詞と漢語表現について述べ、チェコ語訳にどのように反映されているかについて考察する。さらにナカタさんの言語理解力の不足によって生じる言葉の誤った解釈にも触れたいと思う。

2.4.1. 原文でカタカナ表記になっている表現

ナカタさんの台詞では固有名詞と漢語表現の一部がカタカナで表記されている。まず固有名詞 の人名、地名、組織名の表記とチェコ語への反映について考察する。

ナカタさんが話し相手を指したり別の人物に言及したりするとき、人の場合は「ホシノさん」「コイズミさん」「ハギタさん」、猫の場合は「オオツカさん」「カワムラさん」「ミミさん」「ゴマさん」「オオカワさん」のように、名前がカタカナで表記されている。ナカタさんの台詞に現れる地名(「エノシマ」(K1,457)、「カラスヤマ」(K1,107)など)もカタカナで表記されている。カタカナ表記の例としては「トウメイ高速道路」(K1,389)、「コウムラキネントショカン」(K1,299)、「ショウエイソウ」(K1,98)なども挙げることができる。ただし、すべての地名がカタカナで表記されているわけではない。例えばナカタさんの発話に現れる「山梨県」(K1,457)、「東京」(K1,457)、「世田谷区」(K1,107)、「中野区」(K1,107,440)や「松本」(K2,256)などの地名は漢字で書かれている。チェコ語訳では人名と地名のカタカナ表記は特に反映されておらず、たいていはチェコ語のアルファベットに変換されているだけである。

人名のカタカナ表記に関連して指摘しておきたいのは、チェコ語版における登場人物ジョニー・ウォーカーの表記である。原著では「ジョニー・ウォーカー」という表記で統一されているが、チェコ語訳では以下の四つの表記が使用されている。

- ① Johnnie Walker
- 2 Džony Wolkr
- 3 Džony Volkr
- 4 Johny Walker

表記①は登場人物の呼び名のもとになった商標通りの表記であり、地の文(物語の話し手の語り部分)で使われている。また、ジョニー・ウォーカー本人が自分のことを指す場合にもこの表記になっている。表記②は「Džony Wolkr(ジョニ・ウォルクル)」というチェコ語風の表記(チェコ人が発音する場合の表記)である。表記②と発音が変わらない表記③も確認された。表記②と③はナカタさんがジョニー・ウォーカーに言及したり呼びかけたりするときに使われている。これは、英語の言葉を聞いたナカタさんが聞こえた通りにチェコ語のアルファベットに変換して発音したという印象である。表記④は星野青年がジョニー・ウォーカーに言及するときの表記である。星野青年の場合には表記①の「Johnnie Walker」も使われることがある。星野青年は英語の発音を聞けば単語の綴り方が大体わかるという印象を受ける。

原著では表記が「ジョニー・ウォーカー」で統一されているにもかかわらず、チェコ語版では 四つの表記が使われている理由は、翻訳者がナカタさんと星野青年の知識や言語能力の差異がわ かるような人物造形を行ったからではないかと考える。

組織名のカタカナ表記に関連して指摘しておきたいのは、チェコ語版における「イトウチュウ」と「ツウサンショウ」の訳し方である。二つの組織名は第6章(K1,96-97)と第22章(K1,439)のナカタさんの台詞の中に現れる。

チェコ語訳では「イトウチュウ」は第6章でも第22章でも「Itóčú korkorejšn」と訳されている。「イトウチュウ」は発音通りチェコ語のアルファベットに変換され、さらに「コーポレーション」の変形語が補われている。伊藤忠という組織を知らない読者の便宜を図って翻訳者がこのように補足したと推測される。コーポレーションに当たるチェコ語の単語「korporace」も存在するが、ここでは英語の「corporation」をチェコ語表記に変換したものがもとになっており、意図的に子音「p」が子音「k」に変えられ、最終的に「コーコレーション」のようになっている。この訳語からは、ナカタさんが勘違いをしてこの言葉を使っているという印象を受ける。

「ツウサンショウ」という組織名の場合は、原文では表記が同じであるにもかかわらず、チェコ語版においては第 6 章では「minizderstvo mezináhrobního odchodu a průjmyslu」、第 22 章では「minizvěrstvo mezináhrobního odchodu a průjmyslu」と少し異なる訳し方になっている。どちらも通産省に該当するチェコ語の表現「ministerstvo mezinárodního obchodu a průmyslu」がもとになっているが、この表現の中の各語に変形が施されている。「省」に該当する言葉「ministerstvo」がそれぞれ「minizderstvo」と「minizvěrstvo」になっている。前者は単なる言い間違いとして捉えられる。後者はもとになる言葉「ministerstvo(省)」が二つの部分「mini+sterstvo」に分解されたうえで、後ろの部分が発音の似た別の言葉「zvěrstvo(残虐行為)」に置き換えられている。その結果できた変形語には「省」だけでなく「ミニ残虐行為」というまったく別の語感も強く感じられるようになっている。また、「貿易」に該当する二語からなる表現「mezinárodní obchod」も「mezináhrobní odchod」と変形されている。「mezináhrobní」という語は実際には存在しないが、その一部の「náhrobní(墓の)」という形容詞は存在する。一方「obchod(ビジネス)」が発音の類似する名詞「odchod(退去)」に置き換えられている。さらに、「産業」に該当する言葉「průmysl」も変形され「průjmysl」になっている。この言葉は実際には存在しないが、発音と形が類似している単語「průjmysl」になっている。

以上の例から、翻訳者が工夫を凝らして翻訳したと推察されるが、訳語に原文にはない別の語 感が付与されるケースもあることがわかった。

ナカタさんは漢語表現・熟語を使用することができ、台詞の中でも漢字で表記されている。一方、本人にとって難しい言葉など特定の表現はカタカナで表記されている。下の表 1 はそのような言葉とチェコ語版の訳語をまとめたものである。チェコ語版では「シサンカ」と「ゴイ」の訳語以外はイタリック体で表記されている。翻訳者は、子音を別の子音に変えたり、語内の子音交

替を行ったり、発音または語形の似ている別の語に置き換えたりして言葉の変形を行っている。 チェコ語版の読者は、文脈からどの表現についてもナカタさんが言おうとしていたもとの言葉を 連想することができると考えられる。

表1 ナカタさんによる漢語表現とチェコ語版の訳語6

	原文の表現	チェコ語版の訳語	正書法
(a)	ホジョ	potvora	podpora
(b)	ショウガイ者	hendykupované	handicapované/hendikepované
(c)	ツウサンショウ	minizderstvu mezináhrobního odchodu a průjmyslu (Kcz - 57)	ministerstvu mezinárodního obchodu a průmyslu
		minizvěrstvu mezináhrobního odchodu a průjmyslu (Kcz - 244)	ministerstvu mezinárodního obchodu a průmyslu
(d)	ブチョウ	vycep rezydenta (Kcz - 57)	víceprezidenta
		šiditele (Kcz - 244)	ředitele
(e)	キンユウロン	teroryje financí	teorie financí
(f)	ブンジンボッカク	reterátů a kuligrafů	literátů a kaligrafů
(g)	ゴイ	slovní	slovní (zásoba)
(h)	シサンカ	magnát	magnát
(i)	シリツ (の図書館)	soukromá (knihovna)	soukromá (knihovna)
(j)	ジョウホウ	imfornací	informací
(k)	スイゾッカン	akvárijo	akvário / akvárium
(1)	シアツ	akustresůra	akupresura
(m)	テンテキ	klapačku	kapačku
(n)	シュウサイ	proviant	premiant

まず(a)の「ホジョ」は頻繁にナカタさんの台詞に現れる名詞だが、チェコ語版では「potvora (あばずれ)」という言葉で訳語が統一されている。しかしこの語は、「補助(支援)」に該当するチェコ語「podpora」に形と発音が似ているが意味の異なるまったく別の言葉である。普通は悪口として使われる言葉であって、大きな意味のずれが生じている。チェコ語版の読者は文脈からナカタさんがこの言葉を「補助(金)」の意味で間違って使用していることはすぐ理解し、

-

⁶ 訳語はチェコ語版に現れる形のまま記載した。

言い間違えに慣れはするが、この語に関しては意味のずれがあまりに大きいせいか毎回滑稽な印象を受けると思われる。

以下の用例(21)はナカタさんが猫のオオツカさんと話している場面である。

(21) 「じゃあ、何をして暮らしているんだい?」「ホジョがでます。」(K1 - 97 - 15)

"Z čeho teda prosímtě žiješ?"

"Nakata dostal *potvoru*." (K_{CZ} - 58 - 4)

「それじゃあ、何をして暮らしているんだい?」

「ナカタは*あばずれ*をもらいました」

- (b) の「ショウガイ者」はチェコ語版では「hendykupovaní」という言葉になっている。チェコ語では英語に由来する言葉を英語風に表記する方法とチェコ語風に表記する方法がある。したがってこの場合の正書法は前者の方法では「handicapovaní」、後者の方法では「hendikepovaní」となる。訳語では語の後ろの部分が「kupovaní(買ったもの)」に置き換えられている。ところで、教養の低いチェコ人が使い慣れていない外来語を正しく発音できないことがあり、ナカタさんの言い間違いも似たようなケースだと言えるかもしれない。次の用例(22)は第6章のナカタさんの台詞の抜粋である。
 - (22) 都バスにはショウガイ者とくべつパスというものを見せれば、なんとか乗ることができますが (K1-97-15)

Jen občas se může svézt po městě speciálním autobusem pro *hendykupované*, pokud mu ho ukážou. $(K_{CZ} - 57 - 36)^{-7}$

ただ、誰かが*ショウバイ者*専用バスを教えてくれたら、それに乗って町を移動することができます。

(d) の「ブチョウ」は作中に 2 回出現するが、チェコ語版ではそれぞれ異なる訳し方をされている。第 6 章では「vycep rezydent」、第 22 章では「šiditel」と訳されている。前者はチェコ語の単語「víceprezident(副社長)」をもとにした言葉だが、音節を無視して二つの語に分けられ、さらに母音「i」が「y」に置き換えられている。後者は名詞「ředitel(社長・部長など)」の子音「ř」が「š」に置き換えられ、母音「e」が「i」に置き換えられて変形された語である。翻訳者の念頭にあったかどうかは定かではないが、チェコ語特有の「ř」の発音を難しく感じる外国人が「š」を代用することがあることを指摘しておく。変形の結果生まれた言葉は存在しない語ではあるが、動詞「šidit(お金などをごまかす)」が連想されるので、もとの言葉にはない語感が付加されている。

٠

⁷翻訳者の原文解釈ミスと思われる。

- (e) の「キンユウロン」と(f) の「ブンジンボッカク」も変形されてチェコ語に訳されている。両者とも語の一部に変形が施されているが、まったく別の言葉になっているわけではなく、また別の意味を連想させる表現になっているわけでもない。(f) の変形で指摘しておきたいのは、母音の置き換えの他に、子音の「l」が「r」に置き換えられている点である。日本人にとって子音の「l」と「r」の発音の区別が難しいことが、この訳語に関係しているかどうかは定かではない。
- (g) (h) (i) の漢語表現については場面が共通しており、ナカタさんがその言葉を繰り返して相手に聞き返している。チェコ語訳では言葉の変形などはない。他にもナカタさんが聞き返したり言葉の意味を尋ねたりする場面がある。第 20 章には「ヒッチハイク」、第 36 章には「レンタカー」、第 40 章には「1000 億円」の例があり、チェコ語訳では、それぞれ「stopovat」「rentál」「sto milijard jenů」と訳されている。「ヒッチハイク」は正しく翻訳されているが、残り二つの訳語はイタリック体で表記され、また綴りの一部が間違って発音されている。
- (j) (k) (l) の表現については語の一部に変形が施されているが、まったく別の言葉になっているわけではない。(k) の「スイゾッカン」は日本語と同じように正書法の口語表現になっている。(j) と(l) の訳語についてはそれぞれ「インフォメーション」が「イムフォネーション」のように、「アクプレッシャー」が「アクストレーシャー」のように、実際にはありえないような言い間違えになっている。どちらの表現もチェコ語では外来語であって、(b) の外来語の発音ミスのケースと同じように、話者の教養の低さが多少感じられる。
- (m) と (n) は、発音や語形が似ているが別の意味を持つ表現に置き換えられている。(m)の「テンテキ」は、「点滴」に該当するチェコ語「kapačka」に似ているが意味の異なる名詞「klapačka (嘴)」と訳されている。(n)の「シュウサイ」は「proviant(行楽弁当)」と訳されている。これも「秀才」に該当するチェコ語「premiant」に似ているが意味の異なるまったく別の言葉である。

以上ナカタさんの台詞の中でカタカナ表記されている表現のチェコ語訳を検証した。翻訳者は ナカタさんが言いたかった言葉に相当するチェコ語を変形したり、綴りの一部を変えたり、また 発音や語形が似た別の言葉に置き換えたりして訳語を作り、イタリック体で表記していることを 確認した。だが翻訳者が、原文で漢語表現がカタカナ表記されていないにもかかわらず、同じよ うな方法でチェコ語に訳したケースもある。そのような表現を以下の表2にまとめた。

表 2 翻訳者の顕著な介入が観察されたナカタさんの表現8

原文の表現	チェコ語版の訳語	正書法

⁸ 訳語はチェコ語版に現れる形のまま記載した。

٠

(o)	占領されておりまして	opukovali	okupovali
(p)	飛行機	eroplány	aeroplány
(q)	空き地	prázdné <i>pracele</i>	prázdné parcele
(r)	映画館というところ	biokraf	biograf
(s)	虫歯	bombu	plombu

まず(o)の「占領されておりまして」はチェコ語版では「opukovali」という言葉で訳されている。「占領する」に該当する動詞「okupovat」の中で子音交替が行われている。

(23) そのころは日本はアメリカに占領されておりまして(K1-457-9)

To ještě Japonsko *opukovali* vojáci z Ameriky. (K_{CZ} - 254 - 22) アメリカの軍人たちがまだ日本を*領占していた*ころでした。

原文ではナカタさんは「占領」という言葉を知っており、正しく使っているのだが、チェコ語版では「占領」という言葉を言い間違えている。

- (p)の「飛行機」はチェコ語版では「*eroplány*」と訳されている。正書法は「*aeroplány*」であるが、「*eroplány*」はこの表現を発音通りに綴った言葉である。また、飛行機の一般的な表現は「letadlo」であり、「*aeroplány*」は多少古びた表現である。
 - (24) しかしアメリカには大きな飛行機がありました。それが東京に大きな爆弾をたくさん落としまして、ナカタはそれで山梨県に行きました。(K1-457-14)

Jenomže Amerika měla velikánské eroplány, z těch shodila na Tokio veliké bomby, a Nakata proto musel jet do Jamanaši. (K_{CZ} - 254 - 28)

しかしアメリカには巨大な*ヒコーキ*がありました。それが東京に大きな爆弾を落としまして、それでナカタは山梨県に行かなければなりませんでした。

- (q)の「空き地」では、「敷地/土地」の意味を持つ名詞「parcela」の中で子音の移動がみられ、「パルツェラ」が「プラツェラ」に変形されている。
 - (25) ミミさん。ナカタはしばらくその空き地を見張ってみようと思います(K1 170 12) Paní Mimi, Nakata teď bude na té prázdné pracele chvíli hlídkovat.(K_{CZ} 98 30) ミミさん、ナカタはこれからそのアチキをしばらく見張ります。
- (r)は下の用例(26)に現れる表現だが、ここでも語の変形が行われている。チェコ語訳で使われている「biokraf」の正しい綴り方は「biograf」であり、これは「活動写真館」に相当する古めかしい言葉である。「映画館」を指す言葉ならば現代チェコ語では通常「kino」を使う。用例(26)の原文に「映画館というところ」とあることから、翻訳者はナカタがその言葉を知らない

と解釈してチェコ語の古めかしい表現を選び、さらに子音を置き換えて変形して訳語としたのではないかと思われる。

(26) ナカタは目は見えますが、<u>映画館というところ</u>にまだいったことがありません(K2 - 62 - 14)

Nakatovi oči slouží dobře, ale v biokrafu ještě nikdy nebyl. (K_{CZ} - 302 - 23) ナカタは目は見えますが、活動エイカ館にまだ一度もいったことがありません。

最後に(s)では「虫歯」が「bomba(爆弾)」と訳されている。「虫歯」には「zubní kaz」という訳語があるが、翻訳者は「詰め物」の訳語「plomba」を選択し、形が似ている名詞「bomba」を最終的に訳語として採用したものと思われる。ただ、この方法は、用例(24)で見たようにナカタさんは「爆弾」という言葉を正しく使っていることもあり、適切ではないだろう。「虫歯」を「爆弾」に変えたこのケースは翻訳者の独断が過ぎたものではないかと思われる。

(27) ナカタは字こそ読めませんが、虫歯は一本もありませんし、眼鏡が必要になったこともありません。 (K2 - 14 - 7)

Nakata sice neumí číst, ale nemá v puse ani jednu bombu a nepotřebuje brýle. (K_{CZ} - 276 - 9) ナカタは字が読めませんが、口の中に一つもバクダンがありませんし、眼鏡も必要ではありません。

2.4.2. ことわざの文字通りの解釈

本節ではナカタさんのもう一つの特徴に触れる。星野青年はことわざをよく使うが、ナカタさんはそのことわざを文字通り解釈することがある。

用例 (28) は第 48 章で星野青年がナカタさんとの会話で「乗りかかった船」という慣用句を 使う場面である。

- (28) 「まあいいや。できるだけのことはやってみよう。乗りかかった船だ」 「これから船に乗るのでありましょうか?」とナカタさんは尋ねた。 「いや、まだ今のところ船には乗らない」と青年は答えた。(K2 - 291 - 15)
 - "To nevadí. Uděláme, co svedem. Už jsme na rozjetý lodi."
 - "Pane Hošino, my pojedeme lodí?" zeptal se pan Nakata
 - "Ne, aspoň v to zatím doufám," zněla odpověď. (K_{CZ} 425 20)

「まあいいや。できるだけのことはやってみよう。二人とももう出航した船に乗っている んだ。」

「ホシノさん、私たちは船で行くのでしょうか?」とナカタさんは尋ねた。

「いや、とりあえず船で行くことだけにはならないと願ってるよ」という答えが返ってきた。

他にも星野青年は第 36 章で「毒くわば皿まで」、第 38 章で「犬も歩けば、棒に当たる」ということわざを使っているが、ナカタさんは毎回ことわざの本来の意味を理解せずに文字通り解釈し、そのため会話は原文でもチェコ語訳でも少しコミカルな雰囲気が感じられるようになっている。

本節ではことわざの誤った解釈の例を見てきたが、日本語版でもチェコ語版でもナカタさんの 言語理解力には限界があることが読者に印象付けられるようになっている。

これまでナカタさんの言語理解力には限界があることをいくつかの観点から確認し、チェコ語 訳への反映の度合いを検証してきた。2.4.1.では原文でカタカナ表記になっている固有名詞や漢 語表現の訳語を中心に分析し、様々な手法で訳語が導かれ、意味のずれが生じているケースもあ ることを明らかにした。2.4.2.ではナカタさんの言語理解力に問題があることをことわざ解釈の 観点から確認し、該当する箇所のチェコ語訳を分析した。

ナカタさんによることわざの文字通りの解釈については、原文に忠実にチェコ語訳に訳されていると判断できる。

原著でカタカナ表記されている表現の大部分はナカタさんが意味を完全には把握していない表現なのだが、日本語版ではナカタさんはそれでもこれらの表現を正しく発音し、文脈に応じて使っているのに対し、チェコ語版ではたびたび言葉を言い間違えたりまったく文脈に合わない言葉を使ったりしている。

このような差異が生じた要因は訳し方にあると思われる。翻訳者は、ナカタさんが言いたかった言葉を翻訳してそのまま訳語にするのではなく、該当するチェコ語の単語の綴りを変えたり発音や語形が似た別の言葉に置き換えたりして訳語を作り、さらにイタリック体で表記している。チェコ語版で使われている訳語は、実際には存在しない言葉だったり、存在しても文脈に合わない言葉だったりするのだが、読者はナカタさんが言いたかった言葉を推測することができるようになっている。

一方、原著のナカタさんの台詞でカタカナ表記されていないにもかかわらず、チェコ語版において存在しない言葉や文脈に合わない言葉に訳されているケースも確認された。この場合も適切な言葉を推測することができるようになっているものの、チェコ語版でナカタさんの無知や愚鈍さがより強調される結果になっている。

チェコ語にはチェコ語のアルファベットしかなく、漢語表現のカタカナ表記が持っている機能をチェコ語に完全に反映することは困難である。翻訳者はナカタさんが言いたかった言葉をそのまま翻訳してイタリック体で表記するだけでは不十分だと考えたのではないかと想像する。それで翻訳者は、綴りの変更、言葉の置き換えなど様々な工夫を凝らして翻訳を試みたのだと思う。ただこの方式で作られた訳語がナカタさんの台詞に使われているチェコ語版では、ナカタさんの

勘違いや言い間違いが強調され、意味のずれが大きい箇所ではナカタさんが戯画化される結果に なっているのである。

3. 結論

本稿では『海辺のカフカ』の登場人物ナカタさんのキャラクター言語とチェコ語版への反映の 度合いを考察した。初めにナカタさんの話し方の主な特徴を三つ定め、それぞれの特徴が現れて いる用例を分析しながら考察を進めた。

自称として三人称を使う一つ目の特徴については、チェコ語版でもナカタさんの三人称を使う 話し方は維持されており、この特徴から受ける印象は原著と同じである。

二つ目の特徴であるナカタさんの過剰に丁寧な話し方も、チェコ語版に十分反映されている。 チェコ語には日本語の敬語とまったく同じものが存在しないものの、さまざまな手法で敬語の語感やニュアンスがチェコ語にも反映されている。ナカタさんの過剰にへりくだった言い回しや古風な表現もチェコ語の謙譲表現や古語的表現などを用いてかなりの程度チェコ語版に反映されている。現代チェコ語ではほとんど使われない表現や言い回しなどが台詞の中に現れるため、不自然さが感じられるところがあるが、これは原著のナカタさんの話し方からも感じられるものであり、逆にそこからナカタさんの過剰に丁寧な物腰を読み取ることができるとも言える。

筆者が三つ目の特徴としたナカタさんの語彙力や言語理解力に限界がある側面については、原文でカタカナ表記されている漢語表現とことわざに焦点を当てて分析した。ナカタさんがことわざを文字通り解釈する場面は、原著でもチェコ語版でも同じように描写されており、読者が該当する場面から受ける印象も変わらないと考えられる。

一方、カタカナ表記されている表現の訳語を検討した結果、多くの訳語の語感やニュアンスが原文の表現とは大きく異なることが明らかになった。原文では漢語表現がカタカナで表記されているだけであって、ナカタさんは正しく発音しているにもかかわらず、チェコ語版ではナカタさんが言葉を言い間違えたり、まったく別の意味を持つ表現を勘違いして使っているように訳されている。また、ナカタさんが意味を理解し正しく使うことができる表現についても、翻訳者が恣意的に介入し、言い間違えや勘違いとして翻訳しているケースもあった。訳語と原語との意味のずれが大きく、チェコ語版のナカタさんが戯画化され知能水準の低さや愚鈍さが強調されているケースも確認された。

ナカタさんが少年時代の事故の影響で読み書きができないことは本人が繰り返し述べており、 ナカタさんが不自然な話し方をすることは確かである。原著のナカタさんの台詞からは、ナカタ さんは子供っぽいところのあるイノセントな人であり、思いやりのある優しい人でもあるという 印象を受けるが、語彙が極端に少ないわけではなく、敬語を使うこともできるため、知性がそれ ほど低いとは感じられない。 しかし日本語版のナカタさんとチェコ語版のナカタさんの言葉づかいから受ける印象を比較すると、子供っぽさ、イノセントな側面、思いやりのある優しい人という印象は共通しているが、チェコ語版ではナカタさんの知能水準の低さや愚鈍さが強調されていると思われる。筆者は、チェコ語版では三つ目の特徴である語彙力や言語理解力の限界が強調され、ナカタさんの台詞の中にしばしば文脈に合わない訳語や滑稽に聞こえる訳語が使われているのがその要因だと考える。

最後に、原著とチェコ語版のナカタさんの言葉づかいから感じられる人物像について述べる。 ナカタさんのキャラクター言語が際立っているため、原著でもチェコ語版でも台詞によってナカ タさんを識別することは容易である。ナカタさんの性格や年代も大体共通のイメージを思い描く ことができる。性別に関しては、チェコ語版では動詞形で性別が男性だと一目でわかるのに対し、 原著ではナカタさんの言葉づかいだけから判断すると中性的と言えるかもしれない。知性につい ては、チェコ語版では原著よりも知能水準の低さや愚鈍さが強調されているためかナカタさんの 言葉づかいには同情を催すところが感じられる。

調査資料

村上春樹(2006)『海辺のカフカ』(上下巻),新潮文庫.

Murakami, Haruki (著), Jurkovič, Tomáš (訳) (2006) Kafka na pobřeží, Odeon.

参考文献

金水敏(2003) 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店.

金水敏(2016) 「役割語とキャラクター言語」,金水敏(編) 『役割語・キャラクター言語研究 国際ワークショップ 2015 報告論集』,pp.5-13,大阪大学大学院文学研究科.

著者情報(2018年4月現在)

金水 敏 (きんすい さとし) 大阪大学大学院文学研究科・教授

劉 翔(りゅう しょう)

大阪大学大学院文学研究科・博士後期課程2年

文 雪(ぶん せつ)

大阪大学大学院文学研究科・博士後期課程修了

金 昴京(きむ みょうきん/召묘경) (フリー)

平塚 雄亮(ひらつか ゆうすけ) 中京大学文学部・講師

チュティパック・チャーイウィロート (ฐติภัค ฉายวิโรจน์) 大阪大学大学院文学研究科・博士前期課程2年

トマシュ・ヴォイチェホヴィッチ(Tomasz Wojciechowicz) 大阪大学大学院文学研究科・博士前期課程修了

セバスティアン・リンドソコグ (Sebastian Lindskog) 大阪大学大学院文学研究科・博士前期課程 2 年

ナタリア・コンスタンティノーフスカヤ

(Natalia Konstantinovskaia/Наталья Константиновская) スタンフォード大学・日本語教師(Lecturer of Japanese, Stanford University)

中屋テレザ (Tereza Nakaya)

オロモウツ市パラツキー大学哲学部アジア学科・助教 (専任講師)

(asistentka, Univerzita Palackého v Olomouci, Filozofická fakulta, Katedra asijských studií)

『村上春樹翻訳調査プロジェクト 報告書(1)』

2018年3月25日発行

編集:金水 敏(大阪大学大学院文学研究科)

kinsui@let.osaka-u.ac.jp

発行所:大阪大学大学院文学研究科

編集補助:武内一巴

※この報告書の刊行は、文学研究科国際的社会連携型人文学研究教育クラスター (略称:人文学クラスター)「役割語・キャラクター言語から見た翻訳研究」に基づいて行われました。